

## 少子化対策区民意識調査結果

### I 調査の概要

#### 1 調査の目的

子育て世帯やこれから子育てを迎える世帯の生活環境や出産・子育てに関するニーズを把握し、今後の施策及び（仮称）葛飾区子ども・若者総合計画の策定に向けた基礎資料とするため実施したものです。

#### 2 調査対象

葛飾区内在住の 20 代から 30 代の男女のうち、未婚者 1,000 人、既婚者 1,000 人、合計 2,000 人を無作為抽出

#### 3 調査期間

令和 6 年 6 月 14 日～令和 6 年 7 月 9 日

#### 4 調査方法

インターネット回答  
なお、郵送にて依頼文を配付

#### 5 回収状況

配付数	有効回答数	有効回答率
2,000 通	643 通	32.2%

#### 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数の合計が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答数が少ない場合には、1 つの回答当たりの重みが大きく、比率が変動しやすいため、全体の状況を示しているとは限らない点において、結果の利用に注意が必要です。
- ・解説における回答比率の全体と性別等クロス集計との比較は、以下の指標に基づいて表現しています。

3 ポイント未満の変化…「大きな変化はみられません」

3 ポイント以上 5 ポイント未満の変化…「やや増加（または減少）しています」

5 ポイント以上 10 ポイント未満の変化…「増加（または減少）しています」

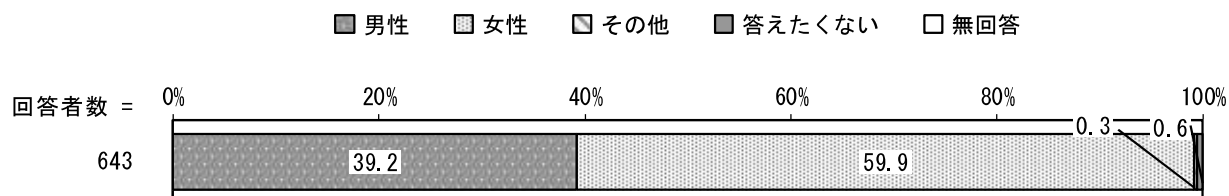
10 ポイント以上の変化…「大きく増加（または減少）しています」

## II 調査結果

### 1 回答者属性

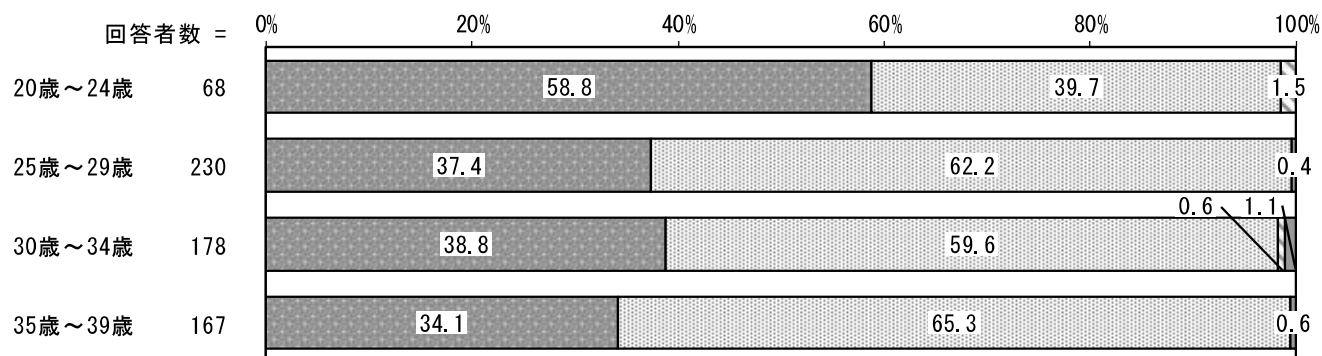
問1 あなたの性別を教えてください。

「男性」の割合が39.2%、「女性」の割合が59.9%となっています。



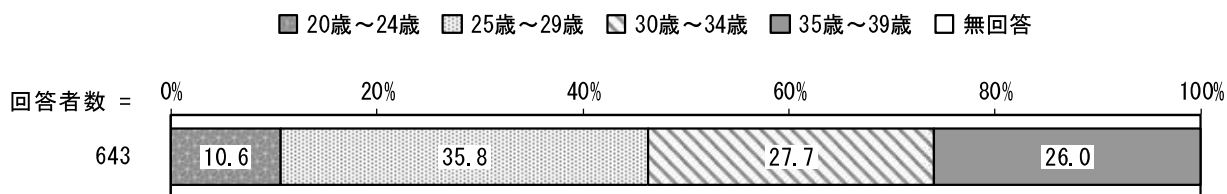
#### 【年齢別】

年齢別にみると、20歳～24歳では「男性」の割合が高くなっています。



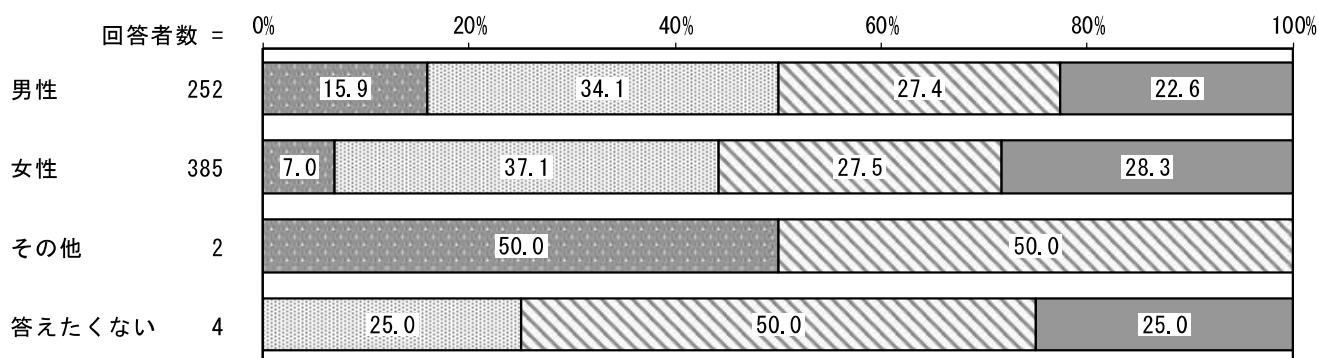
**問2 令和6年4月1日現在、お答えいただく方の年齢を教えてください。**

「25歳～29歳」の割合が35.8%と最も高く、次いで「30歳～34歳」の割合が27.7%、「35歳～39歳」の割合が26.0%となっています。



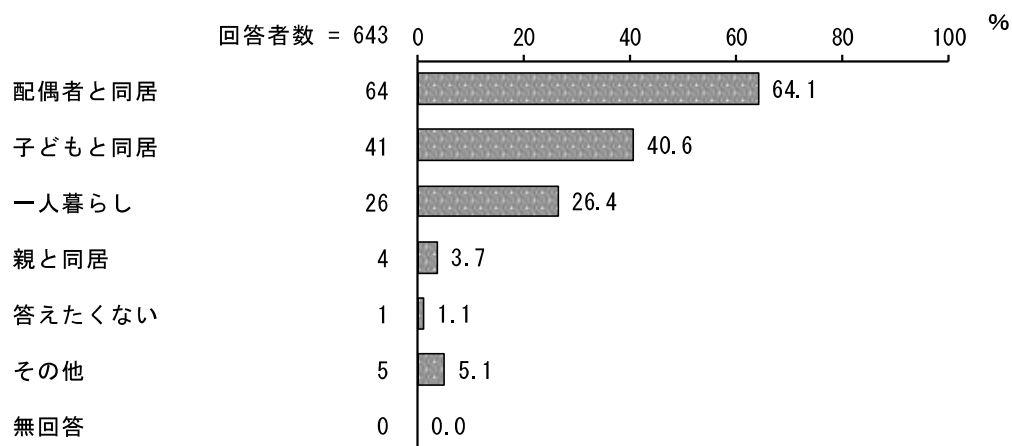
**【性別】**

性別にみると、男性・女性ともに「25歳～29歳」の割合が高くなっています。



### 問3 あなたの家族構成はどのような形態ですか？（複数選択可）

「配偶者と同居」の割合が64.1%と最も高く、次いで「子どもと同居」の割合が40.6%、「一人暮らし」の割合が26.4%となっています。



#### 【性別】

性別にみると、「子どもと同居」では全体と比較すると男性の割合が大きく減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者と同居	子どもと同居	一人暮らし	親と同居	答えたくない	その他	無回答
全体	643	64.1	40.6	26.4	3.7	1.1	5.1	0.0
男性	252	54.0	27.4	35.3	3.2	0.4	6.7	—
女性	385	71.4	49.9	20.3	4.2	1.0	4.2	—
その他	2	—	—	100.0	—	—	—	—
答えたくない	4	25.0	—	25.0	—	50.0	—	—

【年齢別】

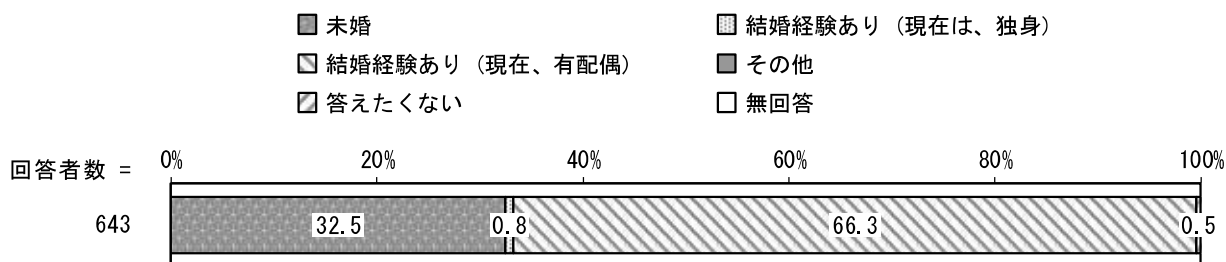
年齢別にみると、「配偶者と同居」では全体と比較すると20歳～24歳の割合が大きく減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者と同居	子どもと同居	一人暮らし	親と同居	答えたくない	その他	無回答
全体	643	64.1	40.6	26.4	3.7	1.1	5.1	0.0
20歳～24歳	68	26.5	10.3	55.9	2.9	—	16.2	—
25歳～29歳	230	64.8	29.1	28.3	4.3	0.9	3.9	—
30歳～34歳	178	67.4	44.9	24.7	2.8	1.1	2.8	—
35歳～39歳	167	74.9	64.1	13.8	4.2	1.8	4.8	—

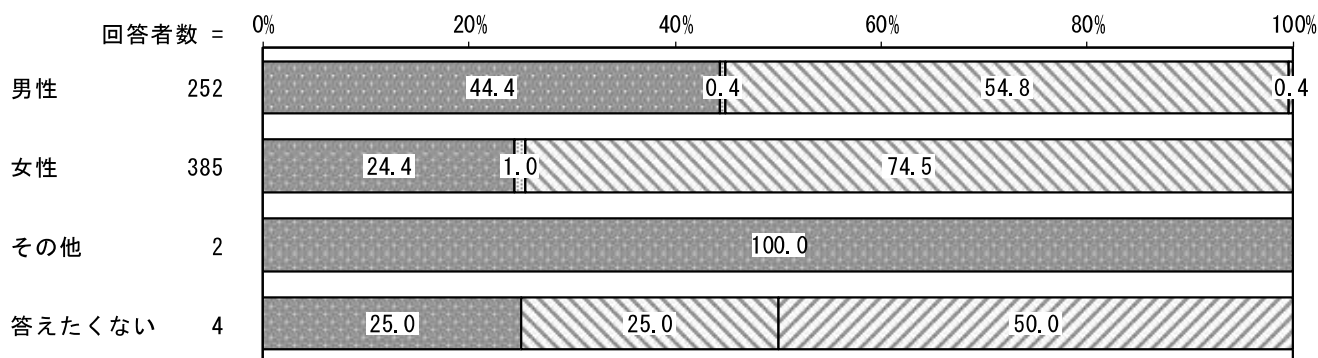
#### 問4 結婚経験はありますか？

「結婚経験あり（現在、有配偶）」の割合が66.3%と最も高く、次いで「未婚」の割合が32.5%となっています。



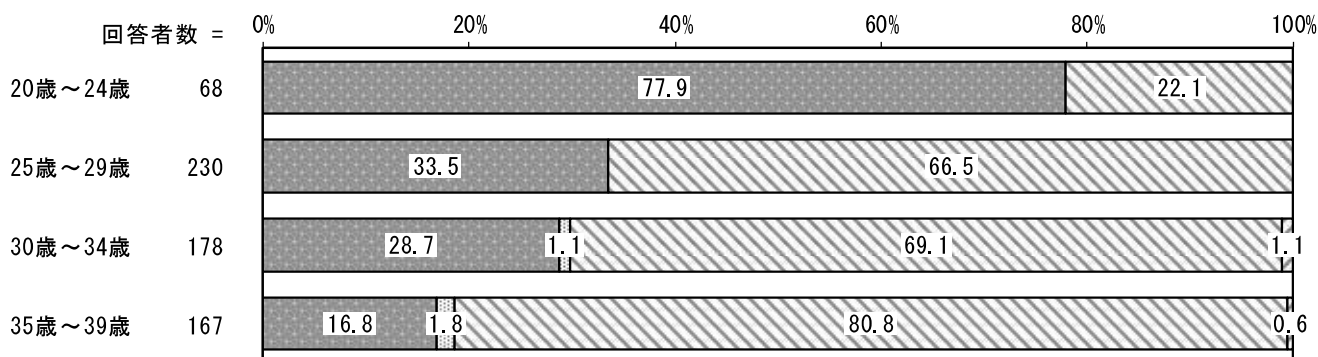
#### 【性別】

性別にみると、男性・女性ともに「結婚経験あり（現在、有配偶）」の割合が高くなっています。



#### 【年齢別】

年齢別にみると、20歳～24歳では「未婚」、25歳以上では「結婚経験あり（現在、有配偶）」の割合が高くなっています。

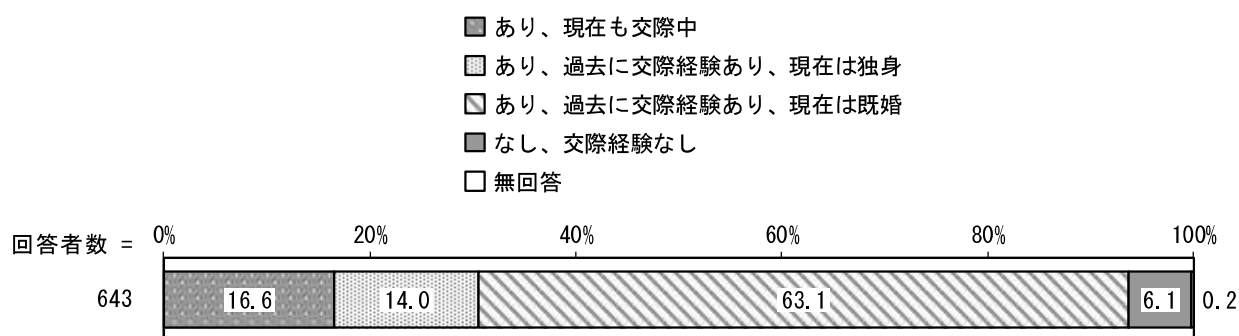


## 2 結婚経験等について

全ての方にうかがいます。

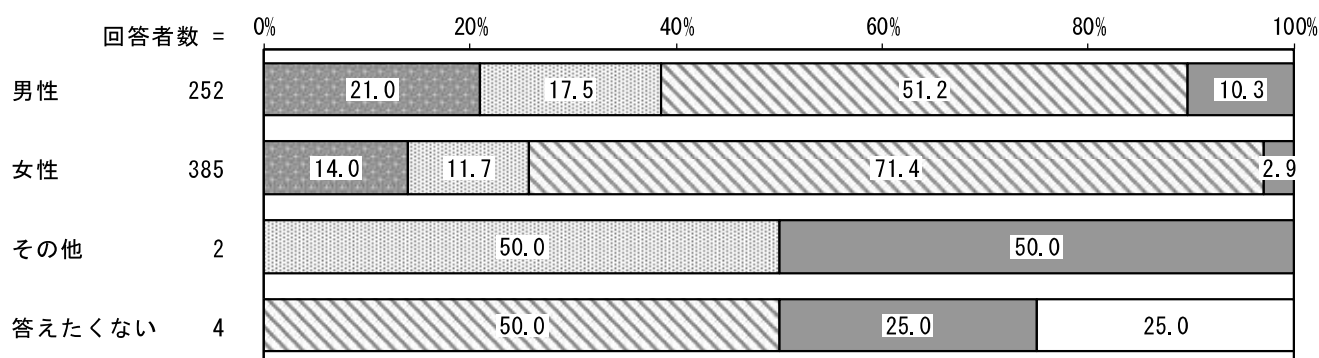
### 問5 交際経験はありますか？

「あり、過去に交際経験あり、現在は既婚」の割合が63.1%と最も高く、次いで「あり、現在も交際中」の割合が16.6%、「あり、過去に交際経験あり、現在は独身」の割合が14.0%となっています。



### 【性別】

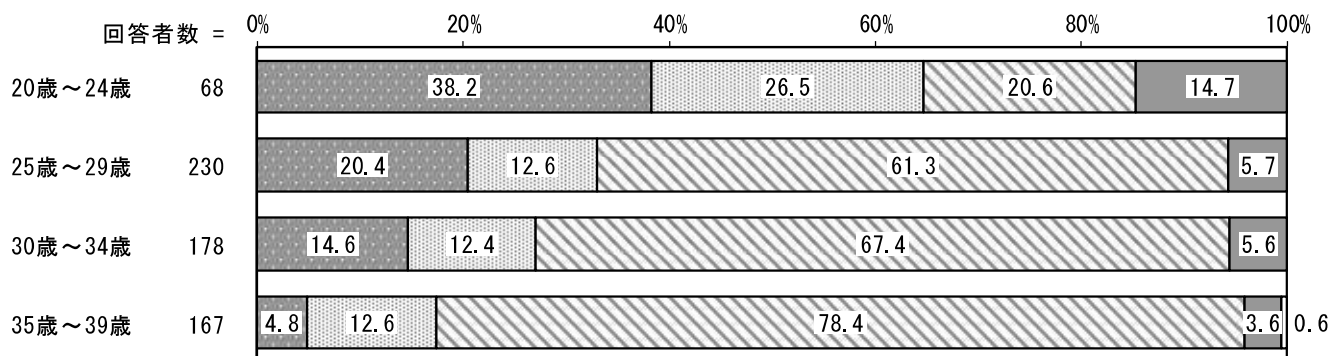
性別にみると、男性・女性ともに「あり、過去に交際経験あり、現在は既婚」の割合が高くなっています。



## 【年齢別】

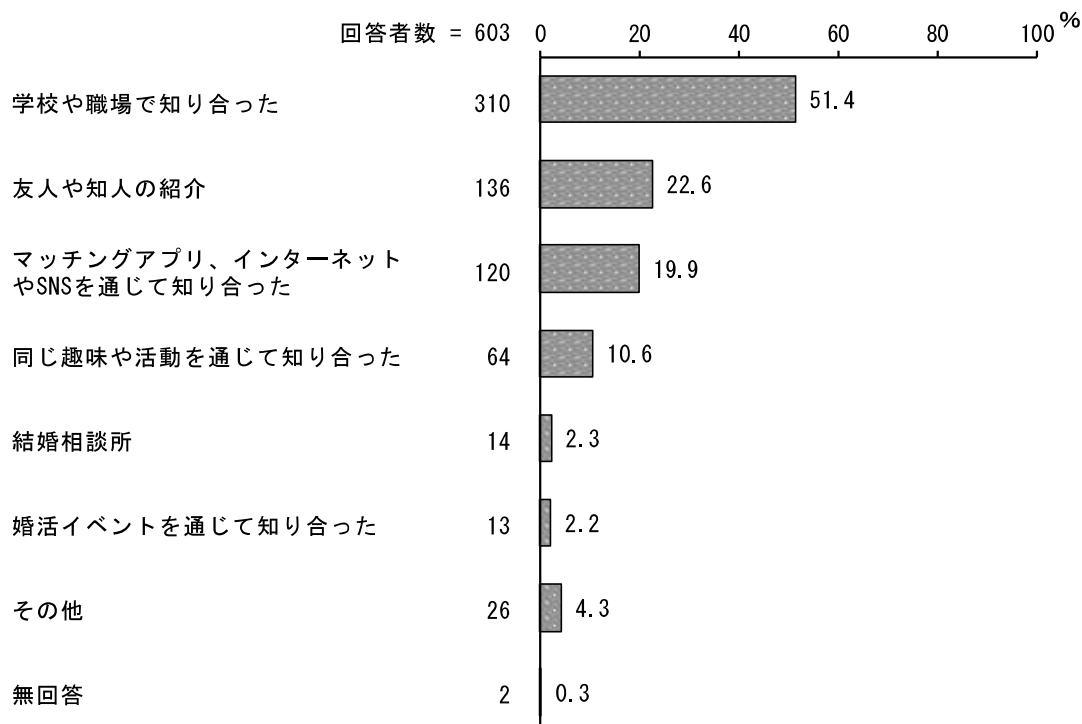
年齢別にみると、「あり、現在も交際中」では20歳～24歳、「あり、過去に交際経験あり、現在は既婚」では25歳以上の割合が全体と比較すると高くなっています。

- あり、現在も交際中
- ▨ あり、過去に交際経験あり、現在は独身
- ▩ あり、過去に交際経験あり、現在は既婚
- なし、交際経験なし
- 無回答



## 問6 交際（有配偶の場合は結婚）相手との出会いのきっかけは何ですか？ （複数選択可）

「学校や職場で知り合った」の割合が51.4%と最も高く、次いで「友人や知人の紹介」の割合が22.6%、「マッチングアプリ、インターネットやSNSを通じて知り合った」の割合が19.9%となっています。





### 【性別】

性別にみると、「学校や職場で知り合った」では全体と比較すると男性の割合が、やや減少しています。

単位：％

区分	回答者数(件)	学校や職場で知り合った	友人や知人の紹介	マッチングアプリ、インターネットやSNSを通じて知り合った	同じ趣味や活動を通じて知り合った	結婚相談所	婚活イベントを通じて知り合った	その他	無回答
全体	603	51.4	22.6	19.9	10.6	2.3	2.2	4.3	0.3
男性	226	46.5	21.7	24.3	15.0	2.7	2.2	3.1	0.4
女性	374	54.5	23.0	17.4	7.8	2.1	2.1	5.1	0.3
その他	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—
答えたくない	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—

### 【年齢別】

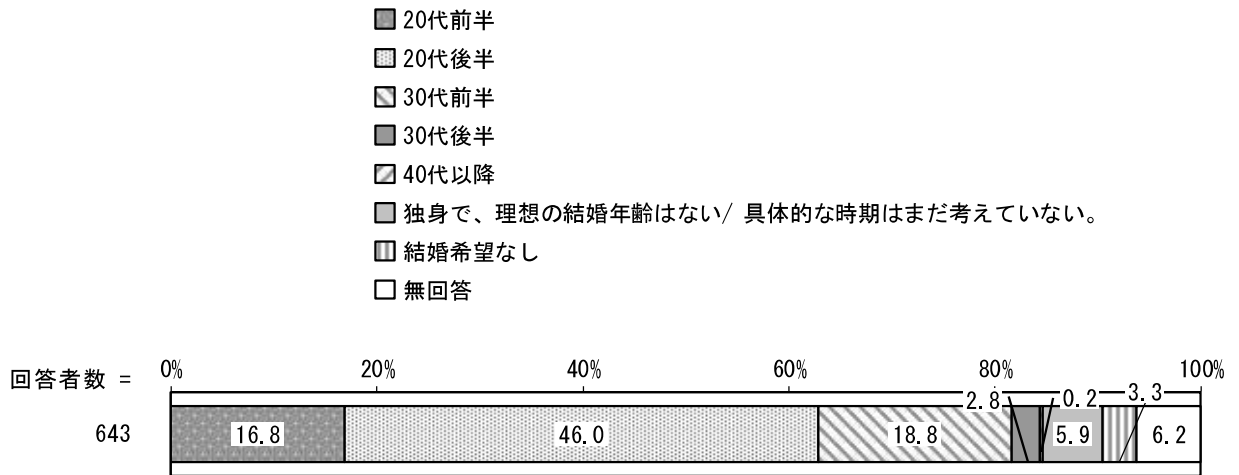
年齢別にみると、「学校や職場で知り合った」では全体と比較すると20歳～24歳の割合が大きく増加しています。

単位：％

区分	回答者数(件)	学校や職場で知り合った	友人や知人の紹介	マッチングアプリ、インターネットやSNSを通じて知り合った	同じ趣味や活動を通じて知り合った	結婚相談所	婚活イベントを通じて知り合った	その他	無回答
全体	603	51.4	22.6	19.9	10.6	2.3	2.2	4.3	0.3
20歳～24歳	58	63.8	17.2	31.0	10.3	—	—	3.4	—
25歳～29歳	217	53.0	18.4	19.4	10.1	1.4	1.8	5.5	—
30歳～34歳	168	46.4	32.1	18.5	8.9	3.0	2.4	3.6	0.6
35歳～39歳	160	50.0	20.0	18.1	13.1	3.8	3.1	3.8	0.6

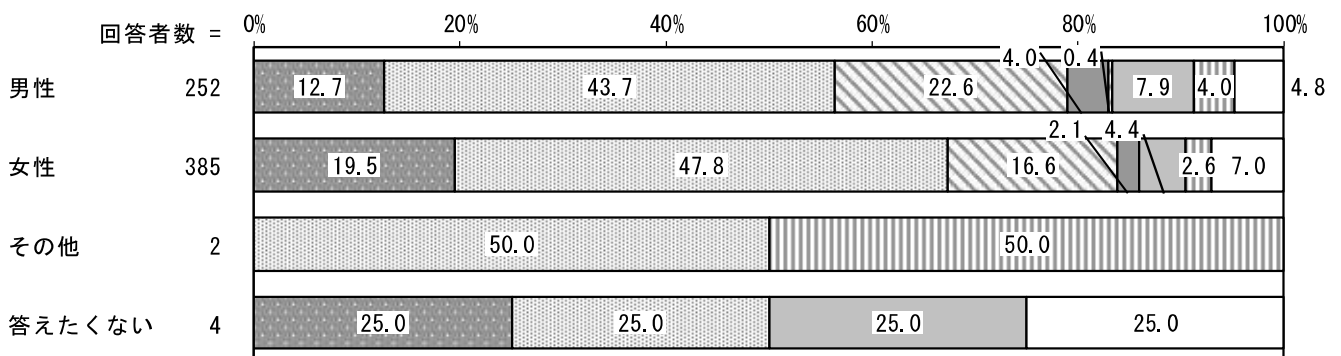
**問7 結婚を希望する独身の方は、理想の結婚年齢について教えてください。結婚経験あり（現在、有配偶）の方は、結婚の時期についてお聞かせください。**

「20代後半」の割合が46.0%と最も高く、次いで「30代前半」の割合が18.8%、「20代前半」の割合が16.8%となっています。



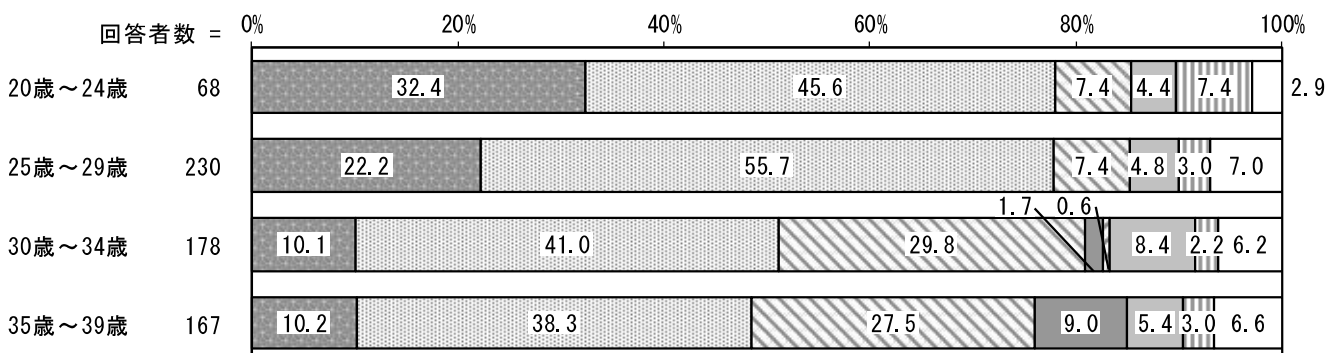
**【性別】**

性別にみると、大きな変化はみられません。



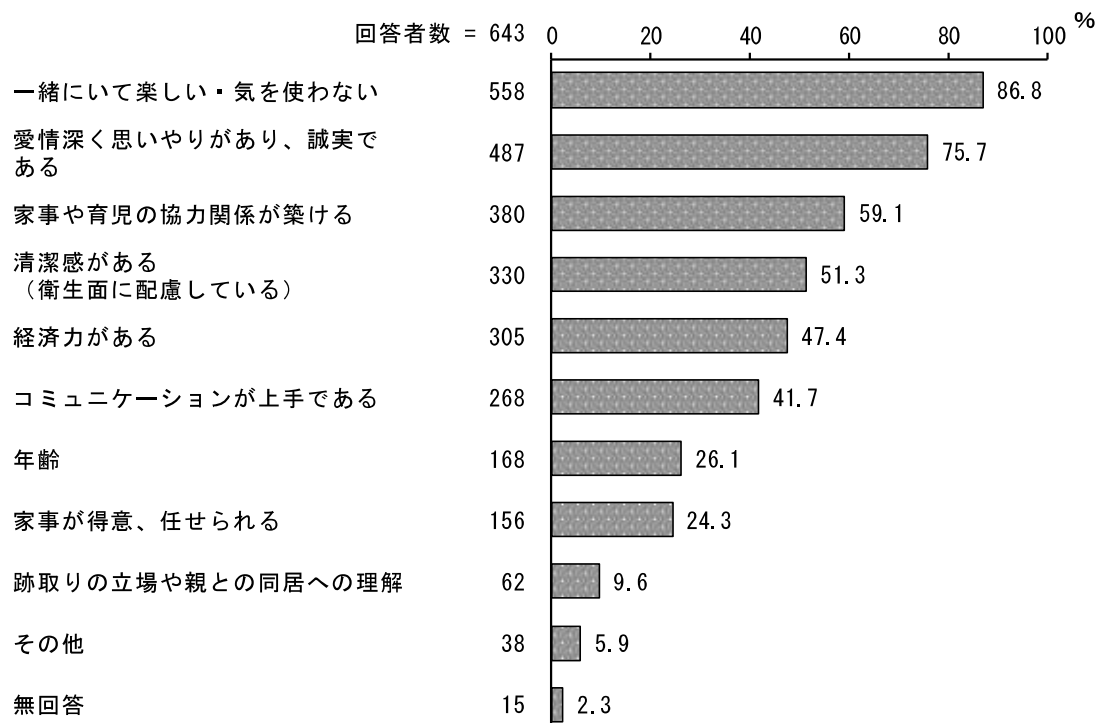
**【年齢別】**

年齢別にみると、全ての年齢区分で「20代後半」の割合が高くなっています。



**問8 結婚相手に求める条件についてお聞かせください。(複数選択可)**

「一緒にいて楽しい・気を使わない」の割合が86.8%と最も高く、次いで「愛情深く思いやりがあり、誠実である」の割合が75.7%、「家事や育児の協力関係が築ける」の割合が59.1%となっています。



**【性別】**

性別にみると、「経済力がある」では全体と比較すると男性の割合が大きく減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	一緒にいて楽しい・ 気を使わない	愛情深く思いやり があり、誠実である	家事や育児の協力 関係が築ける	清潔感がある(衛生 面に配慮している)	経済力がある	コミュニケーショ ンが上手である	年齢	家事が得意、任せら れる	跡取りの立場や親 との同居への理解	その他	無回答
全体	643	86.8	75.7	59.1	51.3	47.4	41.7	26.1	24.3	9.6	5.9	2.3
男性	252	87.3	71.4	44.8	39.3	17.9	36.1	24.2	20.2	7.1	4.8	2.4
女性	385	86.8	79.0	69.1	59.0	66.8	45.5	27.8	26.8	11.4	6.8	2.1
その他	2	100.0	50.0	—	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—
答えたくない	4	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	—	—	50.0	—	—	25.0

【年齢別】

年齢別にみると、「経済力がある」では全体と比較すると20歳～24歳の割合が大きく減少しています。

単位：%

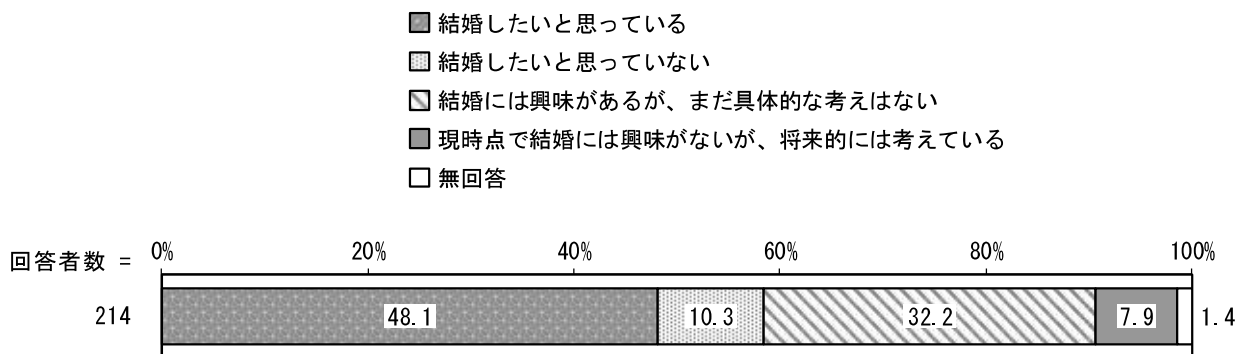
区分	回答者数(件)	一緒にいて楽しい・ 気を使わない	愛情深く思いやり があり、誠実である	家事や育児の協力 関係が築ける	清潔感がある(衛生 面に配慮している)	経済力がある	コミュニケーション が上手である	年齢	家事が得意、任せら れる	跡取りの立場や親 との同居への理解	その他	無回答
全体	643	86.8	75.7	59.1	51.3	47.4	41.7	26.1	24.3	9.6	5.9	2.3
20歳～24歳	68	85.3	70.6	52.9	50.0	32.4	45.6	26.5	23.5	10.3	10.3	1.5
25歳～29歳	230	87.8	71.7	58.3	49.1	46.5	40.0	27.8	27.4	8.3	4.8	3.5
30歳～34歳	178	86.5	80.9	59.0	50.6	46.6	39.3	26.4	21.9	7.9	3.4	1.7
35歳～39歳	167	86.2	77.8	62.9	55.7	55.7	44.9	23.4	22.8	13.2	8.4	1.8

現在、独身の方にうかがいます。

(問4で「未婚」「結婚経験あり(現在は、独身)」に○をつけた方にうかがいます。)

問9 結婚願望の有無についてお聞かせください。

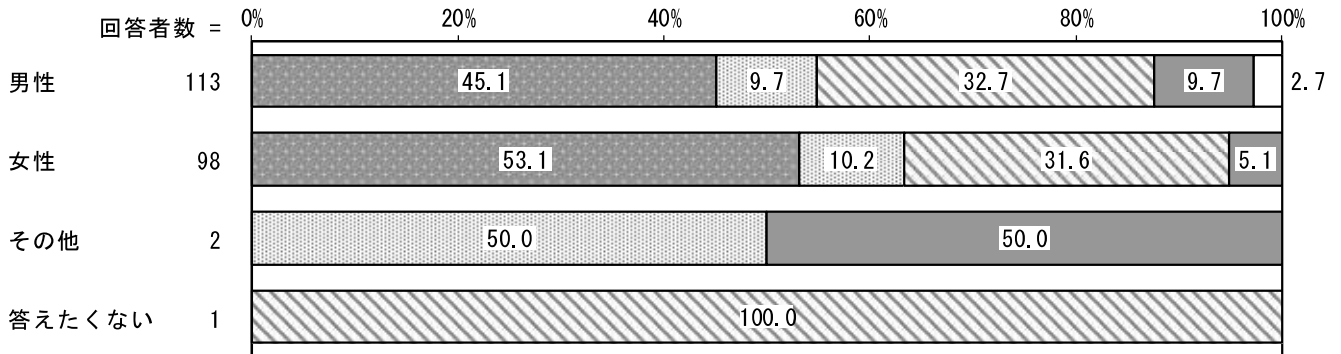
「結婚したいと思っている」の割合が48.1%と最も高く、次いで「結婚には興味があるが、まだ具体的な考えはない」の割合が32.2%、「結婚したいと思っていない」の割合が10.3%となっています。



## 【性別】

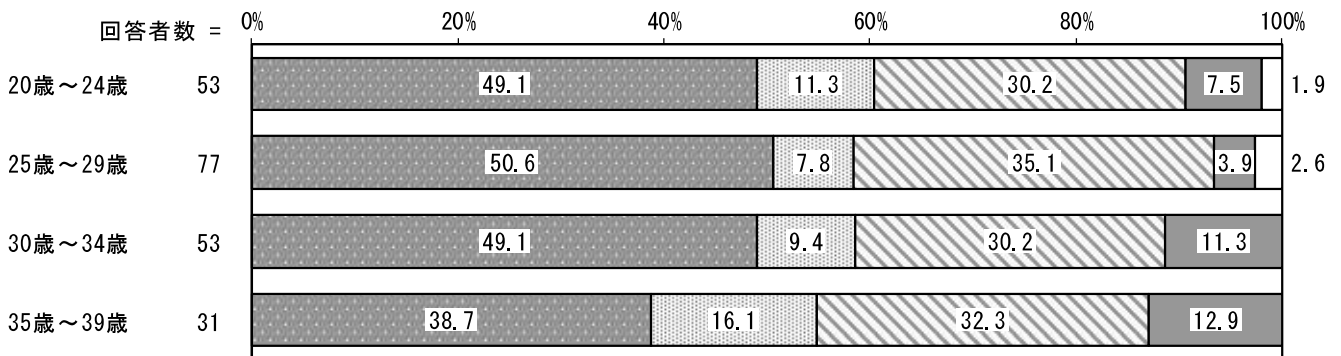
性別にみると、大きな変化はみられず、男性・女性ともに「結婚したいと思っている」の割合が高くなっています。

- 結婚したいと思っている
- 結婚したいと思っていない
- 結婚には興味があるが、まだ具体的な考えはない
- 現時点で結婚には興味がないが、将来的には考えている
- 無回答



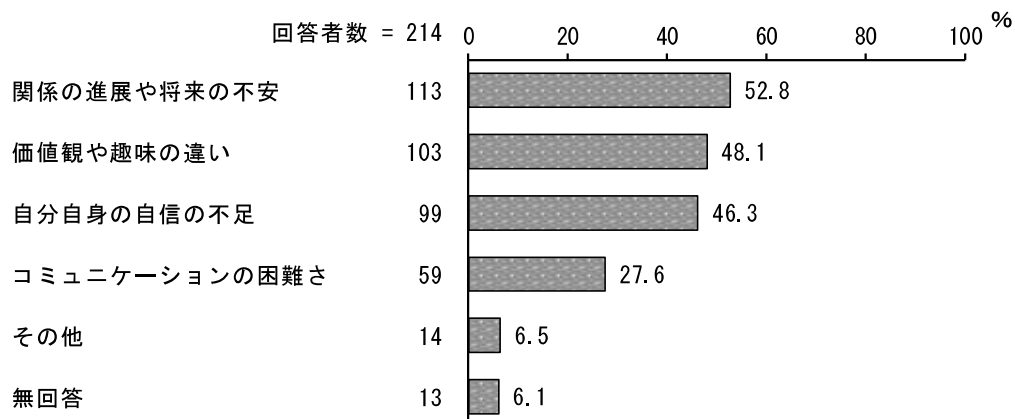
## 【年齢別】

年齢別にみると、大きな変化はみられず、全ての年齢区分で「結婚したいと思っている」の割合が高くなっています。



**問 10 交際する上で不安を感じることはありますか？（複数選択可）**

「関係の進展や将来の不安」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「価値観や趣味の違い」の割合が 48.1%、「自分自身の自信の不足」の割合が 46.3%となっています。



**【性別】**

性別にみると、「関係の進展や将来の不安」では全体と比較すると女性の割合が増加しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	関係の進展や将来の不安	価値観や趣味の違い	自分自身の自信の不足	コミュニケーションの困難さ	その他	無回答
全体	214	52.8	48.1	46.3	27.6	6.5	6.1
男性	113	45.1	47.8	47.8	32.7	8.0	8.0
女性	98	61.2	46.9	43.9	20.4	5.1	4.1
その他	2	50.0	100.0	50.0	50.0	—	—
答えたくない	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—

【年齢別】

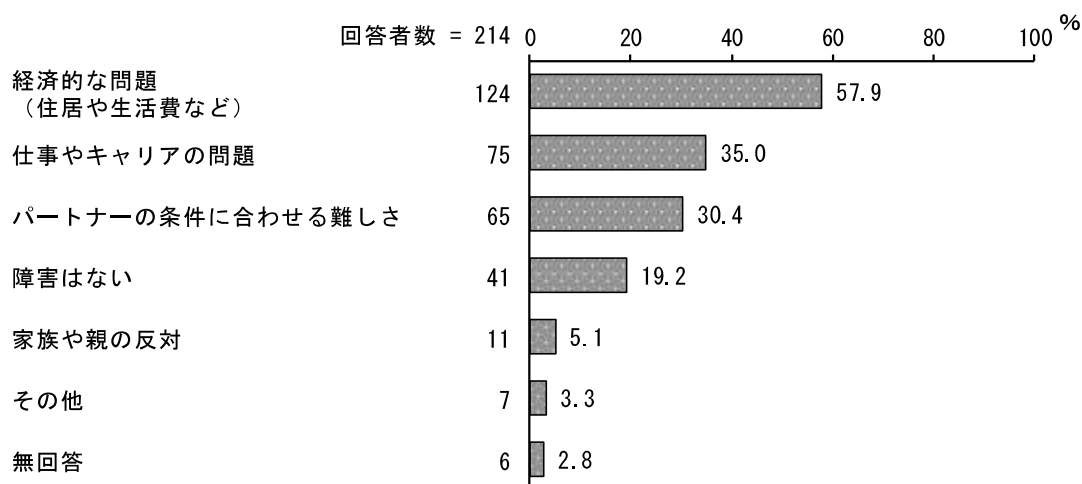
年齢別にみると、「自分自身の自信の不足」では全体と比較すると20歳～24歳の割合が大きく減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	関係の進展や将来の不安	価値観や趣味の違い	自分自身の自信の不足	コミュニケーションの困難さ	その他	無回答
全体	214	52.8	48.1	46.3	27.6	6.5	6.1
20歳～24歳	53	49.1	52.8	32.1	28.3	5.7	5.7
25歳～29歳	77	58.4	44.2	45.5	22.1	5.2	7.8
30歳～34歳	53	52.8	49.1	60.4	34.0	3.8	3.8
35歳～39歳	31	45.2	48.4	48.4	29.0	16.1	6.5

問11 1年以内に結婚をとした場合、結婚に関して直面する障害はありますか？結婚に関して障害がある場合、具体的にどのような障害がありますか？（複数選択可）

「経済的な問題（住居や生活費など）」の割合が57.9%と最も高く、次いで「仕事やキャリアの問題」の割合が35.0%、「パートナーの条件に合わせる難しさ」の割合が30.4%となっています。



【性別】

性別にみると、「経済的な問題（住居や生活費など）」では全体と比較すると女性の割合が減少しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	経済的な問題（住居や生活費など）	仕事やキャリアの問題	パートナーの条件に合わせる難しさ	障害はない	家族や親の反対	その他	無回答
全体	214	57.9	35.0	30.4	19.2	5.1	3.3	2.8
男性	113	62.8	35.4	30.1	17.7	4.4	1.8	2.7
女性	98	52.0	33.7	30.6	21.4	6.1	5.1	3.1
その他	2	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—
答えたくない	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別にみると、「パートナーの条件に合わせる難しさ」では全体と比較すると35歳～39歳の割合が大きく増加しています。

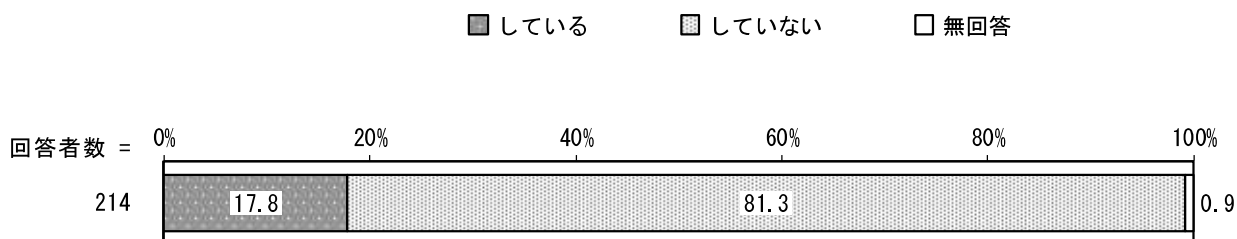
単位：％

区分	回答者数（件）	経済的な問題（住居や生活費など）	仕事やキャリアの問題	パートナーの条件に合わせる難しさ	障害はない	家族や親の反対	その他	無回答
全体	214	57.9	35.0	30.4	19.2	5.1	3.3	2.8
20歳～24歳	53	62.3	41.5	24.5	24.5	3.8	—	1.9
25歳～29歳	77	62.3	39.0	24.7	19.5	3.9	5.2	3.9
30歳～34歳	53	49.1	30.2	32.1	20.8	7.5	3.8	1.9
35歳～39歳	31	54.8	22.6	51.6	6.5	6.5	3.2	3.2



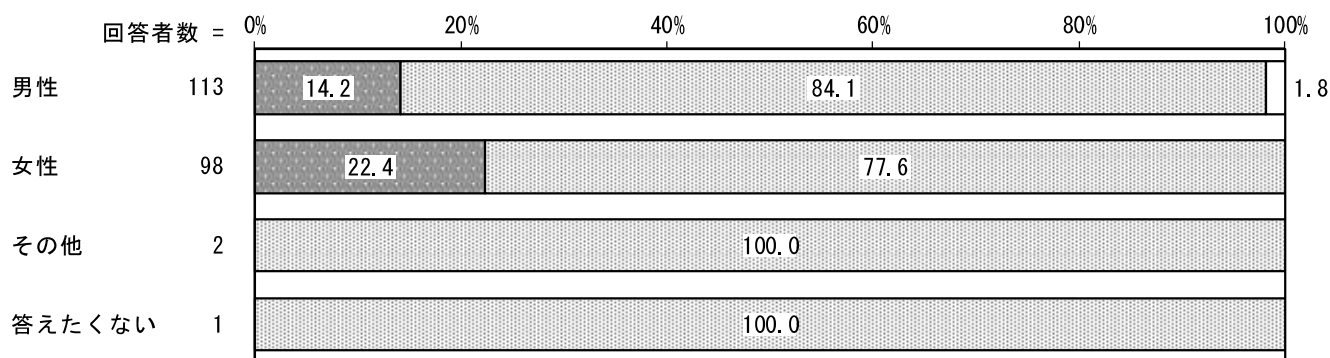
## 問 12 現在、婚活をしていますか？

「している」の割合が 17.8%、「していない」の割合が 81.3%となっています。



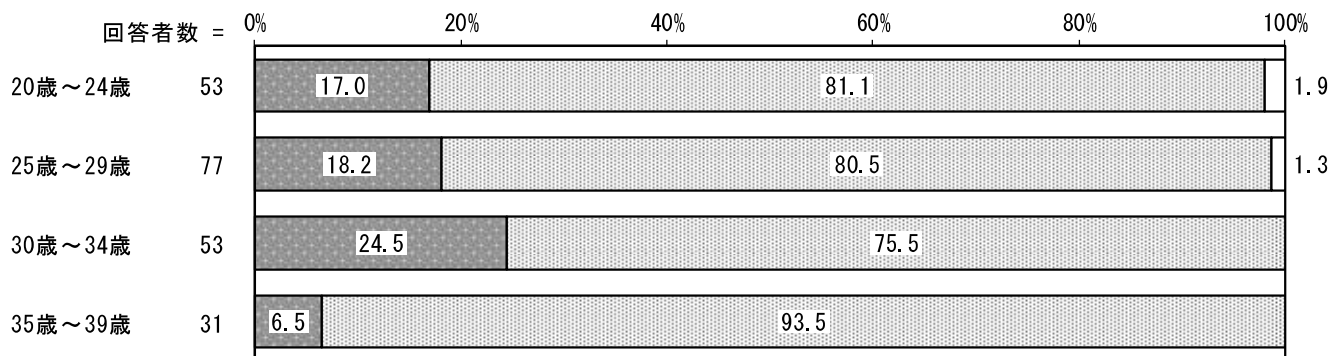
### 【性別】

性別にみると、大きな変化はみられません。



### 【年齢別】

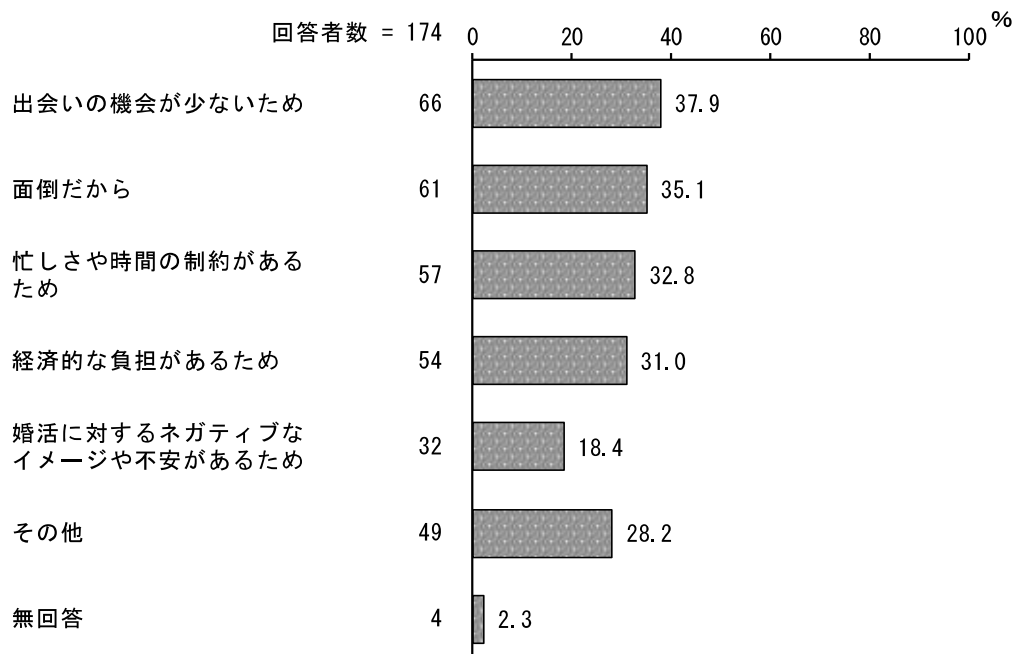
年齢別にみると、35歳～39歳では「していない」の割合が高くなっています。



問 12 で「していない」に○をつけた方にうかがいます。

**問 13 婚活をしていない理由について教えてください。(複数選択可)**

「出会いの機会が少ないため」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「面倒だから」の割合が 35.1%、「忙しさや時間の制約があるため」の割合が 32.8%となっています。



**【性別】**

性別にみると、「経済的な負担があるため」では全体と比較すると女性の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	出会いの機会が少ないため	面倒だから	忙しさや時間の制約があるため	経済的な負担があるため	婚活に対するネガティブなイメージや不安があるため	その他	無回答
全体	174	37.9	35.1	32.8	31.0	18.4	28.2	2.3
男性	95	41.1	33.7	40.0	38.9	17.9	23.2	2.1
女性	76	32.9	38.2	23.7	21.1	19.7	34.2	2.6
その他	2	50.0	—	—	50.0	—	50.0	—
答えたくない	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別にみると、「面倒だから」では全体と比較すると35歳～39歳の割合が大きく増加しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	出会いの機会が少ないため	面倒だから	忙しさや時間の制約があるため	経済的な負担があるため	婚活に対するネガティブなイメージや不安があるため	その他	無回答
全体	174	37.9	35.1	32.8	31.0	18.4	28.2	2.3
20歳～24歳	43	39.5	34.9	30.2	30.2	16.3	39.5	2.3
25歳～29歳	62	37.1	25.8	30.6	32.3	14.5	27.4	3.2
30歳～34歳	40	35.0	37.5	32.5	30.0	20.0	25.0	2.5
35歳～39歳	29	41.4	51.7	41.4	31.0	27.6	17.2	—

【性・年収別】

性・年収別にみると、「経済的な負担があるため」では全体と比較すると男性 200 万円以上～400 万円未満の割合が大きく増加しています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	出会いの 機会が少 ないため	面倒だから	忙しさや時間 の制約があるため	経済的な負担が あるため	婚活に対するネガ ティブなイメージ や不安があるため	その他	無回答
全体	174	37.9	35.1	32.8	31.0	18.4	28.2	2.3
男性 200万円未満	5	40.0	20.0	40.0	60.0	20.0	40.0	—
男性 200万円以上～ 400万円未満	23	52.2	39.1	43.5	65.2	17.4	13.0	—
男性 400万円以上～ 600万円未満	40	32.5	30.0	40.0	27.5	12.5	25.0	5.0
男性 600万円以上～ 800万円未満	15	33.3	40.0	33.3	13.3	20.0	26.7	—
男性 800万円以上～ 1000万円未満	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—
男性 1000万円以上	1	100.0	100.0	—	100.0	100.0	—	—
男性 収入なし	—	—	—	—	—	—	—	—
男性 わからない	1	100.0	—	—	100.0	—	—	—
男性 答えたくない	2	50.0	50.0	50.0	—	50.0	50.0	—
女性 200万円未満	6	16.7	66.7	50.0	50.0	50.0	16.7	—
女性 200万円以上～ 400万円未満	33	42.4	39.4	15.2	30.3	24.2	30.3	6.1
女性 400万円以上～ 600万円未満	23	34.8	39.1	21.7	8.7	17.4	30.4	—
女性 600万円以上～ 800万円未満	2	50.0	—	50.0	—	—	50.0	—
女性 800万円以上～ 1000万円未満	1	—	—	—	—	—	100.0	—
女性 1000万円以上	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 収入なし	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 わからない	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 答えたくない	4	—	25.0	25.0	—	—	75.0	—

【性・年齢別】

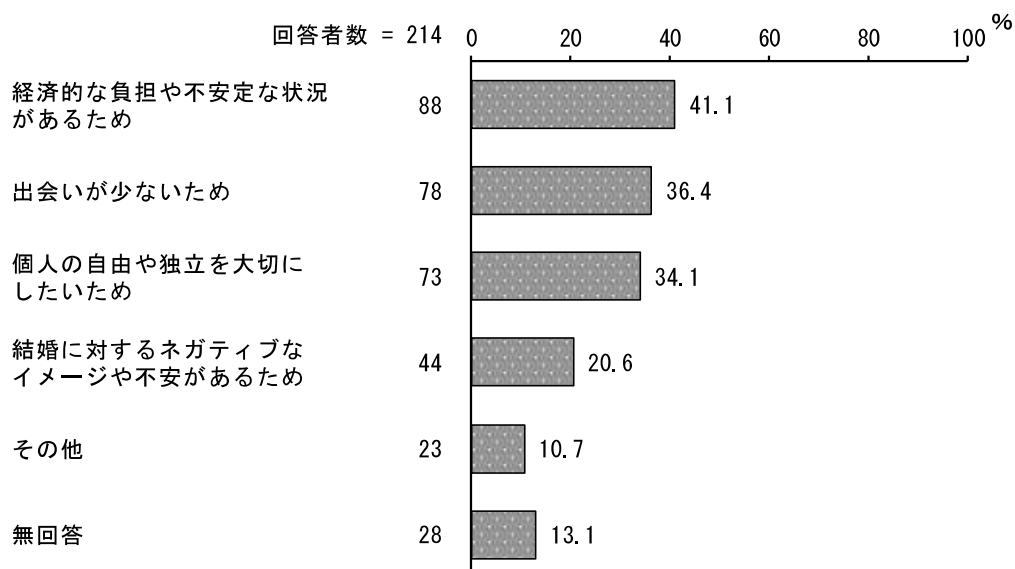
性・年齢別にみると、「忙しさや時間の制約があるため」では全体と比較すると女性 30 歳～34 歳の割合が大きく減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	出会いの機会が 少ないため	面倒だから	忙しさや時間の制 約があるため	経済的な負担があ るため	婚活に対するネガ ティブなイメージ や不安があるため	その他	無回答
全体	174	37.9	35.1	32.8	31.0	18.4	28.2	2.3
男性 20 歳～24 歳	27	37.0	37.0	33.3	33.3	14.8	37.0	3.7
男性 25 歳～29 歳	27	29.6	18.5	25.9	40.7	11.1	25.9	3.7
男性 30 歳～34 歳	22	54.5	31.8	54.5	45.5	22.7	18.2	—
男性 35 歳～39 歳	19	47.4	52.6	52.6	36.8	26.3	5.3	—
女性 20 歳～24 歳	15	40.0	33.3	26.7	26.7	20.0	40.0	—
女性 25 歳～29 歳	34	41.2	32.4	32.4	26.5	17.6	29.4	2.9
女性 30 歳～34 歳	17	11.8	47.1	5.9	5.9	17.6	35.3	5.9
女性 35 歳～39 歳	10	30.0	50.0	20.0	20.0	30.0	40.0	—

問 14 結婚していない理由や、結婚したいと思わない理由があれば教えてください。  
(複数選択可)

「経済的な負担や不安定な状況があるため」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「出会いが少ないため」の割合が 36.4%、「個人の自由や独立を大切にしたいため」の割合が 34.1%となっています。



【性別】

性別にみると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	経済的な負担や不安定な状況があるため	出会いが少ないため	個人の自由や独立を大切にしたいため	結婚に対するネガティブなイメージや不安があるため	その他	無回答
全体	214	41.1	36.4	34.1	20.6	10.7	13.1
男性	113	42.5	36.3	34.5	18.6	5.3	16.8
女性	98	39.8	35.7	33.7	23.5	17.3	9.2
その他	2	—	50.0	50.0	—	—	—
答えたくない	1	100.0	100.0	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別にみると、「経済的な負担や不安定な状況があるため」では全体と比較すると30歳～34歳の割合が大きく減少しています。

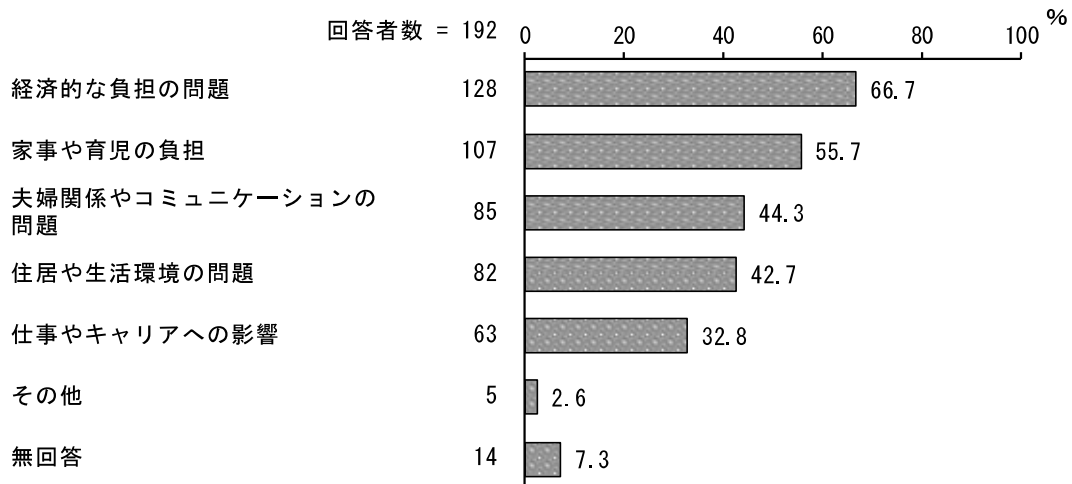
単位：%

区分	回答者数(件)	経済的な負担や不安定な状況があるため	出会いが少ないため	個人の自由や独立を大切にしたいため	結婚に対するネガティブなイメージや不安があるため	その他	無回答
全体	214	41.1	36.4	34.1	20.6	10.7	13.1
20歳～24歳	53	49.1	30.2	30.2	13.2	11.3	20.8
25歳～29歳	77	44.2	31.2	31.2	19.5	10.4	13.0
30歳～34歳	53	22.6	43.4	35.8	26.4	13.2	11.3
35歳～39歳	31	51.6	48.4	45.2	25.8	6.5	3.2

問9で「結婚したいと思っていない」に○をつけた方は回答不要。

問15-1 結婚したら気になることについて教えてください。(複数選択可)

「経済的な負担の問題」の割合が66.7%と最も高く、次いで「家事や育児の負担」の割合が55.7%、「夫婦関係やコミュニケーションの問題」の割合が44.3%となっています。



【性別】

性別にみると、「家事や育児の負担」では全体と比較すると女性の割合が増加しています。

単位：％

区分	回答者数(件)	題 経済的な負担の問	家事や育児の負担	題 夫婦関係やコミュニケーションの問	問題 住居や生活環境の	の仕事やキャリアへの影響	その他	無回答
全体	192	66.7	55.7	44.3	42.7	32.8	2.6	7.3
男性	102	66.7	48.0	47.1	44.1	28.4	1.0	9.8
女性	88	65.9	64.8	40.9	39.8	37.5	4.5	4.5
その他	1	100.0	—	—	100.0	—	—	—
答えたくない	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—

【年齢別】

年齢別にみると、「家事や育児の負担」では全体と比較すると35歳～39歳の割合が大きく減少しています。

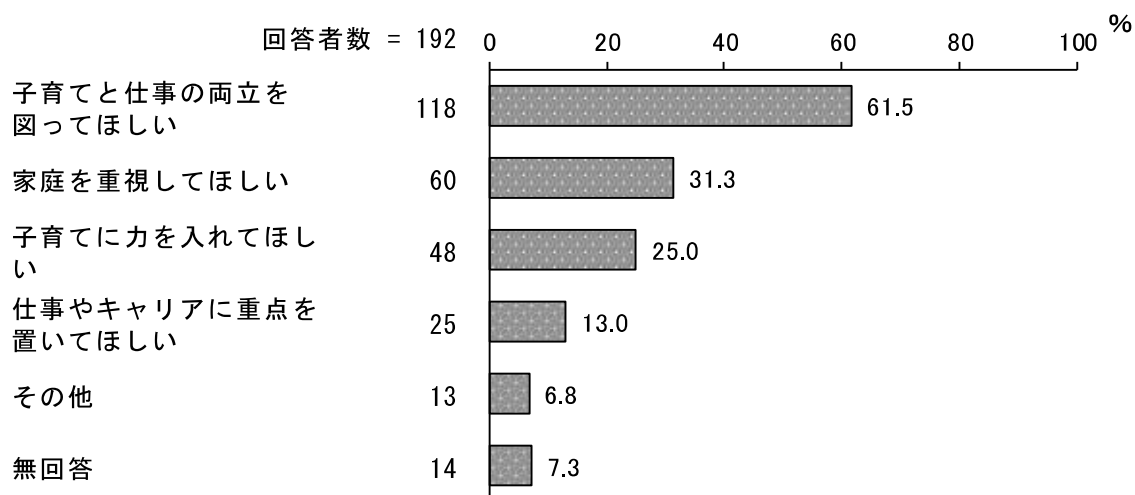
単位：％

区分	回答者数(件)	題 経済的な負担の問	家事や育児の負担	題 夫婦関係やコミュニケーションの問	問題 住居や生活環境の	の仕事やキャリアへの影響	その他	無回答
全体	192	66.7	55.7	44.3	42.7	32.8	2.6	7.3
20歳～24歳	47	76.6	46.8	36.2	42.6	27.7	—	8.5
25歳～29歳	71	67.6	64.8	39.4	47.9	43.7	—	7.0
30歳～34歳	48	62.5	60.4	58.3	37.5	27.1	4.2	4.2
35歳～39歳	26	53.8	38.5	46.2	38.5	23.1	11.5	11.5



問 15-2 配偶者になる方にどうあって欲しいかについて教えてください。  
(複数選択可)

「子育てと仕事の両立を図ってほしい」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「家庭を重視してほしい」の割合が 31.3%、「子育てに力を入れてほしい」の割合が 25.0%となっています。



【性別】

性別にみると、「家庭を重視してほしい」では全体と比較すると女性の割合が増加しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	子育てと仕事の両立を図ってほしい	家庭を重視してほしい	子育てに力を入れてほしい	仕事やキャリアに重点を置いてほしい	その他	無回答
全体	192	61.5	31.3	25.0	13.0	6.8	7.3
男性	102	55.9	26.5	20.6	10.8	7.8	11.8
女性	88	67.0	37.5	30.7	15.9	5.7	2.3
その他	1	100.0	—	—	—	—	—
答えたくない	1	100.0	—	—	—	—	—

【年齢別】

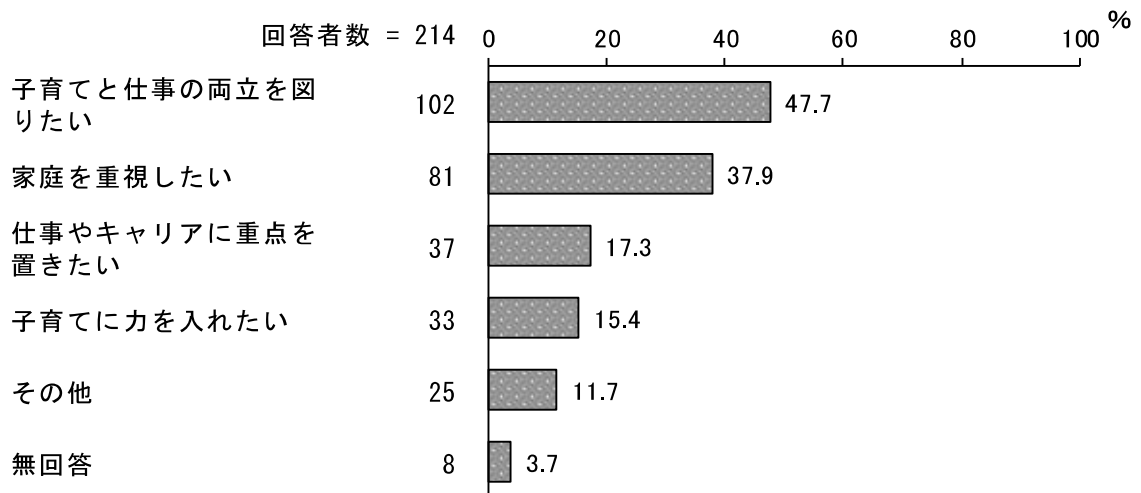
年齢別にみると、「子育てと仕事の両立を図ってほしい」では全体と比較すると30歳～34歳の割合が大きく減少しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子育てと仕事の両立を図ってほしい	家庭を重視してほしい	子育てに力を入れてほしい	仕事やキャリアに重点を置いてほしい	その他	無回答
全体	192	61.5	31.3	25.0	13.0	6.8	7.3
20歳～24歳	47	63.8	34.0	23.4	14.9	4.3	10.6
25歳～29歳	71	69.0	29.6	25.4	14.1	1.4	7.0
30歳～34歳	48	50.0	33.3	27.1	10.4	10.4	6.3
35歳～39歳	26	57.7	26.9	23.1	11.5	19.2	3.8

問16 あなたが理想とする人生について教えてください。(複数選択可)

「子育てと仕事の両立を図りたい」の割合が47.7%と最も高く、次いで「家庭を重視したい」の割合が37.9%、「仕事やキャリアに重点を置きたい」の割合が17.3%となっています。



【性別】

性別にみると、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	子育てと仕事の両立を図りたい	家庭を重視したい	仕事やキャリアに重点を置きたい	子育てに力を入れたい	その他	無回答
全体	214	47.7	37.9	17.3	15.4	11.7	3.7
男性	113	48.7	38.1	15.0	12.4	10.6	5.3
女性	98	45.9	38.8	19.4	19.4	13.3	2.0
その他	2	50.0	—	50.0	—	—	—
答えたくない	1	100.0	—	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別にみると、「仕事やキャリアに重点を置きたい」では全体と比較すると20歳～24歳の割合が減少しています。

単位：%

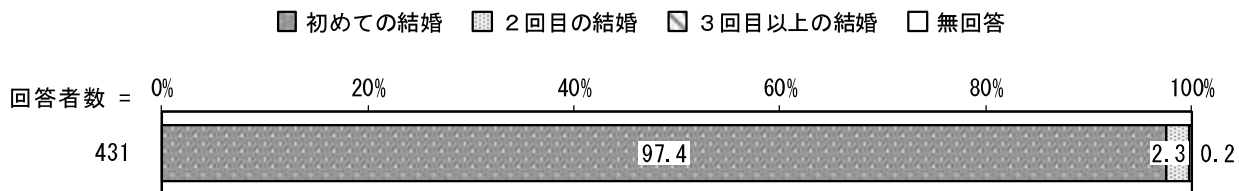
区分	回答者数(件)	子育てと仕事の両立を図りたい	家庭を重視したい	仕事やキャリアに重点を置きたい	子育てに力を入れたい	その他	無回答
全体	214	47.7	37.9	17.3	15.4	11.7	3.7
20歳～24歳	53	49.1	39.6	7.5	11.3	7.5	7.5
25歳～29歳	77	45.5	37.7	18.2	16.9	9.1	3.9
30歳～34歳	53	52.8	37.7	26.4	17.0	11.3	1.9
35歳～39歳	31	41.9	35.5	16.1	16.1	25.8	—

現在、結婚経験がある方にうかがいます。

(問4で「結婚経験あり(現在は、独身)」「結婚経験あり(現在は、有配偶)」に○をつけた方にうかがいます。)

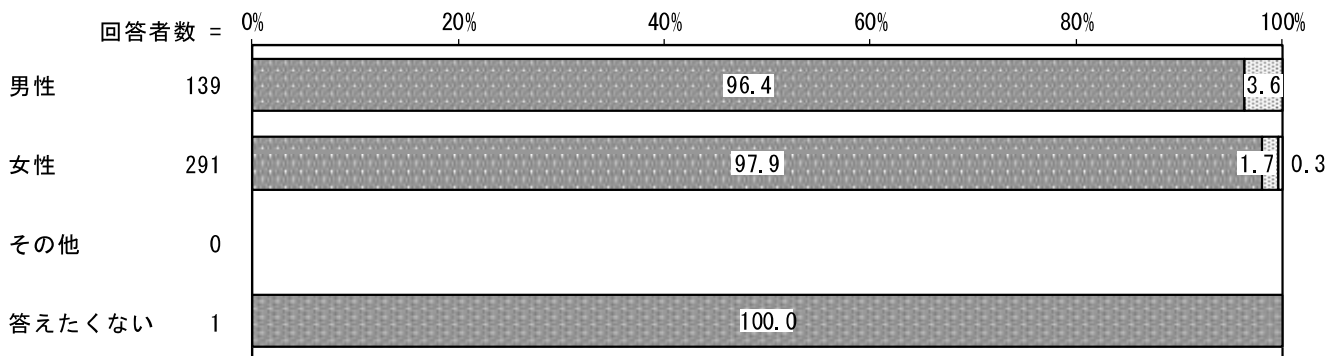
**問17 結婚の回数について教えてください。**

「初めての結婚」の割合が97.4%と最も高くなっています。



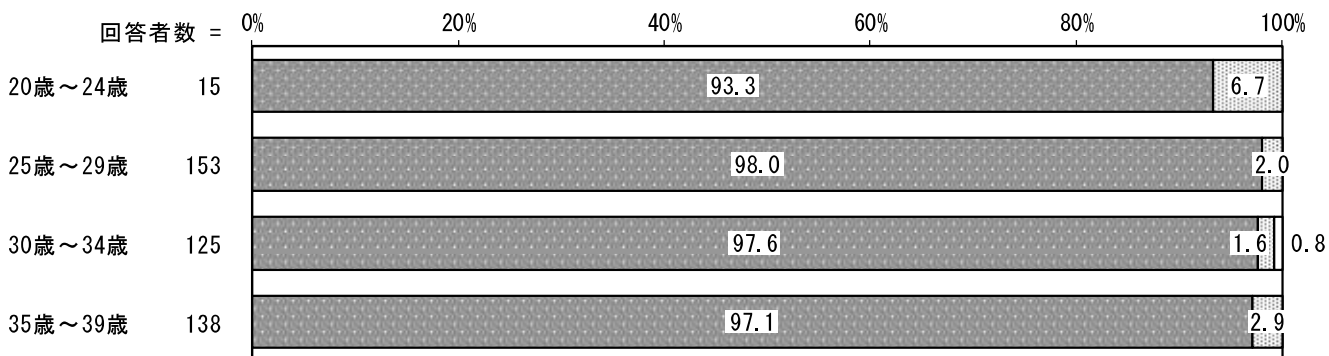
**【性別】**

性別にみると、大きな変化はみられません。



**【年齢別】**

年齢別にみると、大きな変化はみられません。

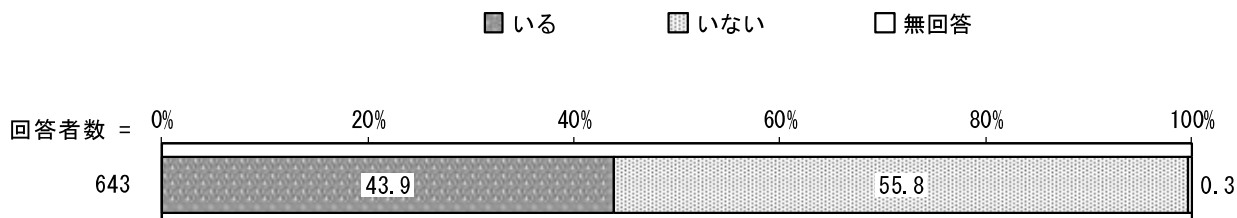


### 3 子どもについて

全ての方にうかがいます。

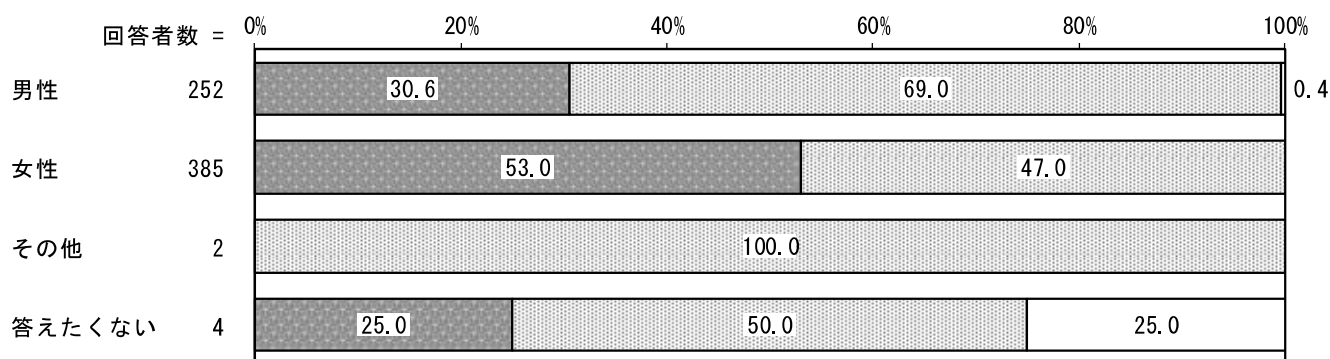
問 18 現在、お子さんはいらっしゃいますか？もしいらっしゃる場合は、その人数を教えてください。

「いる」の割合が43.9%、「いない」の割合が55.8%となっています。



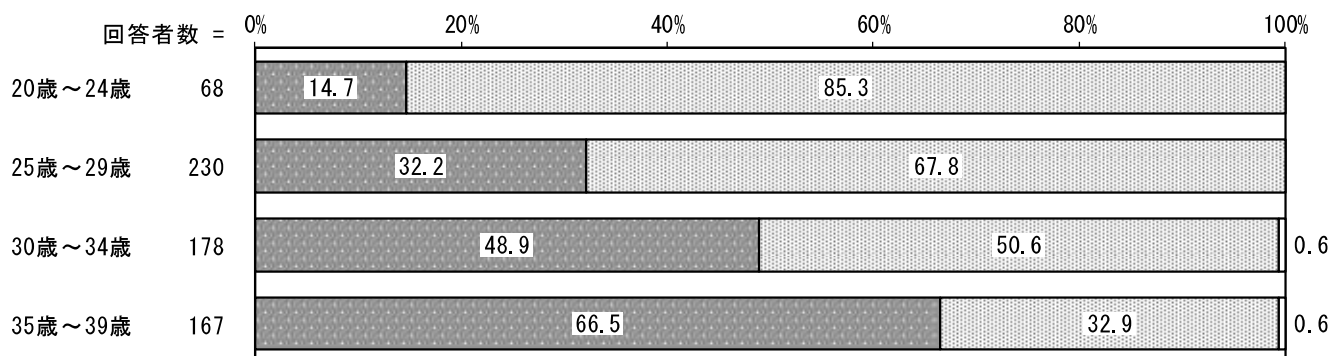
#### 【性別】

性別にみると、男性では「いない」の割合が高くなっています。



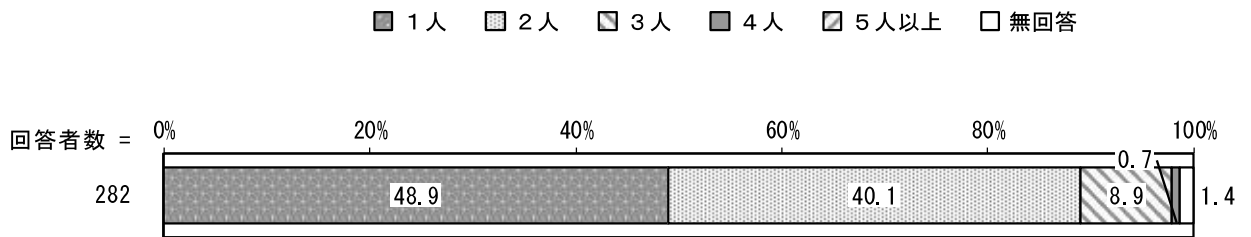
#### 【年齢別】

年齢別にみると、20歳～24歳では「いない」の割合が高くなっています。



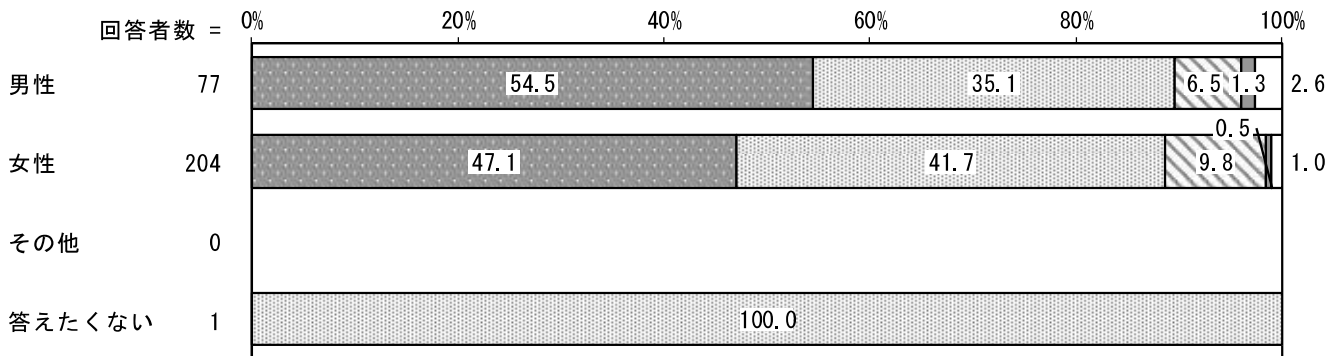
## 子どもの人数を教えてください。

「1人」の割合が48.9%と最も高く、次いで「2人」の割合が40.1%となっています。



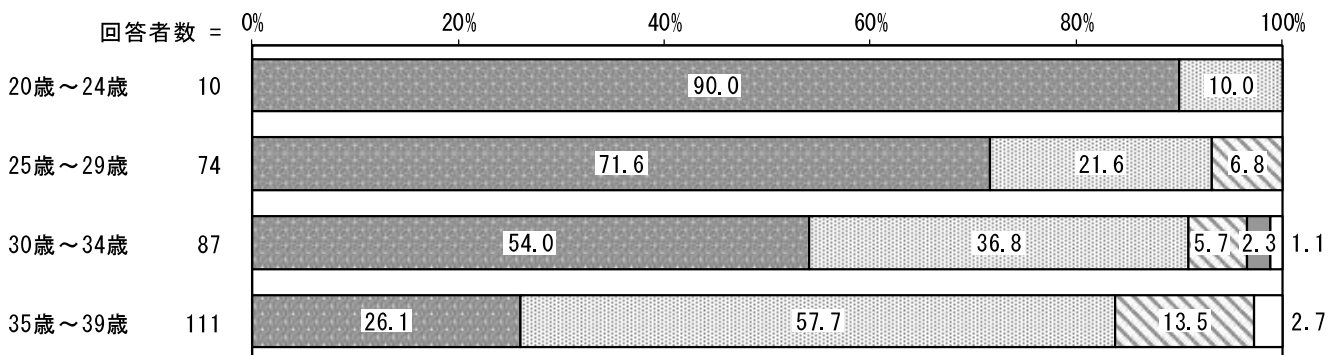
## 【性別】

性別にみると、大きな変化はみられません。



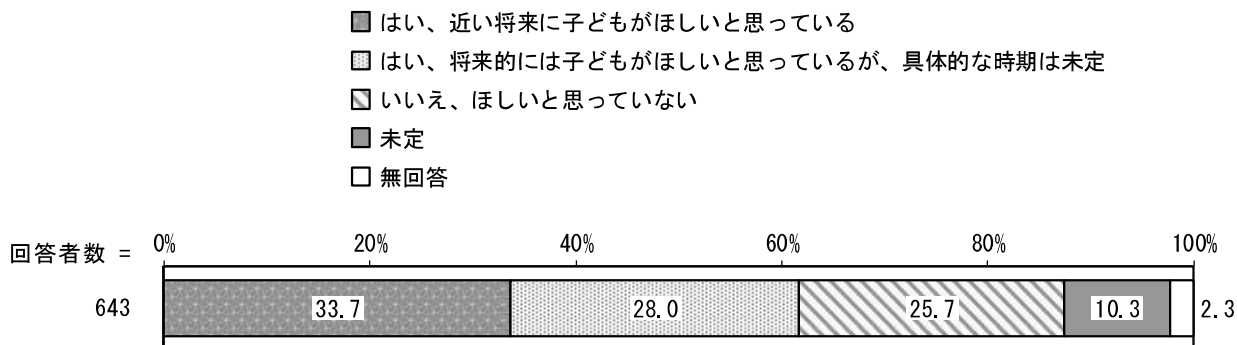
## 【年齢別】

年齢別にみると、20歳～24歳では「1人」の割合が高くなっています。



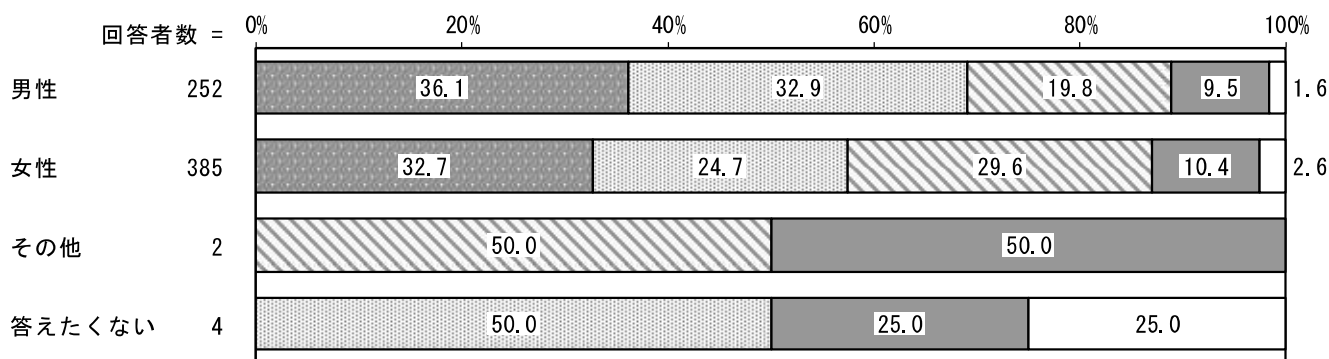
**問 19 今後、子どもをほしいと思いますか？**  
**(既婚の方は、今後も子どもをほしいと思いますか？)**

「はい、近い将来に子どもがほしいと思っている」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「はい、将来的には子どもがほしいと思っているが、具体的な時期は未定」の割合が 28.0%、「いいえ、ほしいと思っていない」の割合が 25.7%となっています。



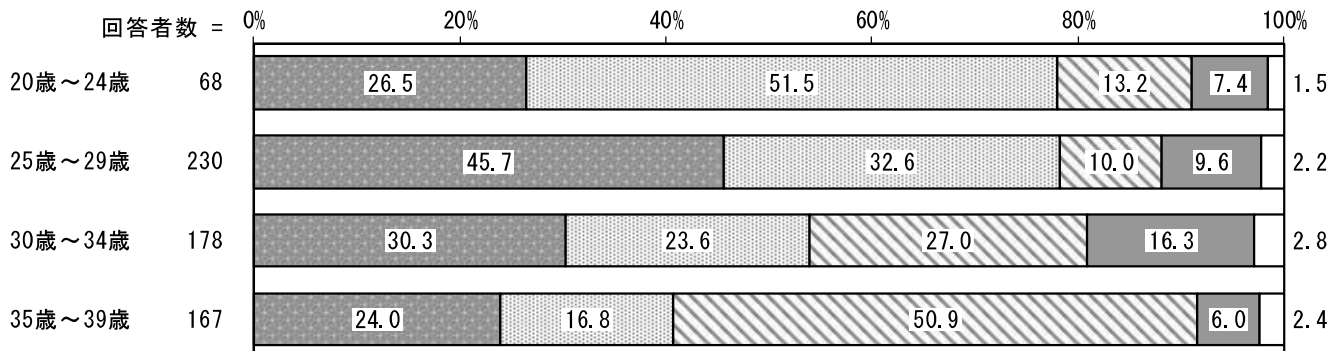
**【性別】**

性別にみると、大きな変化はみられません。



**【年齢別】**

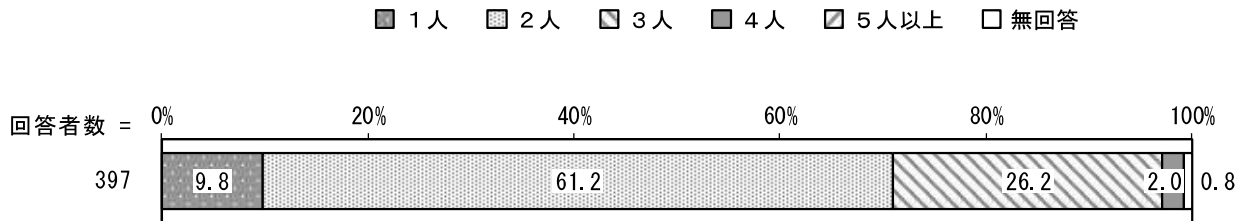
年齢別にみると、35歳～39歳では「いいえ、ほしいと思っていない」の割合が高くなっています。



問 19 で「はい、近い将来に子どもがほしいと思っている」「はい、将来的には子どもがほしいと思っているが、具体的な時期は未定」に○をつけた方にうかがいます。

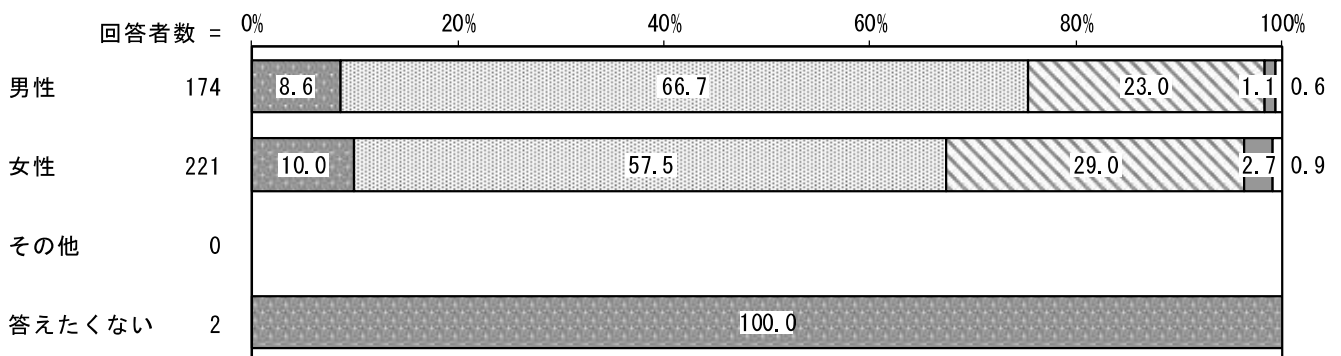
**問 20 理想の子どもの人数について教えてください。(現在いるお子さんを含む。)**

「2人」の割合が61.2%と最も高く、次いで「3人」の割合が26.2%となっています。



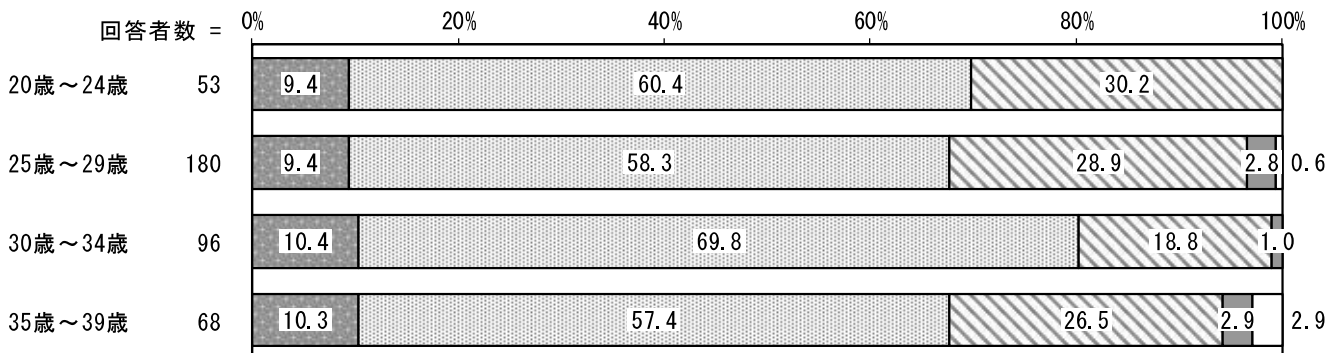
**【性別】**

性別にみると、大きな変化はみられません。



**【年齢別】**

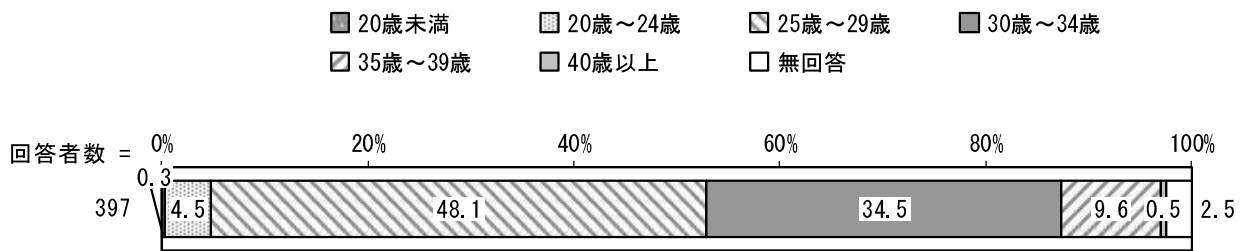
年齢別にみると、30歳～34歳では「2人」の割合が高くなっています。





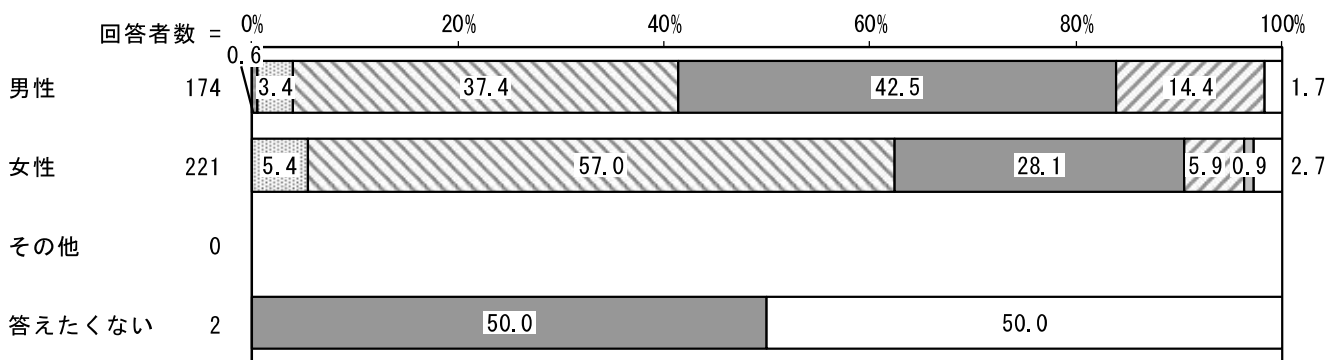
**問 21 子育てを始める理想的な年齢について教えてください。**

「25歳～29歳」の割合が48.1%と最も高く、次いで「30歳～34歳」の割合が34.5%となっています。



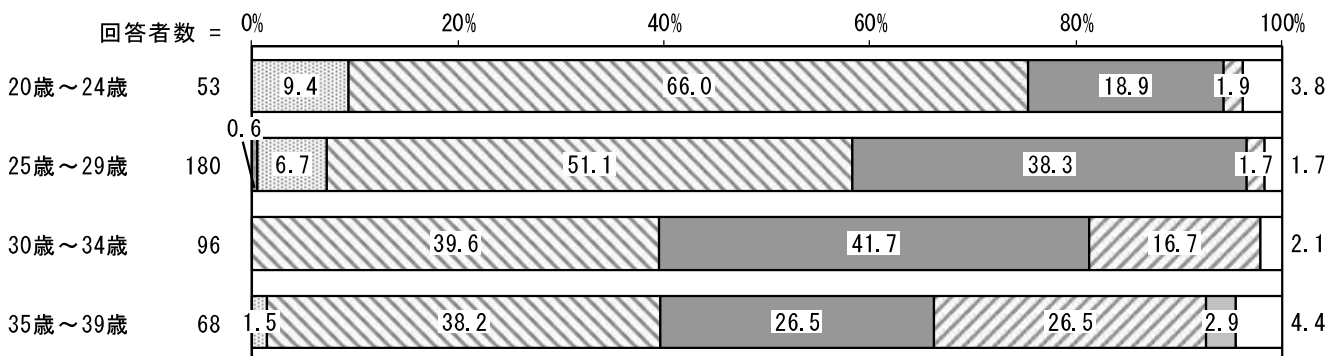
**【性別】**

性別にみると、男性では「30歳～34歳」、女性では「25歳～29歳」の割合が高くなっています。



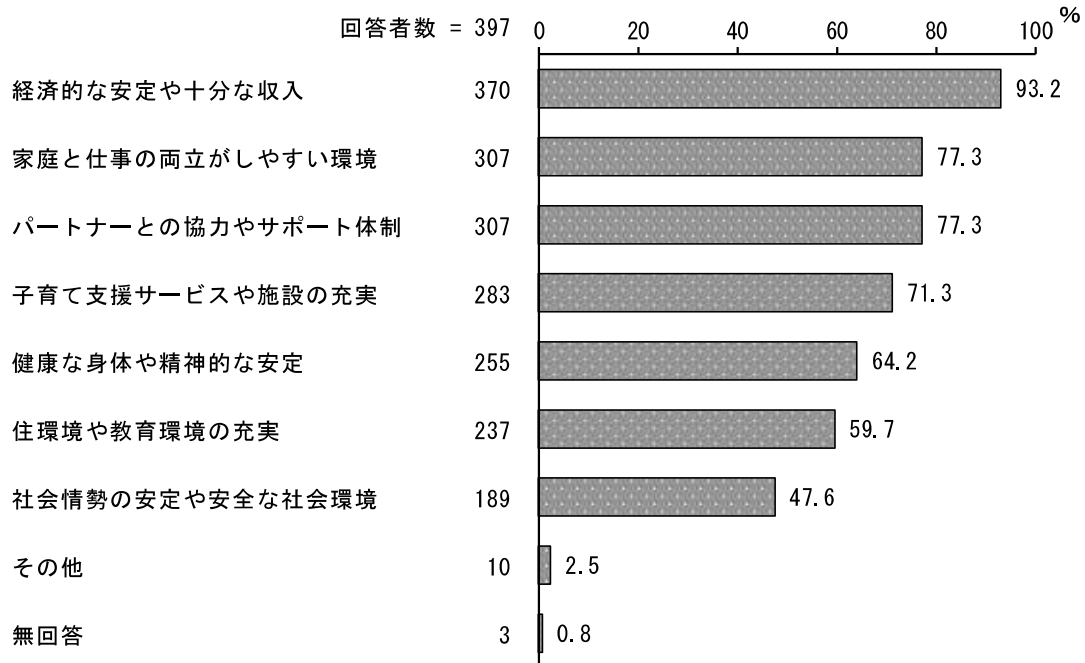
**【年齢別】**

年齢別にみると、20歳～24歳では「25歳～29歳」の割合が高くなっています。



問 22 理想の数の子どもを持つために必要な条件について教えてください。  
(複数選択可)

「経済的な安定や十分な収入」の割合が 93.2%と最も高く、次いで「家庭と仕事の両立がしやすい環境」、「パートナーとの協力やサポート体制」の割合が 77.3%となっています。



【性別】

性別にみると、「社会情勢の安定や安全な社会環境」では全体と比較すると男性の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	経済的な安定や十分な収入	家庭と仕事の両立がしやすい環境	パートナーとの協力やサポート体制	子育て支援サービスや施設の充実	健康な身体や精神的な安定	住環境や教育環境の充実	社会情勢の安定や安全な社会環境	その他	無回答
全体	397	93.2	77.3	77.3	71.3	64.2	59.7	47.6	2.5	0.8
男性	174	91.4	73.0	70.1	65.5	58.6	60.3	39.1	0.6	0.6
女性	221	94.6	80.5	82.8	75.6	68.8	58.8	53.8	3.6	0.9
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
答えたくない	2	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	50.0	—

## 【年齢別】

年齢別にみると、「健康な身体や精神的な安定」では全体と比較すると20歳～24歳の割合が大きく減少しています。

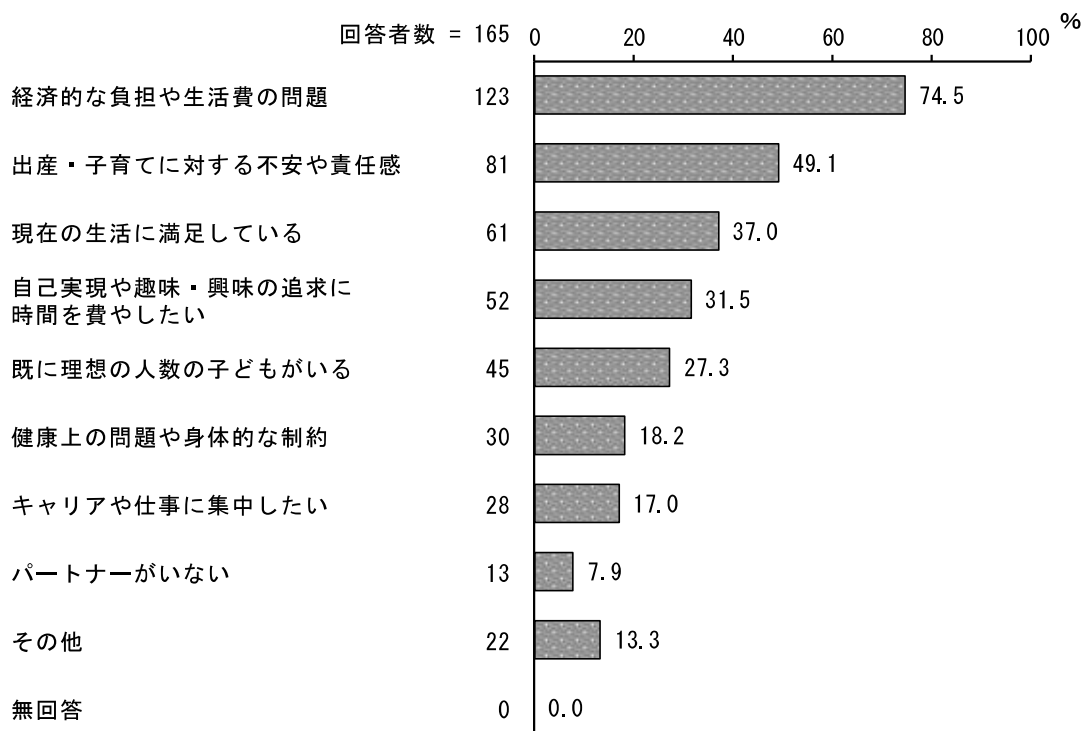
単位：％

区分	回答者数 (件)	経済的な安定や十分な収入	家庭と仕事の両立がしやすい環境	パートナーとの協力やサポート体制	子育て支援サービスや施設の充実	健康な身体や精神的な安定	住環境や教育環境の充実	社会情勢の安定や安全な社会環境	その他	無回答
全体	397	93.2	77.3	77.3	71.3	64.2	59.7	47.6	2.5	0.8
20歳～24歳	53	96.2	73.6	67.9	75.5	52.8	56.6	49.1	1.9	—
25歳～29歳	180	92.8	78.3	73.3	74.4	63.3	60.6	48.9	1.1	0.6
30歳～34歳	96	92.7	72.9	84.4	62.5	65.6	57.3	43.8	4.2	1.0
35歳～39歳	68	92.6	83.8	85.3	72.1	73.5	63.2	48.5	4.4	1.5

問19で「いいえ、ほしいと思っていない」に○をつけた方にうかがいます。

問23 子どもをほしいと思わない理由について教えてください。(すでにお子さんがいる方は、これ以上子どもをほしいと思わない理由について教えてください。)  
(複数選択可)

「経済的な負担や生活費の問題」の割合が74.5%と最も高く、次いで「出産・子育てに対する不安や責任感」の割合が49.1%、「現在の生活に満足している」の割合が37.0%となっています。



### 【性別】

性別にみると、「現在の生活に満足している」では全体と比較すると男性の割合が大きく増加しています。

単位：％

区分	回答者数(件)	経済的な負担や生活費の問題	出産・子育てに対する不安や責任感	現在の生活に満足している	自己実現や趣味・興味の追求に時間を費やしたい	既に理想の人数の子どもがいる	健康上の問題や身体的な制約	キャリアや仕事に集中したい	パートナーがいない	その他	無回答
全体	165	74.5	49.1	37.0	31.5	27.3	18.2	17.0	7.9	13.3	0.0
男性	50	64.0	44.0	48.0	38.0	22.0	14.0	14.0	12.0	14.0	—
女性	114	78.9	51.8	32.5	28.1	29.8	20.2	18.4	6.1	13.2	—
その他	1	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—
答えたくない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

### 【年齢別】

年齢別にみると、「パートナーがいない」では全体と比較すると20歳～24歳の割合が大きく増加しています。

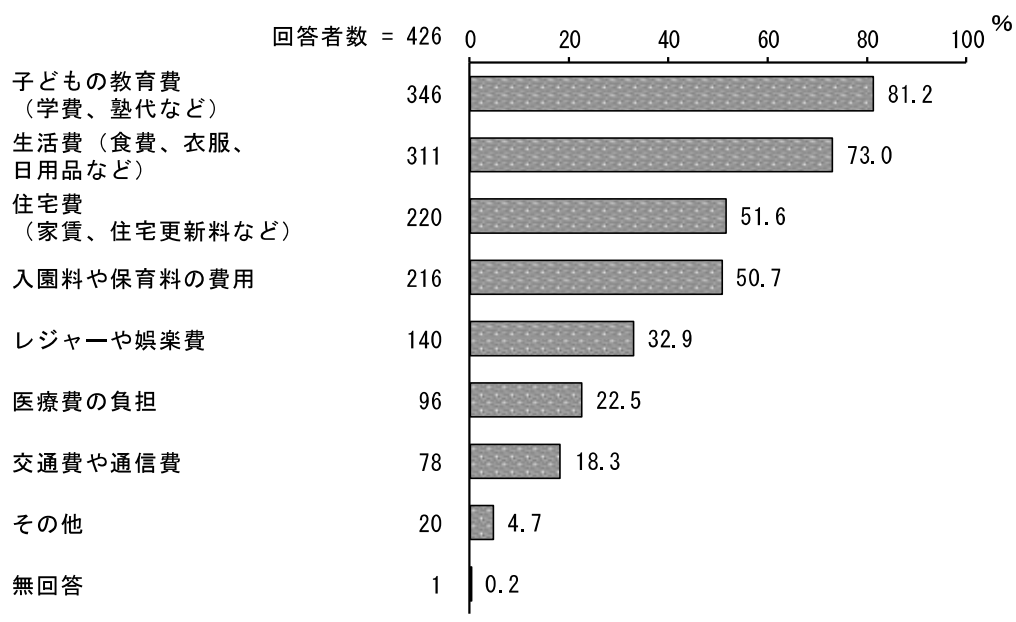
単位：％

区分	回答者数(件)	経済的な負担や生活費の問題	出産・子育てに対する不安や責任感	現在の生活に満足している	自己実現や趣味・興味の追求に時間を費やしたい	既に理想の人数の子どもがいる	健康上の問題や身体的な制約	キャリアや仕事に集中したい	パートナーがいない	その他	無回答
全体	165	74.5	49.1	37.0	31.5	27.3	18.2	17.0	7.9	13.3	0.0
20歳～24歳	9	100.0	88.9	55.6	77.8	—	22.2	55.6	55.6	—	—
25歳～29歳	23	65.2	65.2	60.9	30.4	8.7	17.4	17.4	17.4	13.0	—
30歳～34歳	48	72.9	37.5	22.9	27.1	25.0	12.5	18.8	2.1	12.5	—
35歳～39歳	85	75.3	47.1	36.5	29.4	36.5	21.2	11.8	3.5	15.3	—

現在、結婚されている方にかかっています。

**問 24 子育て費用の中で特に負担と感ずるものや負担と予想されるものについて教えてください。（複数選択可）**

「子どもの教育費（学費、塾代など）」の割合が 81.2%と最も高く、次いで「生活費（食費、衣服、日用品など）」の割合が 73.0%、「住宅費（家賃、住宅更新料など）」の割合が 51.6%となっています。



**【性別】**

性別にみると、「生活費（食費、衣服、日用品など）」では全体と比較すると男性の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	子どもの教育費 (学費、塾代など)	生活費 (食費、衣服、日用品など)	住宅費 (家賃、住宅更新料など)	入園料や保育料の費用	レジャーや娯楽費	医療費の負担	交通費や通信費	その他	無回答
全体	426	81.2	73.0	51.6	50.7	32.9	22.5	18.3	4.7	0.2
男性	138	74.6	65.9	45.7	49.3	29.7	22.5	20.3	8.0	0.7
女性	287	84.3	76.3	54.4	51.2	34.1	22.3	17.1	3.1	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
答えたくない	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—

### 【年齢別】

年齢別にみると、「住宅費（家賃、住宅更新料など）」では全体と比較すると20歳～24歳の割合が大きく増加しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どもの教育費（学費、塾代など）	生活費（食費、衣服、日用品など）	住宅費（家賃、住宅更新料など）	入園料や保育料の費用	レジャーや娯楽費	医療費の負担	交通費や通信費	その他	無回答
全体	426	81.2	73.0	51.6	50.7	32.9	22.5	18.3	4.7	0.2
20歳～24歳	15	86.7	86.7	73.3	66.7	26.7	33.3	26.7	6.7	—
25歳～29歳	153	76.5	72.5	52.9	62.1	28.1	32.0	21.6	4.6	0.7
30歳～34歳	123	78.9	76.4	46.3	52.8	32.5	17.9	13.0	3.3	—
35歳～39歳	135	88.1	68.9	52.6	34.1	39.3	14.8	18.5	5.9	—

### 【世帯年収別】

世帯年収別にみると、「生活費（食費、衣服、日用品など）」では全体と比較すると200万円未満の割合が大きく増加しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どもの教育費（学費、塾代など）	生活費（食費、衣服、日用品など）	住宅費（家賃、住宅更新料など）	入園料や保育料の費用	レジャーや娯楽費	医療費の負担	交通費や通信費	その他	無回答
全体	426	81.2	73.0	51.6	50.7	32.9	22.5	18.3	4.7	0.2
200万円未満	9	77.8	100.0	55.6	44.4	55.6	44.4	11.1	—	—
200万円以上～400万円未満	14	85.7	92.9	64.3	64.3	14.3	21.4	14.3	7.1	—
400万円以上～600万円未満	27	88.9	74.1	44.4	37.0	40.7	14.8	33.3	—	—
600万円以上～800万円未満	40	85.0	75.0	60.0	60.0	55.0	27.5	22.5	5.0	—
800万円以上～1000万円未満	58	77.6	81.0	56.9	44.8	32.8	24.1	15.5	1.7	—
1000万円以上	178	80.3	62.9	45.5	48.9	27.5	20.8	15.7	6.2	0.6
収入なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
答えたくない	4	50.0	50.0	—	25.0	50.0	25.0	—	—	—

【性・年収別】

性・年収別にみると、「生活費（食費、衣服、日用品など）」では全体と比較すると男性 800 万円以上～1000 万円未満の割合が大きく減少しています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子どもの教育費 (学費、塾代など)	生活費(食費、衣服、 日用品など)	住宅費(家賃、住宅 更新料など)	入園料や保育料の 費用	レジャーや娯楽費	医療費の負担	交通費や通信費	その他	無回答
全体	426	81.2	73.0	51.6	50.7	32.9	22.5	18.3	4.7	0.2
男性 200万円未満	2	100.0	100.0	100.0	—	100.0	50.0	—	—	—
男性 200万円以上～ 400万円未満	10	70.0	80.0	60.0	80.0	10.0	40.0	10.0	10.0	—
男性 400万円以上～ 600万円未満	61	73.8	67.2	41.0	49.2	26.2	18.0	26.2	8.2	1.6
男性 600万円以上～ 800万円未満	33	75.8	78.8	54.5	57.6	36.4	30.3	21.2	6.1	—
男性 800万円以上～ 1000万円未満	15	80.0	40.0	46.7	33.3	26.7	6.7	20.0	6.7	—
男性 1000万円以上	11	63.6	45.5	36.4	36.4	36.4	36.4	9.1	18.2	—
男性 収入なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
男性 わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
男性 答えたくない	5	80.0	40.0	20.0	20.0	40.0	—	—	—	—
女性 200万円未満	50	88.0	82.0	52.0	40.0	52.0	14.0	22.0	—	—
女性 200万円以上～ 400万円未満	75	78.7	81.3	50.7	61.3	26.7	28.0	14.7	4.0	—
女性 400万円以上～ 600万円未満	68	86.8	69.1	55.9	50.0	36.8	25.0	14.7	1.5	—
女性 600万円以上～ 800万円未満	18	94.4	55.6	44.4	44.4	22.2	22.2	22.2	5.6	—
女性 800万円以上～ 1000万円未満	3	100.0	—	—	33.3	—	—	33.3	—	—
女性 1000万円以上	3	100.0	—	66.7	33.3	—	—	—	—	—
女性 収入なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 答えたくない	3	66.7	100.0	—	33.3	66.7	33.3	—	—	—

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、「住宅費（家賃、住宅更新料など）」では全体と比較すると男性 20 歳～24 歳の割合が大きく増加しています。

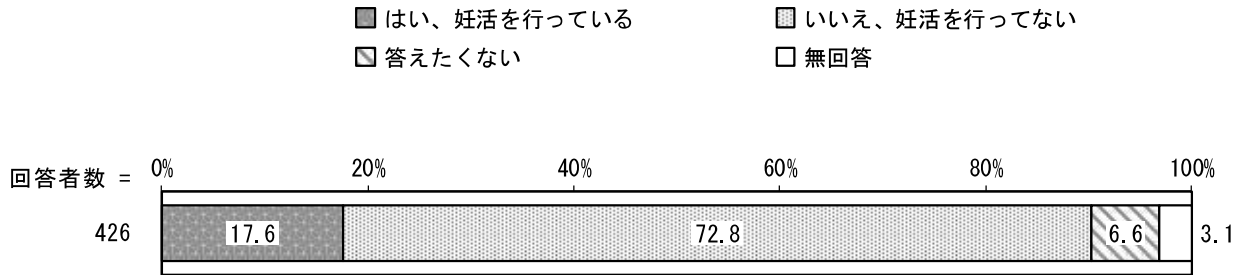
単位：％

区分	回答者数（件）	子どもの教育費（学費、塾代など）	生活費（食費、衣服、日用品など）	住宅費（家賃、住宅更新料など）	入園料や保育料の費用	レジャーや娯楽費	医療費の負担	交通費や通信費	その他	無回答
全体	426	81.2	73.0	51.6	50.7	32.9	22.5	18.3	4.7	0.2
男性 20 歳～24 歳	9	88.9	88.9	88.9	77.8	33.3	55.6	44.4	11.1	—
男性 25 歳～29 歳	52	65.4	67.3	44.2	50.0	25.0	28.8	23.1	7.7	1.9
男性 30 歳～34 歳	39	71.8	64.1	35.9	43.6	28.2	12.8	17.9	7.7	—
男性 35 歳～39 歳	38	86.8	60.5	47.4	47.4	36.8	15.8	13.2	7.9	—
女性 20 歳～24 歳	6	83.3	83.3	50.0	50.0	16.7	—	—	—	—
女性 25 歳～29 歳	101	82.2	75.2	57.4	68.3	29.7	33.7	20.8	3.0	—
女性 30 歳～34 歳	83	81.9	81.9	50.6	56.6	33.7	19.3	9.6	1.2	—
女性 35 歳～39 歳	97	88.7	72.2	54.6	28.9	40.2	14.4	20.6	5.2	—



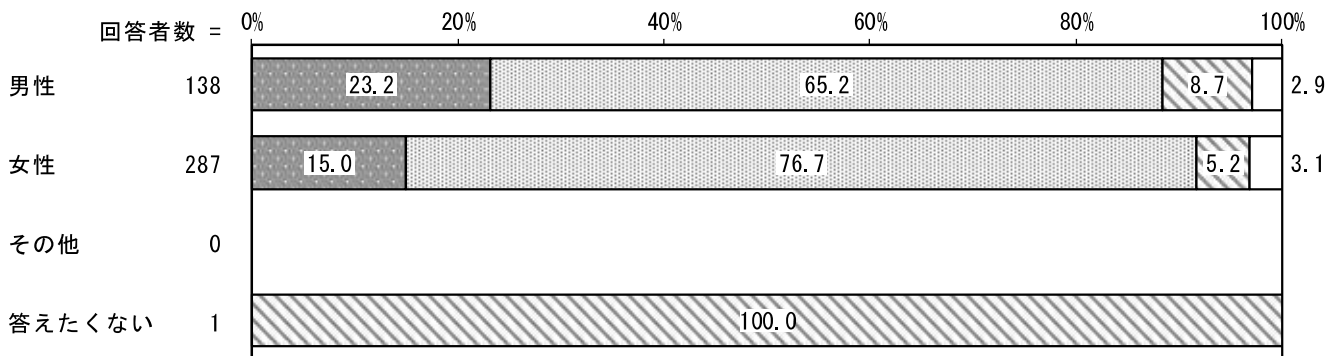
**問 25 現在、妊活（妊娠活動）を行っていますか？（妊活とは、妊娠を希望するために積極的に取り組む活動をいいます。）**

「いいえ、妊活を行ってない」の割合が 72.8%と最も高く、次いで「はい、妊活を行っている」の割合が 17.6%となっています。



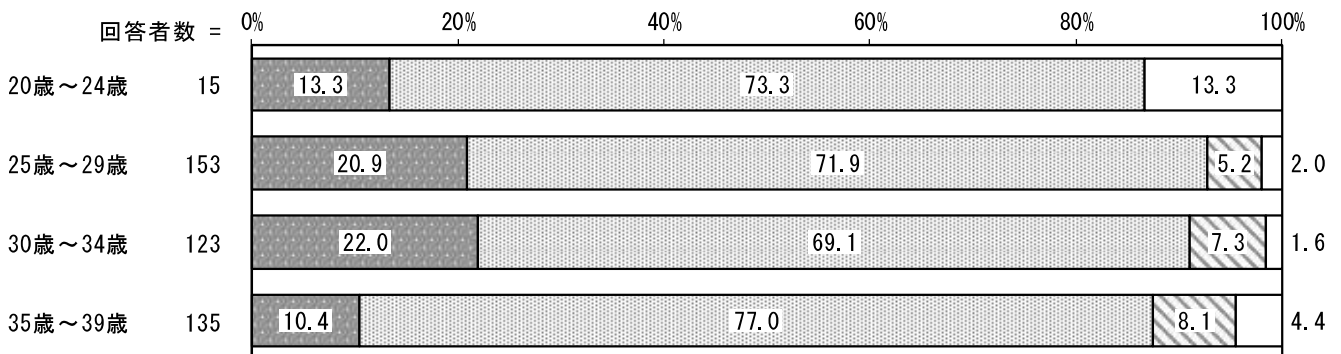
**【性別】**

性別にみると、大きな変化はみられません。



**【年齢別】**

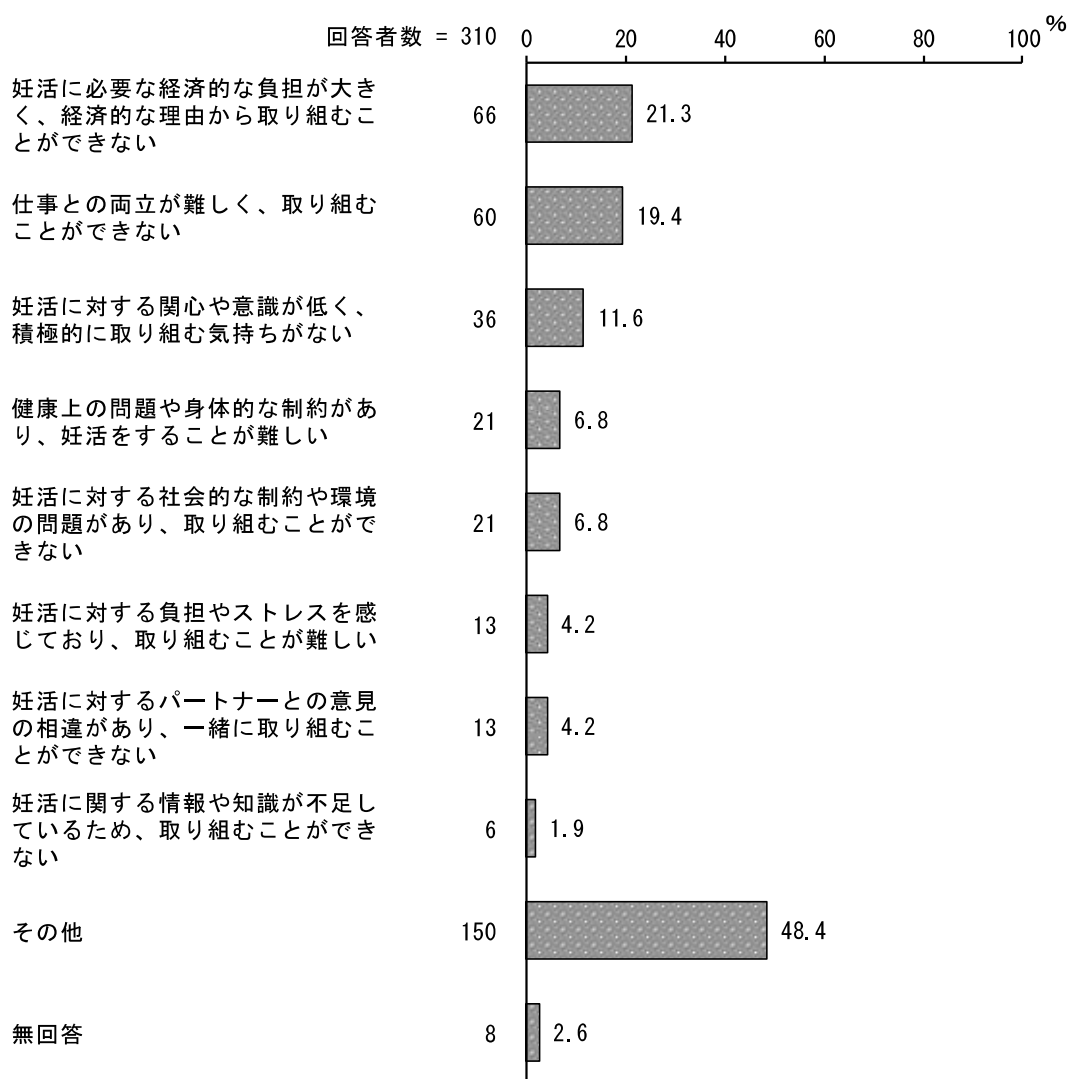
年齢別にみると、大きな変化はみられません。



問 25 で「いいえ、妊活を行ってない」に○をつけた方にうかがいます。

**問 26 妊活をしていない理由について教えてください。(複数選択可)**

「妊活に必要な経済的な負担が大きく、経済的な理由から取り組むことができない」の割合が 21.3%と最も高く、次いで「仕事との両立が難しく、取り組むことができない」の割合が 19.4%、「妊活に対する関心や意識が低く、積極的に取り組む気持ちがない」の割合が 11.6%となっています。



### 【性別】

性別にみると、「妊活に対するパートナーとの意見の相違があり、一緒に取り組むことができない」では全体と比較すると男性の割合がやや増加しています。

単位：％

区分	回答者数(件)	妊活に必要な経済的な負担が大きく、経済的な理由から取り組むことができない	仕事との両立が難しく、取り組むことができない	妊活に対する関心や意識が低く、積極的に取り組む気持ちがない	健康上の問題や身体的な制約があり、妊活をすることが難しい	健康上の問題や身体的な制約があり、妊活をすることが難しい	妊活に対する社会的な制約や環境の問題があり、取り組むことができない	妊活に対する負担やストレスを感じており、取り組むことが難しい	妊活に対するパートナーとの意見の相違があり、一緒に取り組むことができない	妊活に関する情報や知識が不足しているため、取り組むことができない	その他	無回答
全体	310	21.3	19.4	11.6	6.8	6.8	4.2	4.2	1.9	48.4	2.6	
男性	90	17.8	17.8	11.1	7.8	3.3	2.2	7.8	2.2	47.8	1.1	
女性	220	22.7	20.0	11.8	6.4	8.2	5.0	2.7	1.8	48.6	3.2	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
答えたくない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

### 【年齢別】

年齢別にみると、「妊活に必要な経済的な負担が大きく、経済的な理由から取り組むことができない」では全体と比較すると20歳～24歳の割合が大きく増加しています。

単位：％

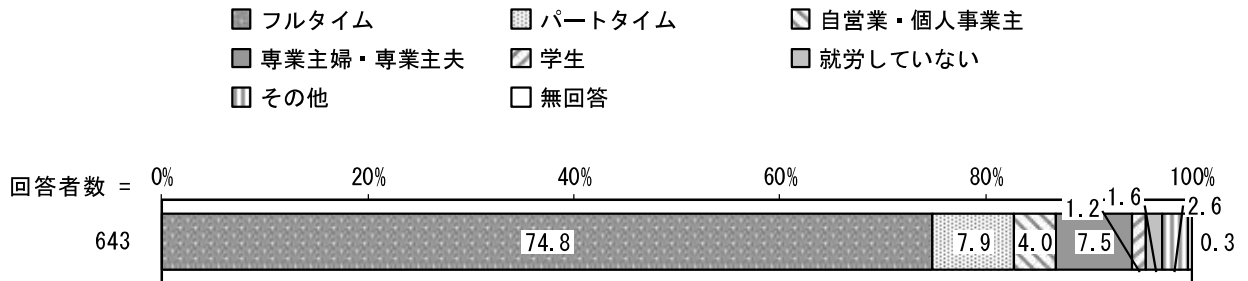
区分	回答者数(件)	妊活に必要な経済的な負担が大きく、経済的な理由から取り組むことができない	仕事との両立が難しく、取り組むことができない	妊活に対する関心や意識が低く、積極的に取り組む気持ちがない	健康上の問題や身体的な制約があり、妊活をすることが難しい	健康上の問題や身体的な制約があり、妊活をすることが難しい	妊活に対する社会的な制約や環境の問題があり、取り組むことができない	妊活に対する負担やストレスを感じており、取り組むことが難しい	妊活に対するパートナーとの意見の相違があり、一緒に取り組むことができない	妊活に関する情報や知識が不足しているため、取り組むことができない	その他	無回答
全体	310	21.3	19.4	11.6	6.8	6.8	4.2	4.2	1.9	48.4	2.6	
20歳～24歳	11	45.5	18.2	—	—	—	—	—	—	45.5	9.1	
25歳～29歳	110	25.5	19.1	10.9	5.5	10.9	2.7	3.6	4.5	49.1	0.9	
30歳～34歳	85	17.6	21.2	16.5	8.2	3.5	9.4	3.5	—	45.9	1.2	
35歳～39歳	104	17.3	18.3	9.6	7.7	5.8	1.9	5.8	1.0	50.0	4.8	

## 4 仕事・家計について

全ての方にうかがいます。

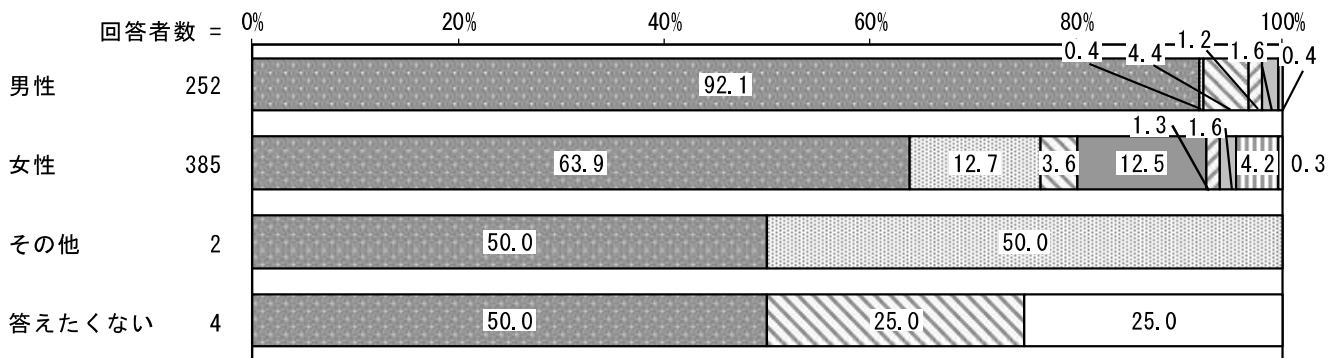
問 27 就業形態について教えてください。

「フルタイム」の割合が74.8%と最も高くなっています。



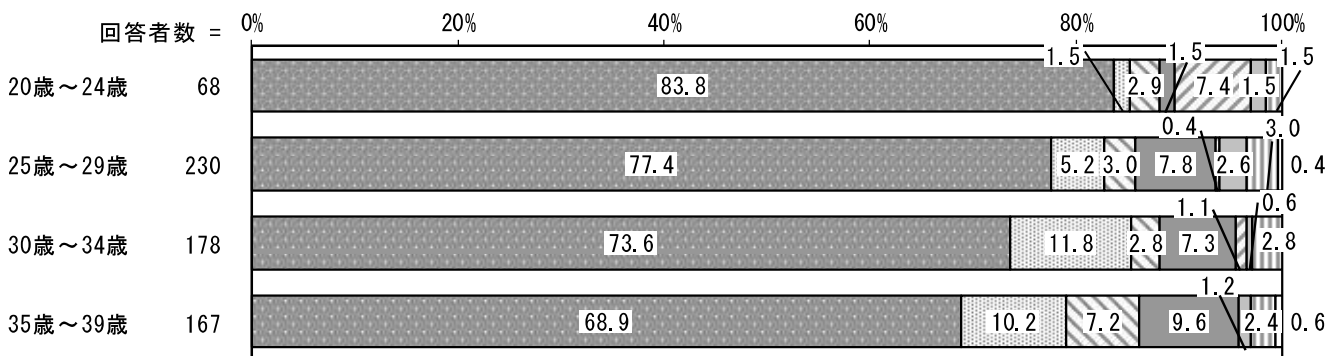
### 【性別】

性別にみると、男性では「フルタイム」の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

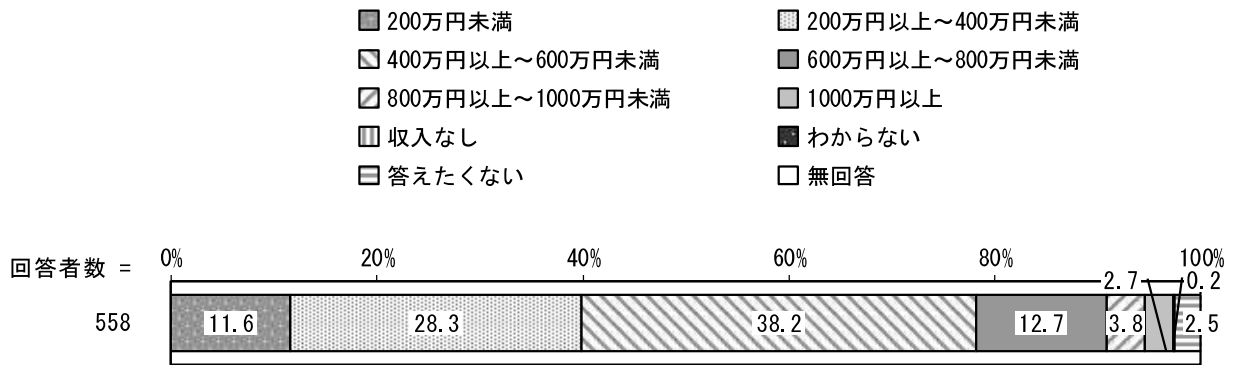
年齢別にみると、全ての年齢区分で、年齢が高くなるにつれて「フルタイム」の割合が低くなる傾向にあります。



問 27 で「フルタイム」「パートタイム」「自営業・個人事業主」に○をつけた方にうかがいます。

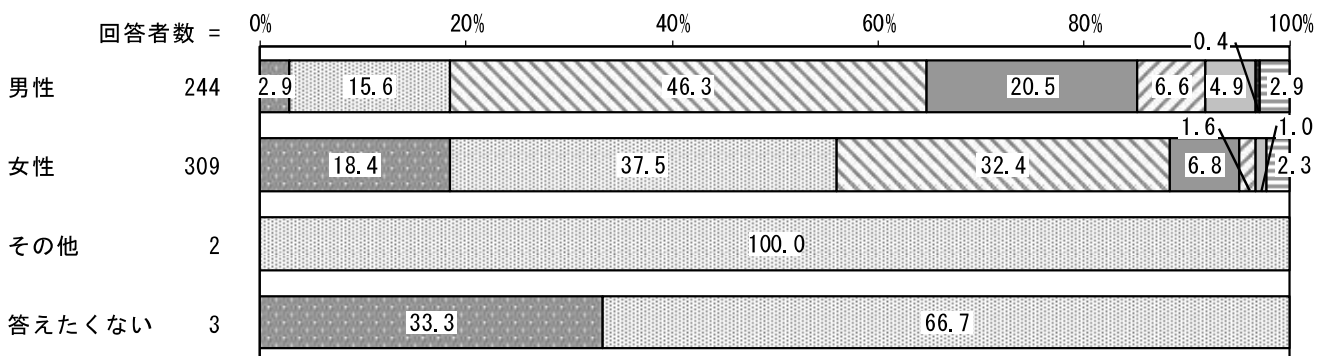
**問 28** ご回答いただいている方の個人年収について教えてください。

「400 万円以上～600 万円未満」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「200 万円以上～400 万円未満」の割合が 28.3%、「600 万円以上～800 万円未満」の割合が 12.7%となっています。



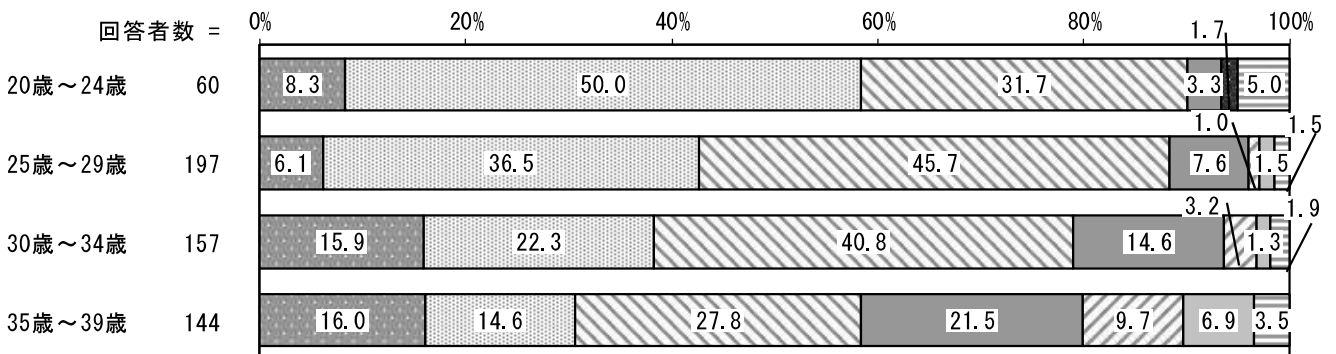
**【性別】**

性別にみると、男性では「400 万円以上～600 万円未満」の割合が高くなっています。また、女性では「200 万円以上～400 万円未満」の割合が高くなっています。



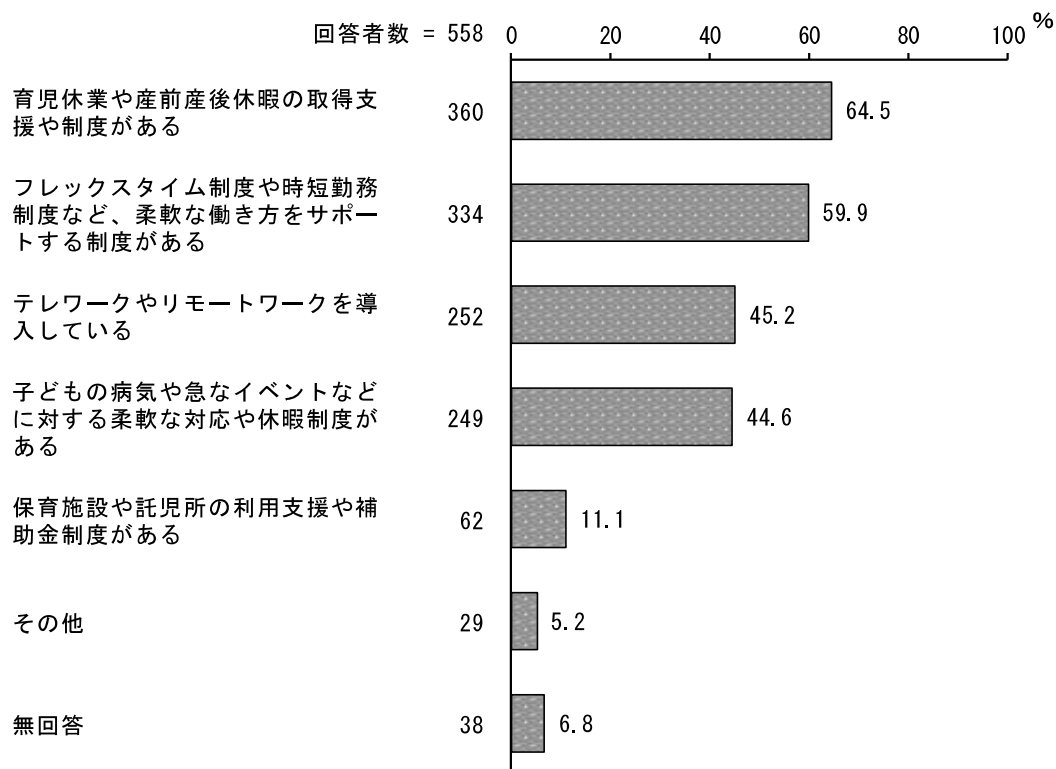
**【年齢別】**

年齢別にみると、20 歳～24 歳では「200 万円以上～400 万円未満」の割合が高くなっています。



問 29 勤め先での仕事と子育ての両立支援について教えてください。(複数選択可)

「育児休業や産前産後休暇の取得支援や制度がある」の割合が64.5%と最も高く、次いで「フレックスタイム制度や時短勤務制度など、柔軟な働き方をサポートする制度がある」の割合が59.9%、「テレワークやリモートワークを導入している」の割合が45.2%となっています。



### 【性別】

性別にみると、「フレックスタイム制度や時短勤務制度など、柔軟な働き方をサポートする制度がある」では全体と比較すると男性の割合が減少しています。

単位：％

区分	回答者数(件)	育児休業や産前産後休暇の取得支援や制度がある	フレックスタイム制度や時短勤務制度など、柔軟な働き方をサポートする制度がある	テレワークやリモートワークを導入している	子どもの病気や急なイベントなどに対する柔軟な対応や休暇制度がある	保育施設や託児所の利用支援や補助金制度がある	その他	無回答
全体	558	64.5	59.9	45.2	44.6	11.1	5.2	6.8
男性	244	59.8	53.7	51.2	42.6	12.3	5.7	7.4
女性	309	68.3	65.0	40.5	46.6	10.4	4.9	5.8
その他	2	50.0	50.0	50.0	—	—	—	50.0
答えたくない	3	66.7	33.3	33.3	33.3	—	—	33.3

### 【年齢別】

年齢別にみると、「子どもの病気や急なイベントなどに対する柔軟な対応や休暇制度がある」では全体と比較すると20歳～24歳の割合が大きく減少しています。

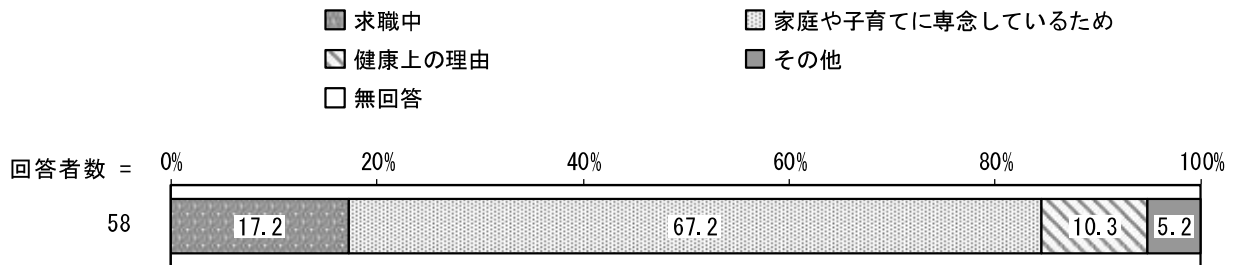
単位：％

区分	回答者数(件)	育児休業や産前産後休暇の取得支援や制度がある	フレックスタイム制度や時短勤務制度など、柔軟な働き方をサポートする制度がある	テレワークやリモートワークを導入している	子どもの病気や急なイベントなどに対する柔軟な対応や休暇制度がある	保育施設や託児所の利用支援や補助金制度がある	その他	無回答
全体	558	64.5	59.9	45.2	44.6	11.1	5.2	6.8
20歳～24歳	60	55.0	53.3	45.0	33.3	10.0	3.3	13.3
25歳～29歳	197	68.0	64.5	45.7	45.2	10.7	4.6	5.1
30歳～34歳	157	66.9	58.6	40.8	47.1	10.2	4.5	5.7
35歳～39歳	144	61.1	57.6	49.3	45.8	13.2	7.6	7.6

問 27 で「専業主婦・専業主夫」「就労していない」に○をつけた方にうかがいます。

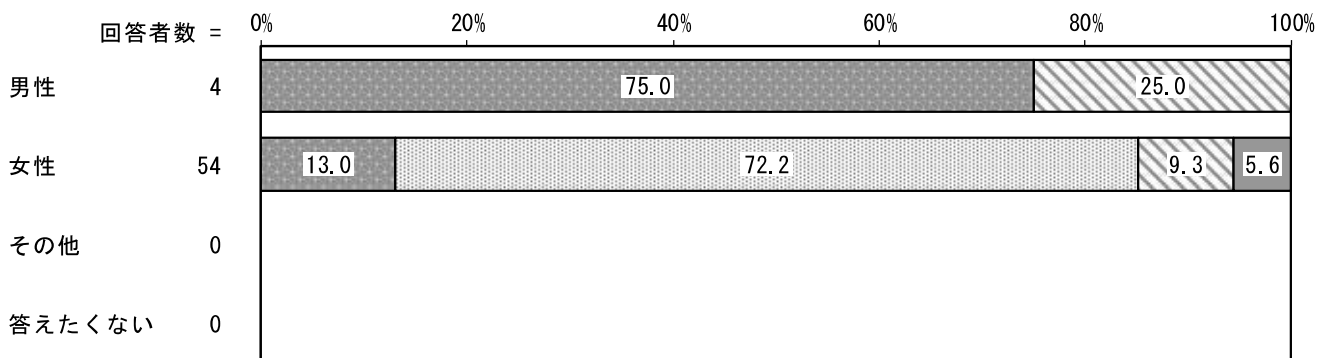
**問 30 就労していない理由について教えてください。**

「家庭や子育てに専念しているため」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「求職中」の割合が 17.2%、「健康上の理由」の割合が 10.3%となっています。



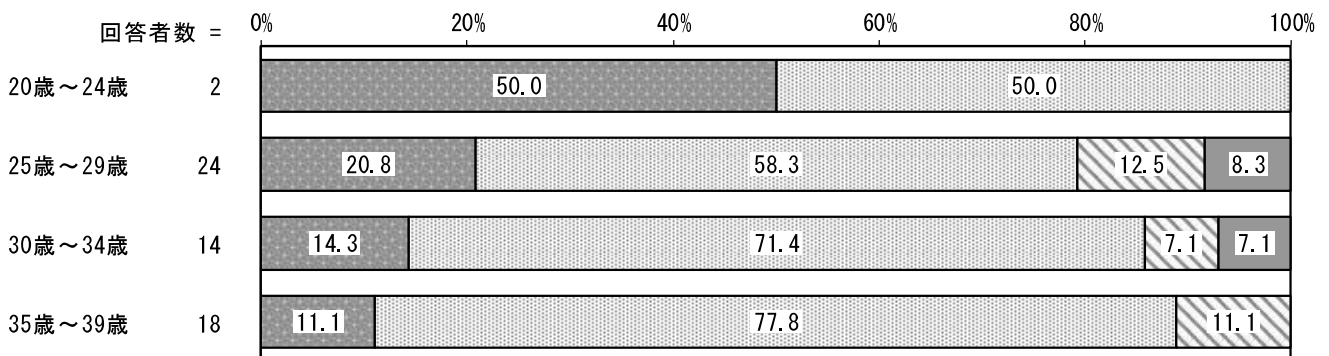
**【性別】**

性別にみると、女性では「家庭や子育てに専念しているため」の割合が高くなっています。



**【年齢別】**

年齢別にみると、35歳～39歳では「家庭や子育てに専念しているため」の割合が高くなっています。

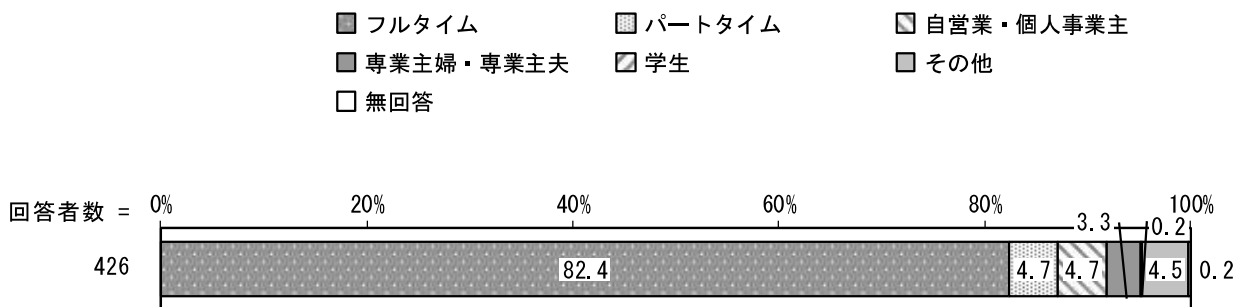




現在、結婚されてる方にかがいます。

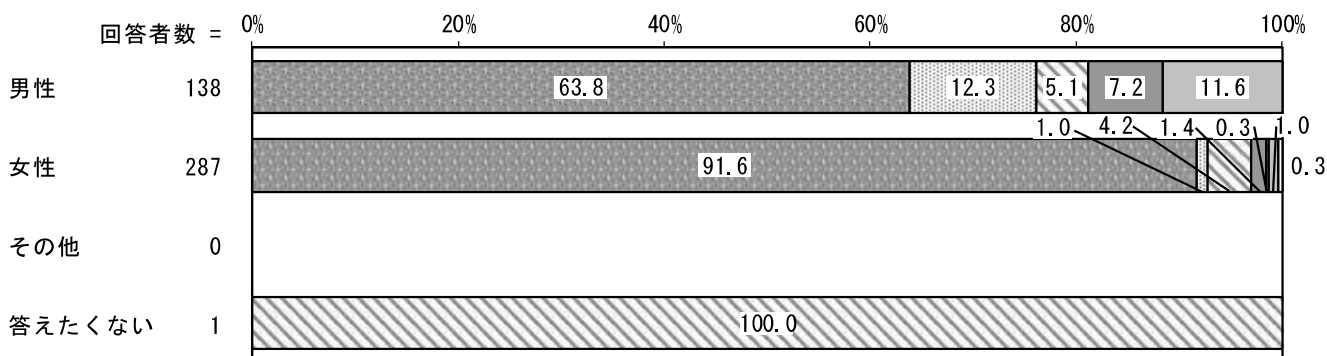
**問 31 配偶者の就業形態について教えてください。**

「フルタイム」の割合が82.4%と最も高くなっています。



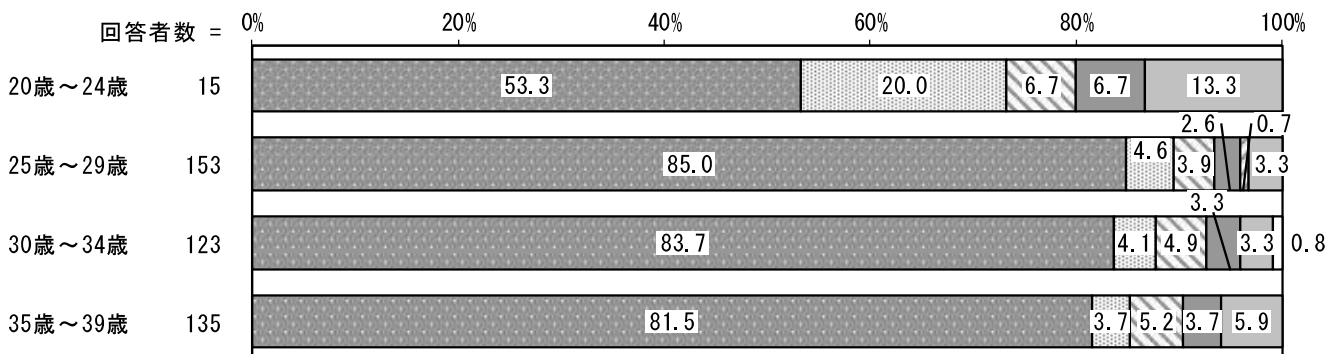
**【性別】**

性別にみると、女性では「フルタイム」の割合が高くなっています。



**【年齢別】**

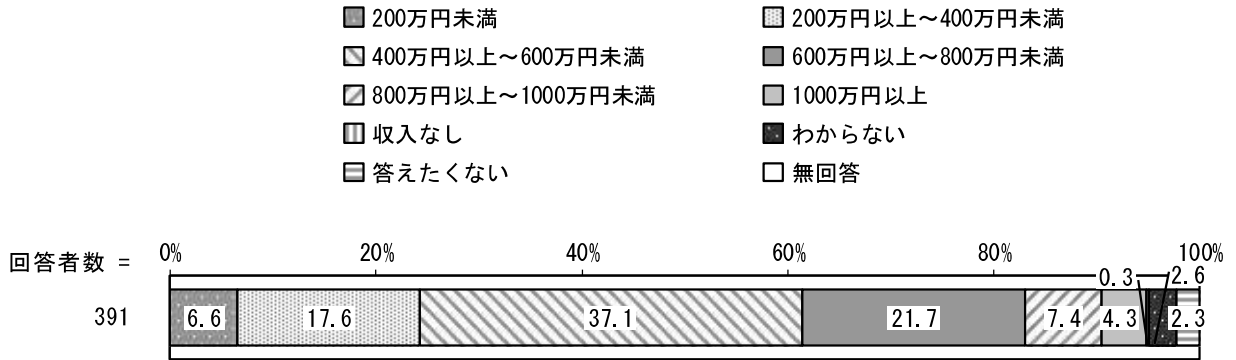
年齢別にみると、25歳以上では「フルタイム」の割合が高くなっています。



問 31 で「フルタイム」「パートタイム」「自営業・個人事業主」に○をつけた方にうかがいます。

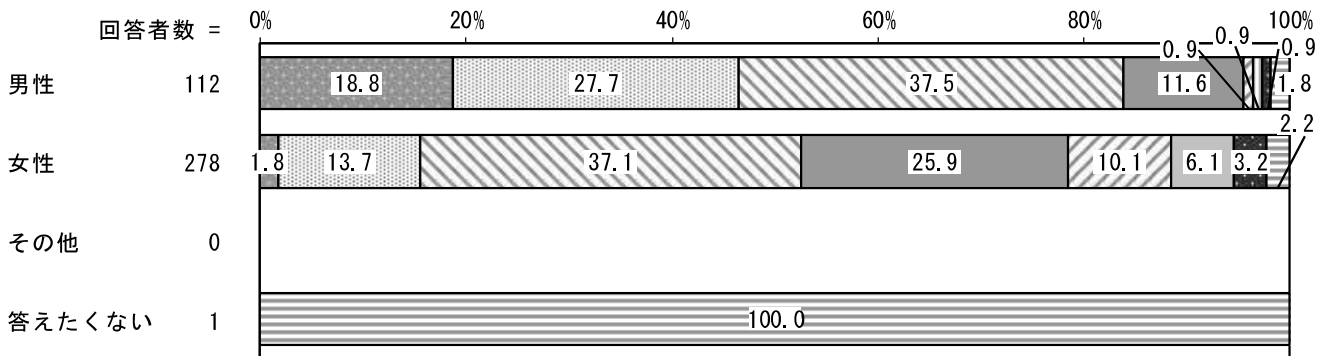
**問 32 配偶者の個人年収について教えてください。**

「400 万円以上～600 万円未満」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「600 万円以上～800 万円未満」の割合が 21.7%、「200 万円以上～400 万円未満」の割合が 17.6%となっています。



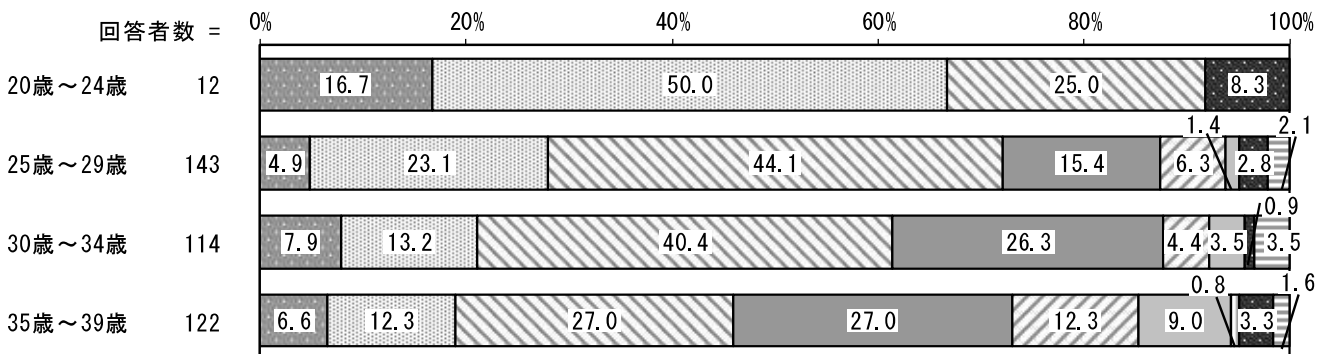
**【性別】**

性別にみると、男性では「200 万円以上～400 万円未満」、女性で「600 万円以上～800 万円未満」の割合が高くなっています。



**【年齢別】**

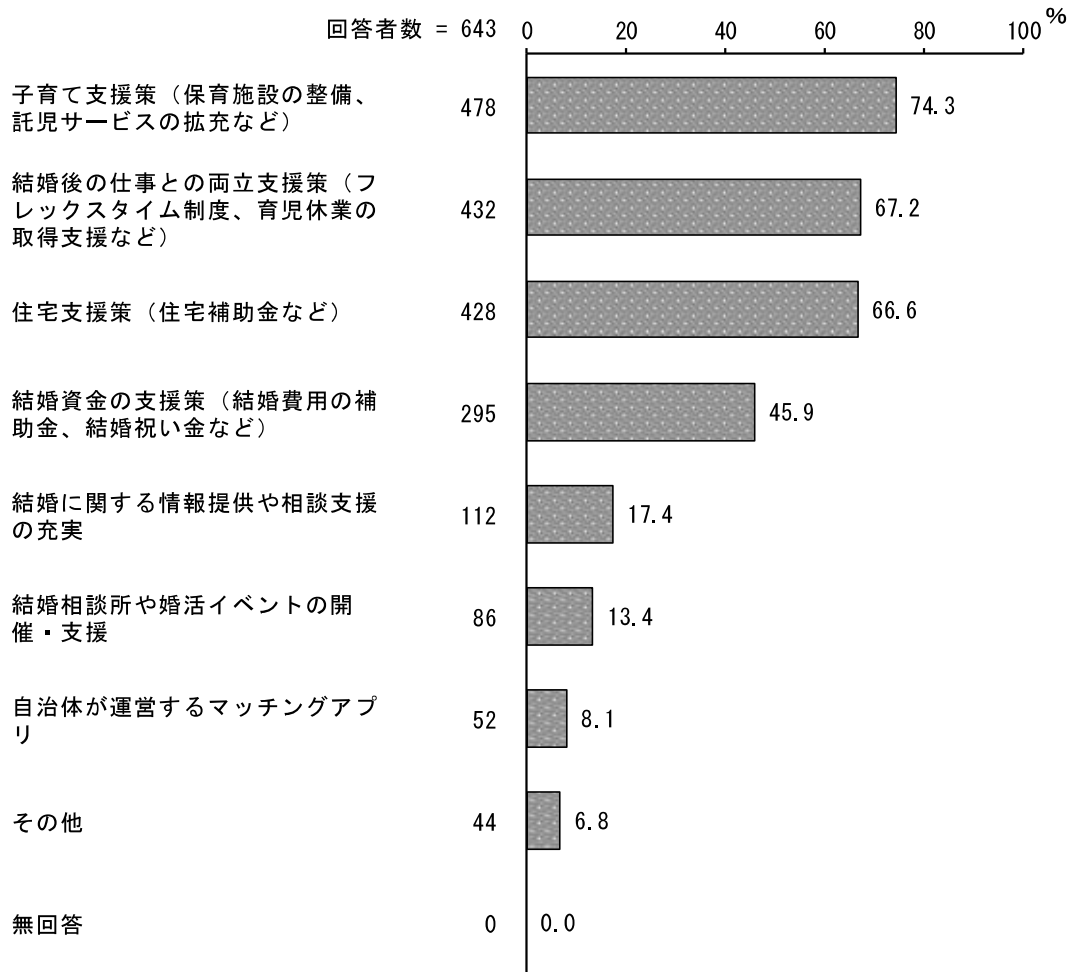
年齢別にみると、20 歳～24 歳では「200 万円以上～400 万円未満」の割合が高くなっています。



全ての方にうかがいます。

**問 33 希望する方の結婚を支援するために必要だと考える自治体の取組について、あなたの考えを教えてください。(複数選択可)**

「子育て支援策（保育施設の整備、託児サービスの拡充など）」の割合が 74.3%と最も高く、次いで「結婚後の仕事との両立支援策（フレックスタイム制度、育児休業の取得支援など）」の割合が 67.2%、「住宅支援策（住宅補助金など）」の割合が 66.6%となっています。



### 【性別】

性別にみると、「結婚後の仕事との両立支援策（フレックスタイム制度、育児休業の取得支援など）」では全体と比較すると男性の割合が大きく減少しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育て支援策（保育施設の整備、託児サービスの拡充など）	結婚後の仕事との両立支援策（フレックスタイム制度、育児休業の取得支援など）	住宅支援策（住宅補助金など）	結婚資金の支援策（結婚費用の補助金、結婚祝い金など）	結婚に関する情報提供や相談支援の充実	結婚相談所や婚活イベントの開催・支援	自治体が運営するマッチングアプリ	その他	無回答
全体	643	74.3	67.2	66.6	45.9	17.4	13.4	8.1	6.8	0.0
男性	252	68.3	57.1	67.1	48.0	18.7	16.7	11.1	6.7	—
女性	385	78.2	73.2	66.0	44.4	16.4	11.2	6.2	7.0	—
その他	2	100.0	100.0	50.0	50.0	—	—	—	—	—
答えたくない	4	75.0	100.0	100.0	50.0	50.0	25.0	—	—	—

### 【年齢別】

年齢別にみると、「結婚資金の支援策（結婚費用の補助金、結婚祝い金など）」では全体と比較すると20歳～24歳の割合が大きく増加しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育て支援策（保育施設の整備、託児サービスの拡充など）	結婚後の仕事との両立支援策（フレックスタイム制度、育児休業の取得支援など）	住宅支援策（住宅補助金など）	結婚資金の支援策（結婚費用の補助金、結婚祝い金など）	結婚に関する情報提供や相談支援の充実	結婚相談所や婚活イベントの開催・支援	自治体が運営するマッチングアプリ	その他	無回答
全体	643	74.3	67.2	66.6	45.9	17.4	13.4	8.1	6.8	0.0
20歳～24歳	68	82.4	69.1	82.4	69.1	19.1	10.3	5.9	2.9	—
25歳～29歳	230	73.0	65.7	72.6	53.9	17.8	12.6	8.7	5.2	—
30歳～34歳	178	73.6	69.1	62.9	39.9	16.9	13.5	6.2	7.9	—
35歳～39歳	167	73.7	66.5	55.7	31.7	16.8	15.6	10.2	9.6	—

【性・年収別】

性・年収別にみると、「結婚後の仕事との両立支援策（フレックスタイム制度、育児休業の取得支援など）」では全体と比較すると男性 200 万円未満の割合が大きく減少しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育て支援策（保育施設の整備、託児サービスの拡充など）	結婚後の仕事との両立支援策（フレックスタイム制度、育児休業の取得支援など）	住宅支援策（住宅補助金など）	結婚資金の支援策（結婚費用の補助金、結婚祝い金など）	結婚に関する情報提供や相談支援の充実	結婚相談所や婚活イベントの開催・支援	自治体が運営するマッチングアプリ	その他	無回答
全体	643	74.3	67.2	66.6	45.9	17.4	13.4	8.1	6.8	0.0
男性 200万円未満	7	85.7	14.3	57.1	57.1	28.6	14.3	14.3	14.3	—
男性 200万円以上～400万円未満	38	68.4	60.5	76.3	71.1	18.4	13.2	10.5	7.9	—
男性 400万円以上～600万円未満	113	64.6	54.9	69.9	50.4	16.8	16.8	10.6	4.4	—
男性 600万円以上～800万円未満	50	74.0	72.0	64.0	36.0	20.0	16.0	6.0	10.0	—
男性 800万円以上～1000万円未満	16	62.5	43.8	56.3	25.0	18.8	31.3	12.5	6.3	—
男性 1000万円以上	12	91.7	66.7	41.7	41.7	8.3	—	16.7	—	—
男性 収入なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
男性 わからない	1	—	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	—	—
男性 答えたくない	7	42.9	42.9	42.9	14.3	14.3	—	14.3	28.6	—
女性 200万円未満	57	80.7	66.7	70.2	35.1	17.5	10.5	7.0	5.3	—
女性 200万円以上～400万円未満	116	77.6	72.4	72.4	49.1	15.5	10.3	4.3	6.0	—
女性 400万円以上～600万円未満	100	78.0	79.0	64.0	50.0	19.0	13.0	6.0	6.0	—
女性 600万円以上～800万円未満	21	76.2	71.4	42.9	23.8	14.3	9.5	—	19.0	—
女性 800万円以上～1000万円未満	5	80.0	60.0	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	—
女性 1000万円以上	3	100.0	66.7	100.0	—	—	—	—	—	—
女性 収入なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 答えたくない	7	71.4	71.4	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	—

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、「結婚資金の支援策（結婚費用の補助金、結婚祝い金など）」では全体と比較すると男性20歳～24歳の割合が大きく増加しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育て支援策（保育施設の整備、託児サービスの拡充など）	結婚後の仕事との両立支援策（フレックスタイム制度、育児休業の取得支援など）	住宅支援策（住宅補助金など）	結婚資金の支援策（結婚費用の補助金、結婚祝い金など）	結婚に関する情報提供や相談支援の充実	結婚相談所や婚活イベントの開催・支援	自治体が運営するマッチングアプリ	その他	無回答
全体	643	74.3	67.2	66.6	45.9	17.4	13.4	8.1	6.8	0.0
男性 20歳～24歳	40	80.0	65.0	90.0	77.5	17.5	12.5	2.5	—	—
男性 25歳～29歳	86	65.1	58.1	72.1	45.3	15.1	12.8	12.8	8.1	—
男性 30歳～34歳	69	66.7	55.1	58.0	47.8	21.7	17.4	8.7	10.1	—
男性 35歳～39歳	57	66.7	52.6	54.4	31.6	21.1	24.6	17.5	5.3	—
女性 20歳～24歳	27	85.2	74.1	74.1	59.3	22.2	7.4	11.1	7.4	—
女性 25歳～29歳	143	77.6	69.9	72.7	58.7	18.9	11.9	6.3	3.5	—
女性 30歳～34歳	106	78.3	77.4	65.1	34.0	13.2	11.3	4.7	6.6	—
女性 35歳～39歳	109	77.1	73.4	56.0	32.1	14.7	11.0	6.4	11.9	—

【性・未婚既婚別】

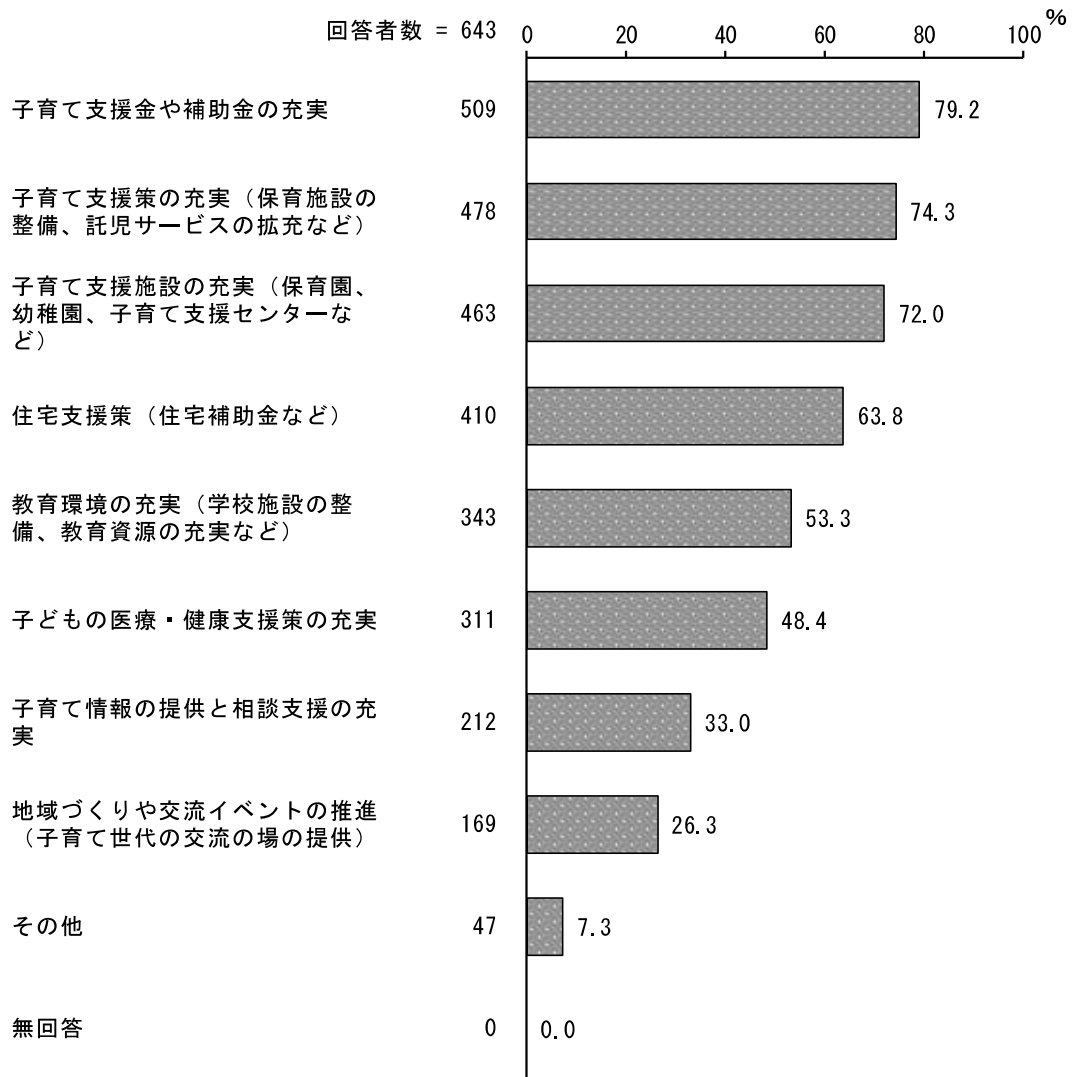
性・未婚既婚別にみると、「結婚後の仕事との両立支援策（フレックスタイム制度、育児休業の取得支援など）」では全体と比較すると男性未婚の割合が大きく減少しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育て支援策（保育施設の整備、託児サービスの拡充など）	結婚後の仕事との両立支援策（フレックスタイム制度、育児休業の取得支援など）	住宅支援策（住宅補助金など）	結婚資金の支援策（結婚費用の補助金、結婚祝い金など）	結婚に関する情報提供や相談支援の充実	結婚相談所や婚活イベントの開催・支援	自治体が運営するマッチングアプリ	その他	無回答
全体	643	74.3	67.2	66.6	45.9	17.4	13.4	8.1	6.8	0.0
男性 未婚	112	68.8	49.1	74.1	54.5	27.7	23.2	16.1	6.3	—
男性 既婚	138	68.1	63.0	61.6	42.0	10.1	10.1	6.5	7.2	—
女性 未婚	94	74.5	73.4	64.9	56.4	28.7	18.1	9.6	6.4	—
女性 既婚	287	79.1	73.5	66.9	40.4	12.2	8.7	4.9	7.3	—

問 34 少子化対策として、自治体に取り組むべきと考える具体的な事業や取組について教えてください。(複数選択可)

「子育て支援金や補助金の充実」の割合が 79.2%と最も高く、次いで「子育て支援策の充実(保育施設の整備、託児サービスの拡充など)」の割合が 74.3%、「子育て支援施設の充実(保育園、幼稚園、子育て支援センターなど)」の割合が 72.0%となっています。



【性別】

性別にみると、「子育て支援施設の充実（保育園、幼稚園、子育て支援センターなど）」では全体と比較すると男性の割合が減少しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育て支援金や補助金の充実	子育て支援策の充実（保育施設の整備、託児サービスの拡充など）	子育て支援施設の充実（保育園、幼稚園、子育て支援センターなど）	住宅支援策（住宅補助金など）	教育環境の充実（学校施設の整備、教育資源の充実など）	子どもの医療・健康支援策の充実	子育て情報の提供と相談支援の充実	地域づくりや交流イベントの推進（子育て世代の交流の場の提供）	その他	無回答
全体	643	79.2	74.3	72.0	63.8	53.3	48.4	33.0	26.3	7.3	0.0
男性	252	75.8	70.2	64.7	64.7	50.0	43.7	28.2	23.4	5.6	—
女性	385	81.6	76.6	76.6	63.1	55.6	51.4	36.1	28.3	8.6	—
その他	2	—	100.0	100.0	50.0	—	—	—	—	—	—
答えたくない	4	100.0	100.0	75.0	75.0	75.0	75.0	50.0	25.0	—	—

【年齢別】

年齢別にみると、「住宅支援策（住宅補助金など）」では全体と比較すると20歳～24歳の割合が大きく増加しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育て支援金や補助金の充実	子育て支援策の充実（保育施設の整備、託児サービスの拡充など）	子育て支援施設の充実（保育園、幼稚園、子育て支援センターなど）	住宅支援策（住宅補助金など）	教育環境の充実（学校施設の整備、教育資源の充実など）	子どもの医療・健康支援策の充実	子育て情報の提供と相談支援の充実	地域づくりや交流イベントの推進（子育て世代の交流の場の提供）	その他	無回答
全体	643	79.2	74.3	72.0	63.8	53.3	48.4	33.0	26.3	7.3	0.0
20歳～24歳	68	88.2	79.4	70.6	79.4	51.5	60.3	42.6	27.9	1.5	—
25歳～29歳	230	82.2	71.3	71.7	68.7	48.3	49.1	31.7	25.2	5.7	—
30歳～34歳	178	74.7	78.7	77.5	59.0	55.1	43.3	29.8	25.3	9.6	—
35歳～39歳	167	76.0	71.9	67.1	55.7	59.3	47.9	34.1	28.1	9.6	—



【性・年収別】

性・年収別にみると、「子どもの医療・健康支援策の充実」では全体と比較すると男性 1000 万円以上の割合が大きく減少しています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子育て支援金や補助金の充実	子育て支援策の充実(保育施設の整備、託児サービスの拡充など)	子育て支援施設の充実(保育園、幼稚園、子育て支援センターなど)	住宅支援策(住宅補助金など)	教育環境の充実(学校施設の整備、教育資源の充実など)	子どもの医療・健康支援策の充実	子育て情報の提供と相談支援の充実	子育ての推進(子育て世代の交流の場の提供)	その他	無回答
全体	643	79.2	74.3	72.0	63.8	53.3	48.4	33.0	26.3	7.3	0.0
男性 200万円未満	7	100.0	57.1	57.1	71.4	—	42.9	28.6	—	—	—
男性 200万円以上～400万円未満	38	76.3	68.4	65.8	73.7	47.4	47.4	36.8	23.7	2.6	—
男性 400万円以上～600万円未満	113	74.3	69.0	65.5	67.3	48.7	44.2	24.8	21.2	5.3	—
男性 600万円以上～800万円未満	50	76.0	78.0	64.0	54.0	62.0	44.0	20.0	24.0	4.0	—
男性 800万円以上～1000万円未満	16	75.0	81.3	75.0	56.3	68.8	43.8	56.3	31.3	6.3	—
男性 1000万円以上	12	75.0	66.7	66.7	41.7	50.0	16.7	25.0	33.3	25.0	—
男性 収入なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
男性 わからない	1	100.0	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—
男性 答えたくない	7	57.1	42.9	57.1	71.4	42.9	42.9	28.6	42.9	14.3	—
女性 200万円未満	57	86.0	73.7	70.2	70.2	56.1	50.9	29.8	29.8	12.3	—
女性 200万円以上～400万円未満	116	80.2	71.6	73.3	61.2	50.9	52.6	36.2	23.3	6.0	—
女性 400万円以上～600万円未満	100	82.0	83.0	79.0	65.0	61.0	54.0	33.0	33.0	4.0	—
女性 600万円以上～800万円未満	21	61.9	81.0	81.0	38.1	57.1	57.1	47.6	33.3	9.5	—
女性 800万円以上～1000万円未満	5	40.0	100.0	100.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	—
女性 1000万円以上	3	33.3	100.0	100.0	33.3	33.3	—	—	—	—	—
女性 収入なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 答えたくない	7	71.4	71.4	57.1	57.1	71.4	42.9	42.9	14.3	14.3	—

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、「住宅支援策（住宅補助金など）」では全体と比較すると男性 20 歳～24 歳の割合が大きく増加しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育て支援金や補助金の充実	子育て支援策の充実（保育施設の整備、託児サービスの拡充など）	子育て支援策の充実（保育園、幼稚園、子育て支援センターなど）	住宅支援策（住宅補助金など）	教育環境の充実（学校施設の整備、教育資源の充実など）	子どもの医療・健康支援策の充実	子育て情報の提供と相談支援の充実	地域づくりや交流イベントの推進（子育て世代の交流の場の提供）	その他	無回答
全体	643	79.2	74.3	72.0	63.8	53.3	48.4	33.0	26.3	7.3	0.0
男性 20 歳～24 歳	40	90.0	75.0	65.0	87.5	42.5	60.0	37.5	20.0	—	—
男性 25 歳～29 歳	86	73.3	68.6	65.1	70.9	45.3	38.4	23.3	25.6	5.8	—
男性 30 歳～34 歳	69	69.6	75.4	72.5	52.2	53.6	40.6	29.0	23.2	8.7	—
男性 35 歳～39 歳	57	77.2	63.2	54.4	54.4	57.9	43.9	28.1	22.8	5.3	—
女性 20 歳～24 歳	27	88.9	85.2	77.8	70.4	66.7	63.0	51.9	40.7	3.7	—
女性 25 歳～29 歳	143	87.4	72.7	75.5	67.1	50.3	55.2	36.4	25.2	5.6	—
女性 30 歳～34 歳	106	78.3	80.2	81.1	63.2	55.7	44.3	30.2	26.4	10.4	—
女性 35 歳～39 歳	109	75.2	76.1	73.4	56.0	59.6	50.5	37.6	31.2	11.9	—

【性・未婚既婚別】

性・未婚既婚別にみると、「子育て情報の提供と相談支援の充実」では全体と比較すると女性未婚の割合が大きく増加しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育て支援金や補助金の充実	子育て支援策の充実（保育施設の整備、託児サービスの拡充など）	子育て支援策の充実（保育園、幼稚園、子育て支援センターなど）	住宅支援策（住宅補助金など）	教育環境の充実（学校施設の整備、教育資源の充実など）	子どもの医療・健康支援策の充実	子育て情報の提供と相談支援の充実	地域づくりや交流イベントの推進（子育て世代の交流の場の提供）	その他	無回答
全体	643	79.2	74.3	72.0	63.8	53.3	48.4	33.0	26.3	7.3	0.0
男性 未婚	112	73.2	68.8	67.0	71.4	47.3	49.1	33.0	24.1	2.7	—
男性 既婚	138	78.3	71.0	63.0	59.4	52.2	39.1	23.2	22.5	8.0	—
女性 未婚	94	76.6	74.5	76.6	61.7	53.2	61.7	47.9	34.0	5.3	—
女性 既婚	287	83.6	77.0	77.0	64.1	56.1	48.1	32.4	26.1	9.8	—

### Ⅲ 自由回答

#### 1 自由回答のカテゴリ別件数

分類回答	件数
1. 結婚について	15
2. 出産・育児について	47
3. 子どもへの支援について	57
4. 仕事・収入について	65
5. 区への要望について	100
6. 国への要望について	35

#### 2 カテゴリ別の主な意見

文意を損なわない範囲で要約や表現の変更を行っている場合があります。

##### ①結婚について

- ・ 日本においては婚姻率が低いことが少子化に繋がっているように思います。子どもをほしくない人の増加よりも、結婚したくてもできない人達が問題のように思います。周囲を見ていても、皆結婚したいと話している。逆に、積極的に結婚したくない人や子どもを望まない人は少ないと思う。かつては企業が出会いの場となることもあったと思う。今はそんなことを望んでいる若い人などがいないので、それに代わるインフラが必要なのではないでしょうか。
- ・ 現代の社会は、この人と結婚したいというポジティブな感情よりも、合理的でネガティブな点を優先してしまうのかなと思います。
- ・ 結婚については、まず結婚式などで多額の費用がかかるというイメージを払拭することや、結婚した方が得することを整備し、周知する方が良いと思う。また、出会いから交際までについては、SNS や各種報道などで「こんな男性はNG」「夫のこんなところが嫌」などの記事が目立つが、なぜ男女逆はほとんど見かけないのでしょうか。男性側が卑屈になってしまい、結果として女性に奥手な男性が増えているように思います。
- ・ 少子化の原因として非婚化がとても大きいと考えています。まず、恋愛をするハードルがあり、特に女性が男性に求めるものが多いことにあると思います。また、男性は恋愛におけるプレッシャーを感じやすいのではないのでしょうか。例えば、恋愛や人の弱さを認め、支え合うことの重要性を考え伝える教育を行う必要があると思います。
- ・ 結婚祝い金等の支援があれば、結婚を前向きに検討する方が増えると思います。

##### ②出産・育児について

- ・ 実際に出産してみて、育てにくい世の中だと感じる人が多いです。働き方がより柔軟になり、保育施設等の充実がはかられないと、少子化は加速すると思います。
- ・ 働きながら子育てや家事をすると、本当に日々忙しいです。ワーキングマザーへの支援が不十分なように感じます。子育て罰という言葉が流行る理由が理解できます。
- ・ 子どもを迎えるための制度が必要です。例えば、妊娠中にかかる費用や出産時にかかる費用はまだまだ負担が大きいので、助成金や制度を整えていただきたい。また、現在は不妊症で悩む方も多く、治療費も高額かつ長期間になる場合もあるため、子どもができた後のことも大切ですが、子どもを迎えるための制度を整えていただくと、より少子

化問題を根本的に変えることが出来るのではないかと考えます。

- ・ 悪阻休暇(つわり休暇)が導入されれば、妊娠中のつらい症状によって働けない期間をしっかりと休むことができ、妊娠や出産に対する負担を軽減できると感じました。私は葛飾区の産後ケアを利用させていただきました。初めての育児で不安なことが多く、また産後の体調も不調だったため、産後ケアを利用することができて本当に助かりました。産後ケアでは、専門のスタッフの方から赤ちゃんのお世話や授乳のサポート、母体のケアなどを受けることができました。赤ちゃんの成長や育て方のアドバイスもいただけたので、安心して育児に取り組むことができました。また、産後の体調不良も専門のスタッフの方に相談でき、適切な対応やアドバイスをいただけたことで、早く回復することができました。産後ケアの存在は、新しい命を迎える家族にとって本当に心強いものであり、少子化対策の一環としても重要な役割を果たしていると感じました。今後も産後ケアの充実や普及が進んでいくことを期待しています。
- ・ 核家族が多い中、夫婦で協力をしていかないといけない。ただ、やはり母親の負担が大きいため、母親がリフレッシュできるような制度がほしいです。例えば、仕事以外でも子どもを預けられる場所が増えると良いと感じることが多いです。現在、保育園に子どもを預けていますが、土曜日は仕事以外に預けられないし、日曜はやっていないです。仕事との両立が困難だと感じるものがすごく多いです。

### ③子どもへの支援について

- ・ 葛飾区の子育て支援はとても充実していると感じており、葛飾区で子育てができることは大変嬉しく思います。給付金等はもちろんありがたいが、子育てをしながら両親共に働くための制度や環境整備を望みます。例えば、希望すれば年度途中でも保育園に入ることができる制度です。また、保育士や幼稚園教諭の給与アップや働きやすさの向上、児童虐待や不適切保育が行われないような監視体制の強化も必要だと思います。
- ・ 未婚の方、子どもを望まない方が増えている原因は、時間と経済的な余裕がないことだと思います。フルタイムでの共働き世帯が多いため、勤務先の子育てへの配慮(時短勤務や賃金の保証)が絶対的に必要で、特に子育て中は、子どもの病気が突発に発生することもあり、家族のサポートが得られない場合は、自治体の病児保育などの充実がより必要だと思います。また、健診や予防接種は、土日に行っていない小児科クリニックも多く、予約が取りにくいいため、病院施設の充実も必要不可欠だと考えます。勤務先、自治体、家庭、病院施設など、総合的にみんなで助け合いながら、子育てしやすい環境を作り上げていく取組が更に必要不可欠だと考えます。
- ・ 葛飾区は保育施設などについては大きく議論や取組を行っており、それは評価できるが、小学校の学童の定員が足りていません。学童に入れず子どもたちだけで過ごしていることに大きな不安を抱いています。なお、我が子の学校は長期休暇にわくチャレも実施されていないため、せめて長期休みのわくチャレは区内全ての小学校で実施していただきたいと切に願っています。なぜ学校によって実施可否が異なるのでしょうか。全ての保護者がリモートワークができるわけではないし、祖父母が近くにいるわけでもありません。特に長期休みは、親がいないところで犯罪に巻き込まれないか心配です。
- ・ 子育てには多大な経済的負担が伴い、経済的支援の強化が必要です。児童手当や保育料の補助を拡充し、子育て家庭の負担を軽減することが重要です。また、教育費の負担を軽減するため、無償化の範囲を広げることも検討すべきです。
- ・ 子どもの教育費の補助を拡充してほしいです。

### ④仕事・収入について

- ・ 出産に立ち会えるようにも勤務調整がされるよう義務付けてほしい。出産に立ち会えたか立ち会えていないかで、父親としての自覚が大きく変わってくると思います。父親としてしっかりと育児に参加出来れば、産む母親としては第2子以降も考えられると思

ます。また、東京に住んでいると金銭的に2人目以降にはなかなか踏み込めません。娯楽ゼロで、労働と育児の生活に専念すればなんとか成り立つのかもしれないが、そのような環境で育つ子どもがどのような人間になっていくのか不安になります。質の良い子育てには、余裕のある生活が必要だと思います。

- ・ 私は子どもを二人もうけましたが、正直なところもう一人ほしかったなと思っています。しかし、受験にかかる費用や大学の学費、住居費を理由に断念しました。学費や住居費の負担が重いのです。ただ、そこへの支援というよりは、給与がもう少し上がってくればいいと思っています。より給与水準の高い仕事も検討したが、今の環境（労働時間が短く、育児と仕事が両立できる環境）より悪化する懸念があり、できませんでした。募集要項では会社の全てが把握できません。保育園に入れず、子どもを産んでも働き続けられない環境だったら、そもそも子どもを産んでいないので、就業支援は必要だと思います。ちょうど自分が就職して数年経ってから子育て環境が良くなったので結婚して子をもうけましたが、もう数年遅かったら結婚していなかったかもしれません。支援はいつ打ち切られるかわからないので、就業支援の方がありがたいです。
- ・ 産休や育休手当が給料全額支給されれば、経済的な不安を抱えることなく、子どもを2人以上産み育てることができると思います。
- ・ 優秀な友人たち（女性）が「子どもを産むと社内で昇進しにくくなる」「専門医の資格を取るために働いてきたが大学病院勤務でのストレスにより妊娠できず、妊活のために休みが取れないので仕事を辞めざるを得なかった」と話しているのを聞いたことがあります。私は、昨年3月まで地方公務員だったため職場に産休育休が浸透していると感じていたが、東京の大手企業や大学病院などは育児への理解が未だに全く無いということを知り、非常に虚しくなりました。一方で、職場で産休育休をとる人の仕事を自分が引き継ぐことになり、業務量が爆増して体調を崩したことがあるので、巻き込まれる側のつらさも理解できます。非常に難しい問題だと思います。区がどうこうできるレベルではない話ばかりで恐縮しています。

## ⑤区への要望について

- ・ 病児病後児保育の定員増加、学童保育の小1・小4の壁解消、幼児・児童が安全に遊べる環境整備、歩道整備などをお願いします。水元公園は子どもと遊ぶのに適した場所ですが、オムツ交換が可能な場所がなく、トイレはとても汚い状態です。整備や維持管理をしていただきたい。
- ・ マッチングアプリに税金を使うと結婚する人が増えるという安直な考えはやめてほしいです。結婚しない、子どもを産まない原因は、賃金が低くお金がないためであって、出会いの場がないからではないということを理解してほしいです。
- ・ 医療費が無料なのがとてもありがたく感じています。葛飾区は児童館や公園も多く、児童館で子育てに関することを相談できるのもありがたいです。周りの人々が忙しくされているイメージがあり、車や自転車の運転が荒いことがあります。子どもと歩く時に恐怖感を感じる時があります。道路にガードレールが増えると嬉しいです。地域全体で子育てをしているような環境が増えたら、素敵だと思います。（夏祭り、神社の餅つきなど）近所の人との関わりが増えると、安心感が得られると感じます。
- ・ 経済的に不安なため、将来どのように子どもを安心して育てていけるか年齢的に気がかりです。都内は特に家賃が高いので子どものための部屋を持つことや親自身が休める空間がない家が多いと感じています。子育ては母親にとってとても孤独な環境に感じるの（ワンオペの状況に置かれやすい）、誰かと比べたらしんどくなるのは当たり前ですが、家庭環境によって比べられずにすむ家族世帯向けの賃貸料を望んでいます。
- ・ 障害児に対するサービス補助金の拡充を求めます。生まれてきてから障害児だった場合の児童発達支援施設や放課後デイサービスの少なさ、居宅介護や移動支援の時間や補助金が少なすぎます。

## ⑥国への要望について

- ・ 企業が両立支援に注力できるよう、国からも補助金や税制優遇するなどの施策を考えてほしいです。企業の両立支援として、子育て世代には手厚い保障が増えたと感じています。しかし、「子持ち様」という言葉が出来てしまうように、子がない人や子育てがひと段落した人が子育て世代をサポートする立場になっているため、業務に負担がかかっています。男性の育休取得率や子育て世代の時短勤務者が一定数いるなど、両立支援に注力している企業には、補助金や賃金で企業と従業員を支援できる制度や仕組みを作っしてほしいです。
- ・ 今の国の政策では少子化は解消しないと思います。私の身近な知人や友人はほぼ結婚していて、ほぼ全員が2～4人の子どもがいます。この人たちはほぼ全員が夫婦共働きで収入に不安はないと思われませんが、片方だけが働いていると不安を感じるため、自分も仕事をしたいと思って共働きを選んでいきます。子どもを作ろうと思っている人は、私の周りには多いです。共通点を探すと学歴は高い方だと思います。少子化の問題の前に、まずは別の問題があると思います。子どもたちが大人になった時に豊かな生活ができる給料をもらえる会社が増えるべきです。少子化対策とは、日本の景気を上げる事だと思います。私の子どもたちには、日本ではこの先景気が良くなるとは思えないので海外に行っても良いという事は常々伝えていきます。小4の娘は海外に行く決めてようようです。
- ・ 次々と税金や物価が上がり続けている中、将来貰えるかも分からない年金を納めている世代（20代から40代）が子どもを産んで育てることは、裕福な家庭でない限り無理だと思います。子どもが欲しくても、結婚したくても、今の世の中ではなかなか難しい状況です。手遅れになる前に、結婚をしたい時に、子どもを持ちたい時に出来る世の中になってほしいです。
- ・ 一時的な助成金ではなく、子どもにも生産性を高めるための教育機関の敷居を低くする対策が良いと思います。助成金を提供したとしても、親が子どもに使うかどうかはわかりません。大学に入りたくても入れない人や学びたいのに学ぶための費用がない人に特化して費用を投じてほしいです。

## IV 単純集計表

### 注釈

- 表中のn、回答者数とは、基数となる実数のことである。
- 回答はn、回答者数を100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 表中の「-」は回答者が皆無のものである。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

### 【配付・回答】

カテゴリ	件数	割合
配付数	2,000	100.0
WEB回答数	643	32.2

### 【基本事項】

問1 あなたの性別を教えてください。(必須)

カテゴリ	件数	割合
1. 男性	252	39.2
2. 女性	385	59.9
3. その他	2	0.3
4. 答えたくない	4	0.6
無回答	-	-

n = 643

問2 令和6年4月1日現在、お答えいただく方の年齢を教えてください。(必須)

カテゴリ	件数	割合
20歳～24歳	68	10.6
25歳～29歳	230	35.8
30歳～34歳	178	27.7
35歳～39歳	167	26.0
無回答	-	-

n = 643

問3 あなたの家族構成はどのような形態ですか？(複数選択可) (必須)

カテゴリ	件数	割合
1. 一人暮らし	170	26.4
2. 親と同居	24	3.7
3. 配偶者と同居	412	64.1
4. 子どもと同居	261	40.6
5. 答えたくない	7	1.1
6. その他	33	5.1
無回答	-	-

n = 643

問4 結婚経験はありますか？（必須）

カテゴリ	件数	割合
1. 未婚	209	32.5
2. 結婚経験あり（現在は、独身）	5	0.8
3. 結婚経験あり（現在、有配偶）	426	66.3
4. その他	-	-
5. 答えたくない	3	0.5
無回答	-	-

n = 643

【結婚経験等】

全ての方にうかがいます。

問5 交際経験はありますか？

カテゴリ	件数	割合
1. あり、現在も交際中	107	16.6
2. あり、過去に交際経験あり、現在は独身	90	14.0
3. あり、過去に交際経験あり、現在は既婚	406	63.1
4. なし、交際経験なし	39	6.1
無回答	1	0.2

n = 643

問6 交際（有配偶の場合は結婚）相手との出会いのきっかけは何ですか？（複数選択可）

カテゴリ	件数	割合
1. 友人や知人の紹介	136	22.6
2. 結婚相談所	14	2.3
3. 同じ趣味や活動を通じて知り合った	64	10.6
4. 学校や職場で知り合った	310	51.4
5. マッチングアプリ、インターネットやSNSを通じて知り合った	120	19.9
6. 婚活イベントを通じて知り合った	13	2.2
7. その他	26	4.3
無回答	2	0.3

n = 603



問7 結婚を希望する独身の方は、理想の結婚年齢について教えてください。結婚経験あり（現在、有配偶）の方は、結婚の時期についてお聞かせください。

カテゴリ	件数	割合
1. 20代前半	108	16.8
2. 20代後半	296	46.0
3. 30代前半	121	18.8
4. 30代後半	18	2.8
5. 40代以降	1	0.2
6. 独身で、理想の結婚年齢はない/具体的な時期はまだ考えていない。	38	5.9
7. 結婚希望なし	21	3.3
無回答	40	6.2

n = 643

問8 結婚相手に求める条件についてお聞かせください。（複数選択可）

カテゴリ	件数	割合
1. 経済力がある	305	47.4
2. 一緒にいて楽しい・気を使わない	558	86.8
3. 愛情深く思いやりがあり、誠実である	487	75.7
4. コミュニケーションが上手である	268	41.7
5. 跡取りの立場や親との同居への理解	62	9.6
6. 年齢	168	26.1
7. 家事が得意、任せられる	156	24.3
8. 家事や育児の協力関係が築ける	380	59.1
9. 清潔感がある（衛生面に配慮している）	330	51.3
10. その他	38	5.9
無回答	15	2.3

n = 643

現在、独身の方にうかがいます。

（問4で「1. 未婚」「2. 結婚経験あり（現在は、独身）」に○をつけた方にうかがいます。）

問9 結婚願望の有無についてお聞かせください。

カテゴリ	件数	割合
1. 結婚したいと思っている	103	48.1
2. 結婚したいと思っていない	22	10.3
3. 結婚には興味があるが、まだ具体的な考えはない	69	32.2
4. 現時点で結婚には興味がないが、将来的には考えている	17	7.9
無回答	3	1.4

n = 214

問10 交際する上で不安を感じることはありますか？（複数選択可）

カテゴリ	件数	割合
1. コミュニケーションの困難さ	59	27.6
2. 自分自身の自信の不足	99	46.3
3. 価値観や趣味の違い	103	48.1
4. 関係の進展や将来の不安	113	52.8
5. その他	14	6.5
無回答	13	6.1

n = 214

問11 1年以内に結婚をするとした場合、結婚に関して直面する障害はありますか？  
結婚に関して障害がある場合、具体的にどのような障害がありますか？（複数選択可）

カテゴリ	件数	割合
1. 障害はない	41	19.2
2. 経済的な問題（住居や生活費など）	124	57.9
3. 仕事やキャリアの問題	75	35.0
4. 家族や親の反対	11	5.1
5. パートナーの条件に合わせる難しさ	65	30.4
6. その他	7	3.3
無回答	6	2.8

n = 214

問12 現在、婚活をしていますか？

カテゴリ	件数	割合
1. している	38	17.8
2. していない	174	81.3
無回答	2	0.9

n = 214

問12で「2. していない」に○をつけた方にうかがいます。  
問13 婚活をしていない理由について教えてください。（複数選択可）

カテゴリ	件数	割合
1. 忙しさや時間の制約があるため	57	32.8
2. 婚活に対するネガティブなイメージや不安があるため	32	18.4
3. 出会いの機会が少ないため	66	37.9
4. 経済的な負担があるため	54	31.0
5. 面倒だから	61	35.1
6. その他	49	28.2
無回答	4	2.3

n = 174

問14 結婚していない理由や、結婚したいと思わない理由があれば教えてください。(複数選択可)

カテゴリ	件数	割合
1. 個人の自由や独立を大切にしたいため	73	34.1
2. 結婚に対するネガティブなイメージや不安があるため	44	20.6
3. 経済的な負担や不安定な状況があるため	88	41.1
4. 出会いが少ないため	78	36.4
5. その他	23	10.7
無回答	28	13.1

n = 214

問9で「2. 結婚したいと思っていない」に○をつけた方は回答不要。

問15-1 結婚したら気になることについて教えてください。(複数選択可)

カテゴリ	件数	割合
1. 経済的な負担の問題	128	66.7
2. 家事や育児の負担	107	55.7
3. 夫婦関係やコミュニケーションの問題	85	44.3
4. 住居や生活環境の問題	82	42.7
5. 仕事やキャリアへの影響	63	32.8
6. その他	5	2.6
無回答	14	7.3

n = 192

問15-2 配偶者になる方にどうあって欲しいかについて教えてください。(複数選択可)

カテゴリ	件数	割合
1. 家庭を重視してほしい	60	31.3
2. 子育てに力を入れてほしい	48	25.0
3. 仕事やキャリアに重点を置いてほしい	25	13.0
4. 子育てと仕事の両立を図ってほしい	118	61.5
5. その他	13	6.8
無回答	14	7.3

n = 192

問16 あなたが理想とする人生について教えてください。(複数選択可)

カテゴリ	件数	割合
1. 家庭を重視したい	81	37.9
2. 子育てに力を入れたい	33	15.4
3. 仕事やキャリアに重点を置きたい	37	17.3
4. 子育てと仕事の両立を図りたい	102	47.7
5. その他	25	11.7
無回答	8	3.7

n = 214

現在、結婚経験がある方にうかがいます。  
 (問4で「2. 結婚経験あり(現在は、独身)」「3. 結婚経験あり(現在、有配偶)」に○をつけた方にうかがいます。)

問17 結婚の回数について教えてください。

カテゴリ	件数	割合
1. 初めての結婚	420	97.4
2. 2回目の結婚	10	2.3
3. 3回目以上の結婚	-	-
無回答	1	0.2

n = 431

#### 【子ども】

全ての方にうかがいます。

問18 現在、お子さんはいらっしゃいますか?もしいらっしゃる場合は、その人数を教えてください。

カテゴリ	件数	割合
1. いる	282	43.9
2. いない	359	55.8
無回答	2	0.3

n = 643

#### 子どもの人数

カテゴリ	件数	割合
1人	138	48.9
2人	113	40.1
3人	25	8.9
4人	2	0.7
5人以上	-	-
無回答	4	1.4

n = 282

問19 今後、子どもをほしいと思いますか? (既婚の方は、今後も子どもをほしいと思いますか?)

カテゴリ	件数	割合
1. はい、近い将来に子どもがほしいと思っている	217	33.7
2. はい、将来的には子どもがほしいと思っているが、具体的な時期は未定	180	28.0
3. いいえ、ほしいと思っていない	165	25.7
4. 未定	66	10.3
無回答	15	2.3

n = 643

問19で「1. はい、近い将来に子どもがほしいと思っている」「2. はい、将来的には子どもがほしいと思っているが、具体的な時期は未定」に○をつけた方にうかがいます。

問20 理想の子ども的人数について教えてください。（現在いるお子さんを含む。）

カテゴリ	件数	割合
1人	39	9.8
2人	243	61.2
3人	104	26.2
4人	8	2.0
5人以上	-	-
無回答	3	0.8

n = 397

問21 子育てを始める理想的な年齢について教えてください。

カテゴリ	件数	割合
20歳未満	1	0.3
20歳～24歳	18	4.5
25歳～29歳	191	48.1
30歳～34歳	137	34.5
35歳～39歳	38	9.6
40歳以上	2	0.5
無回答	10	2.5

n = 397

問22 理想の数の子どもを持つために必要な条件について教えてください。（複数選択可）

カテゴリ	件数	割合
1. 経済的な安定や十分な収入	370	93.2
2. 家庭と仕事の両立がしやすい環境	307	77.3
3. 子育て支援サービスや施設の充実	283	71.3
4. パートナーとの協力やサポート体制	307	77.3
5. 住環境や教育環境の充実	237	59.7
6. 健康な身体や精神的な安定	255	64.2
7. 社会情勢の安定や安全な社会環境	189	47.6
8. その他	10	2.5
無回答	3	0.8

問19で「3. いいえ、ほしいと思っていない」に○をつけた方にうかがいます。

問23 子どもをほしいと思わない理由について教えてください。（すでにお子さんがある方は、これ以上子どもをほしいと思わない理由について教えてください。）（複数選択可）

カテゴリ	件数	割合
1. 経済的な負担や生活費の問題	123	74.5
2. キャリアや仕事に集中したい	28	17.0
3. 自己実現や趣味・興味の追求に時間を費やしたい	52	31.5
4. 出産・子育てに対する不安や責任感	81	49.1
5. 健康上の問題や身体的な制約	30	18.2
6. パートナーがいない	13	7.9
7. 現在の生活に満足している	61	37.0
8. 既に理想の人数の子どもがいる	45	27.3
9. その他	22	13.3
無回答	-	-

n = 165

現在、結婚されている方にうかがいます。

問24 子育て費用の中で特に負担と感ずるものや負担と予想されるものについて教えてください。（複数選択可）

カテゴリ	件数	割合
1. 子どもの教育費（学費、塾代など）	346	81.2
2. 入園料や保育料の費用	216	50.7
3. 医療費の負担	96	22.5
4. 生活費（食費、衣服、日用品など）	311	73.0
5. 住宅費（家賃、住宅更新料など）	220	51.6
6. 交通費や通信費	78	18.3
7. レジャーや娯楽費	140	32.9
8. その他	20	4.7
無回答	1	0.2

n = 426

問25 現在、妊活（妊娠活動）を行っていますか？

（妊活とは、妊娠を希望するために積極的に取り組む活動をいいます。）

カテゴリ	件数	割合
1. はい、妊活を行っている	75	17.6
2. いいえ、妊活を行ってない	310	72.8
3. 答えたくない	28	6.6
無回答	13	3.1

n = 426

問25で「2. いいえ、妊活を行ってない」に○をつけた方にうかがいます。

問26 妊活をしていない理由について教えてください。(複数選択可)

カテゴリ	件数	割合
1. 妊活に関する情報や知識が不足しているため、取り組むことができない	6	1.9
2. 妊活に対する関心や意識が低く、積極的に取り組む気持ちがない	36	11.6
3. 妊活に対する負担やストレスを感じており、取り組むことが難しい	13	4.2
4. 妊活に必要な経済的な負担が大きく、経済的な理由から取り組むことができない	66	21.3
5. 妊活に対するパートナーとの意見の相違があり、一緒に取り組むことができない	13	4.2
6. 健康上の問題や身体的な制約があり、妊活をすることが難しい	21	6.8
7. 妊活に対する社会的な制約や環境の問題があり、取り組むことができない	21	6.8
8. 仕事との両立が難しく、取り組むことができない	60	19.4
9. その他	150	48.4
無回答	8	2.6

n = 310

【仕事・家計】

問27 就業形態について教えてください。

カテゴリ	件数	割合
1. フルタイム	481	74.8
2. パートタイム	51	7.9
3. 自営業・個人事業主	26	4.0
4. 専業主婦・専業主夫	48	7.5
5. 学生	8	1.2
6. 就労していない	10	1.6
7. その他	17	2.6
無回答	2	0.3

n = 643

問27で「1. フルタイム」「2. パートタイム」「3. 自営業・個人事業主」に○をつけた方にうかがいます。

問28 ご回答いただいている方の個人年収について教えてください。(必須)

カテゴリ	件数	割合
1. 200万円未満	65	11.6
2. 200万円以上～400万円未満	158	28.3
3. 400万円以上～600万円未満	213	38.2
4. 600万円以上～800万円未満	71	12.7
5. 800万円以上～1000万円未満	21	3.8
6. 1000万円以上	15	2.7
7. 収入なし	-	-
8. わからない	1	0.2
9. 答えたくない	14	2.5
無回答	-	-

n = 558

問29 勤め先での仕事と子育ての両立支援について教えてください。（複数選択可）

カテゴリ	件数	割合
1. フレックスタイム制度や時短勤務制度など、柔軟な働き方をサポートする制度がある	334	59.9
2. 保育施設や託児所の利用支援や補助金制度がある	62	11.1
3. 育児休業や産前産後休暇の取得支援や制度がある	360	64.5
4. テレワークやリモートワークを導入している	252	45.2
5. 子どもの病気や急なイベントなどに対する柔軟な対応や休暇制度がある	249	44.6
6. その他	29	5.2
無回答	38	6.8

n = 558

問27で「4. 専業主婦・専業主夫」「6. 就労していない」に○をつけた方にうかがいます。

問30 就労していない理由について教えてください。

カテゴリ	件数	割合
1. 求職中	10	17.2
2. 家庭や子育てに専念しているため	39	67.2
3. 健康上の理由	6	10.3
4. その他	3	5.2
無回答	-	-

n = 58

現在、結婚されている方にうかがいます。

問31 配偶者の就業形態について教えてください。

カテゴリ	件数	割合
1. フルタイム	351	82.4
2. パートタイム	20	4.7
3. 自営業・個人事業主	20	4.7
4. 専業主婦・専業主夫	14	3.3
5. 学生	1	0.2
6. 就労していない	19	4.5
7. その他	1	0.2
無回答	-	-

n = 426



問31で「1. フルタイム」「2. パートタイム」「3. 自営業・個人事業主」に○をつけた方にうかがいます。  
問32 配偶者の個人年収について教えてください。(必須)

カテゴリ	件数	割合
1. 200万円未満	26	6.6
2. 200万円以上～400万円未満	69	17.6
3. 400万円以上～600万円未満	145	37.1
4. 600万円以上～800万円未満	85	21.7
5. 800万円以上～1000万円未満	29	7.4
6. 1000万円以上	17	4.3
7. 収入なし	1	0.3
8. わからない	10	2.6
9. 答えたくない	9	2.3
無回答	-	-

n = 391

問33 希望する方の結婚を支援するために必要だと考える自治体の取組について、あなたの考えを教えてください。  
(複数選択可) (必須)

カテゴリ	件数	割合
1. 子育て支援策（保育施設の整備、託児サービスの拡充など）	478	74.3
2. 結婚後の仕事との両立支援策（フレックスタイム制度、育児休業の取得支援など）	432	67.2
3. 住宅支援策（住宅補助金など）	428	66.6
4. 結婚に関する情報提供や相談支援の充実	112	17.4
5. 結婚相談所や婚活イベントの開催・支援	86	13.4
6. 自治体が運営するマッチングアプリ	52	8.1
7. 結婚資金の支援策（結婚費用の補助金、結婚祝い金など）	295	45.9
8. その他	44	6.8
無回答	-	-

n = 643

問34 少子化対策として、自治体に取り組むべきと考える具体的な事業や取組について教えてください。  
(複数選択可) (必須)

カテゴリ	件数	割合
1. 子育て支援策の充実（保育施設の整備、託児サービスの拡充など）	478	74.3
2. 子育て支援施設の充実（保育園、幼稚園、子育て支援センターなど）	463	72.0
3. 住宅支援策（住宅補助金など）	410	63.8
4. 子育て支援金や補助金の充実	509	79.2
5. 教育環境の充実（学校施設の整備、教育資源の充実など）	343	53.3
6. 子育て情報の提供と相談支援の充実	212	33.0
7. 子どもの医療・健康支援策の充実	311	48.4
8. 地域づくりや交流イベントの推進（子育て世代の交流の場の提供）	169	26.3
9. その他	47	7.3
無回答	-	-

n = 643

## V 少子化対策に関する事業所ヒアリング結果

企業名	株式会社 タカラトミー
企業概要	主な事業内容：玩具・雑貨・カードゲーム・乳幼児関連商品等の企画、製造および販売 従業員数：連結 2,423 人 単体 553 人（2024 年 3 月 31 日現在）
ヒアリング日時	令和 6 年 7 月 12 日（金） 10 時～
ヒアリング場所	株式会社 タカラトミー 本社

### 問 新型コロナウイルス感染症流行前（5 年前）と、現在で育児休業の取得について変化はありましたか。

- ・女性の育児休業の取得率は 100%となっており、新型コロナウイルス感染症前と変わりはない。
- ・男性の育児休業取得率は、2023 年度は 100%で数年前に比べると上昇傾向にある。法改正により、育児休業が取りやすい環境が整ってきている。
- ・男性の育児休業の取得を促進するため、社員向けに育児休業取得者のインタビュー動画を配信したり、体験記事を社内報で PR したり、取得しやすい環境づくりに力を入れている。
- ・当社は玩具を取り扱っている企業であり、育児休業を取得することで、子育ての経験を本業に活かすことができるという考えがある。男性も育児を経験することで、企画開発やマーケティングに繋がる可能性があると考えている。
- ・当社では、次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく行動計画を策定し、KPI（重要業績評価指標）や数値目標を設定している。それらの達成に向けてどのような取組を行えば良いかを考えている。
- ・最近では、男性の管理職が 1 年間の育児休業を取得したケースがあった。1 人が育児休業を取得すると、他の社員も取りやすくなる傾向がある。育児休業の取得期間も今までは短期間だったものが、長期間になっており良い傾向になっている。

### 問 貴社では結婚・出産をした女性社員の働き方として、どのようなパターンが多いですか。また、新型コロナウイルス感染症流行前（5 年前）とで変化はありましたか。

- ・育児休業後の復職率は 100%で、仕事と家庭の両立ができていると感じる。子育てが原因で退職される方はほぼいない。
- ・育児と仕事との両立を実現している女性社員は、時短勤務、在宅勤務、スーパーフレックス勤務など、様々な働き方を組み合わせうまく活用している。社員がそれぞれのライフスタイルに応じた多様で柔軟な働き方を自分で選択できるため、フルタイム勤務を選択している社員も多くいる。
- ・新型コロナウイルス感染症流行中で在宅勤務が浸透し、定着した。在宅勤務やオンラインの会議も当たり前になり、対応するためのインフラも整備された。新型コロナウイルス感染症流行前は、育児事由の在宅勤務は週 1 回の回数制限があったが、現在は、原則週 3 回まで在

宅勤務が可能となり、小学校卒業までの子がいる場合は上限解除の申請も可能になった。また、男性社員からも申請があり、一定数育児をしたいという男性も増えてきている。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大を機に、会社全体の在宅勤務体制が確立されたことや様々な両立支援に関わる制度を導入できたことにより、より家庭との両立がしやすい働き方ができるようになっている。
- ・新型コロナウイルス感染症流行中に出社制限を行っていたこともあったが、その時に対面のコミュニケーションが非常に重要であると感じた。100%在宅勤務可能案も検討したが、コミュニケーションの重要性を考慮し、原則週3日を上限とすることとした。
- ・在宅勤務や会社への出退勤の管理については、各部門の管理職に任せている。

**問 貴社では社員への子育て支援で現在どのような制度が整備されていますか。また、今後の整備予定はありますか。**

**【現在、整備されている制度】**

- ・スーパーフレックス勤務制度（短時間勤務者含む）
- ・在宅勤務（育児事由は申請により上限なし）
- ・子の病気やけがの長期療養事由による失効有給利用
- ・子の看護や育児事由によるライフサポート休暇
- ・育児短時間勤務（最大短縮時間 3.5 時間）
- ・育児従事者定義の拡大（小学校卒業まで）時間外労働や深夜残業免除等
- ・出産育児祝い金制度
- ・福利厚生サービスの加入
- ・育児休業・育児短時間勤務応援手当のトライアル実施
- ・育児休業・短時間勤務時の評価制度の社内開示

**【今後の整備予定の制度】**

- ・制度の浸透やモニタリング、PDCAサイクルによる業務改善
- ・育児・介護従事者以外の社員との公平性や負担についての対応の検討

**【考え方】**

- ・出産育児祝い金については、子どもが生まれると出産費用や将来の養育費等多くの費用がかかるため、金銭的な面も含めて支援をしたいと考えている。
- ・会社としては、人事制度の改革（等級・評価・報酬）を同時進行で行っていた。年功賃金要素を払拭し、仕事や成果とは関わりの薄い、世帯手当や子どもを扶養に入れた場合に支給される手当など属人的な手当を廃止し、報酬と福利厚生を分けて考えた。福利厚生として両立支援制度を拡充し、子育てを支援するための1つの施策として出産育児祝い金制度を導入したという考えがある。
- ・出産育児祝い金は、性別、年齢、職責にも関係なく全ての社員が対象となる。今までの子どもの手当の制度では、子どもを扶養に入れるということが条件のため、男性が支給対象となるが多かった。また、管理職は対象外の手当であった。この出産育児祝い金制度では、性別や職責にも関係なく、育児休業を28日間以上取得することが条件で支給される。
- ・男女間賃金格差についても、現在は男性が有利な結果であることを認識している。今回の

人事制度の改定により将来的には男女間の賃金格差がなくなっていくことを期待している。

**問 貴社で社員への子育て支援に取り組んだきっかけ、動機は何ですか。**

- ・社員一人一人の成長や働きがいを促進し、最大限のパフォーマンスを発揮できる職場環境を目指している。これまでに、スーパーフレックス勤務制度の導入や在宅勤務の制度化など、職場環境の充実を図ってきた。加えて、社員全員が働きながらライフイベントに対応できるよう、両立支援制度（子育て支援）の取組を拡充した。
- ・子育てだけでなく、様々なバックグラウンドやライフステージ、多様な価値観を持つ人財が働きがいを感しながら最大限のパフォーマンスを発揮し、従業員が惜しみなくアソビづくりへ情熱を注ぐ職場環境の構築が必要と考えるため。
- ・上記の取組を実施することで人材定着や優秀人財確保にもつながると考える。

**問 貴社で社員への子育て支援に取り組んだ結果、効果があったものは何ですか。**

- ・従業員エンゲージメント(会社に対する愛着や思い入れ)が向上した。
- ・女性管理職比率や男性育児休業取得率が向上した。
- ・中途採用の応募が若干増えた。
- ・社員の働きがいを促進し、最大限のパフォーマンスを発揮して、企業価値向上の成果が表れてくることを期待している。

**問 貴社では社員への子育て支援についてどのような課題がありますか。**

- ・両立支援施策を拡大することで、育児や介護従事者をサポートする社員の負担が課題となっている。現在いるメンバーで業務を再分担したり、新規で人を補充したりと部署によって異なる。一方、休業や時短勤務取得者は、周りに迷惑をかけることを気にしていて申し訳ない気持ちを持っている。育児や介護に励む社員に対して周囲が気持ちよくサポートできる環境を整えるために、業務をカバーする社員に対して応援手当を支給する制度導入に向けてトライアルを実施している。  
専門的なスキルを持つ人や属人化された仕事については、誰がその仕事を引き継ぐのかを考えてしまう社員もいる。仕事が属人化しないような体制や業務分担を行うことをしくみ化することも課題である。
- ・今後は、制度の浸透や社員にヒアリングを実施したり、モニタリングをする予定である。PDCAサイクルを回して、さらにより良い制度にアップデートしていきたい。
- ・男性で育児休業から復帰した際に、社内の情報が分からなくなり自分の居場所が戻ってきたときにないのではという不安の声があった。休業期間中の会社情報の発信についても何らか対応が必要だと考える。

企業名	カインズ株式会社
企業概要	主な事業内容：輸送機器事業、樹脂成形事業、化粧品事業、DTP/WEB 制作等 従業員数：43 名
ヒアリング日時	令和 6 年 7 月 12 日（金） 13 時 30 分～
ヒアリング場所	カインズ株式会社 高砂本社

**問 新型コロナウイルス感染症流行前（5年前）と、現在で育児休業の取得について変化はありましたか。**

- ・育児休業の取得は 100%となっている。2回（子ども 2人）取っている社員が 5 名程度いる。20 年位前から、育児休業の取得を導入している。
- ・1 時間単位で有給休暇を取得できる。時間に合わせて柔軟に取得することができる。
- ・従業員同士が育児休業を取得することに相互理解があり、環境が整っている。戻ってきやすく、戻ってきてほしいという環境が整っており、従業員が必要とされていると感じる。
- ・育児休業を取得する男性社員も増えている。中には、5 日間取得した男性もいる。共働きの世帯も多いため、育児休業を取得する人も多くなってきているが、男性の育児休業の取得はまだまだ進んでいない状況。

**問 貴社では結婚・出産をした女性社員の働き方として、どのようなパターンが多いですか。また、新型コロナウイルス感染症流行前（5年前）とで変化はありましたか。**

- ・製造業であるため、在宅勤務の導入がなかなか進まない課題がある。新型コロナウイルス感染症拡大によって、働き方が大きく変わってはいない。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大中は、小学校休業等対応助成金を活用し、対象の社員に特別休暇を認めた。
- ・休暇制度が整うことで、在宅勤務、リモートワークでなくても働きやすさは向上すると思う。

**問 貴社では社員への子育て支援で現在どのような制度が整備されていますか。また、今後の整備予定はありますか。**

**【現在、整備されている制度】**

- ・時差出勤、時短勤務
- ・子の看護休暇の対象を小学 3 年生までにしている。これは、国の制度化前から行っている。パートタイム社員も有給としており、30 分単位で取れる。

**【考え方】**

- ・社員の意向で産休・育休期間終了前に復帰した者への支援や取組を進めてほしい。
- ・早期復帰を希望する方に対して、区の助成金などの支援があれば、女性のキャリアも途切れずに継続できる可能性がある。将来のキャリアアップにもつながるのではないか。
- ・会社においても、産休・育休を取ると査定がストップしてしまう。希望により早期復帰ができれば、賞与や昇給・昇格の対象に含まれるため、給与面においても女性にとってメリ

ットがあるのではないかと考えられる。

### 問 貴社で社員への子育て支援に取り組んだきっかけ、動機は何ですか。

- ・これからの時代は、女性も活躍をしてもらいたい。弊社は、女性の地位向上を昔から進めてきた。子育て支援よりは女性の活躍の促進のため、どう子育て支援ができるのかという順で考えてきた。

### 問 貴社で社員への子育て支援に取り組んだ結果、効果があったものは何ですか。

- ・弊社は、全体の約6割が女性社員であり、製造部門においても女性が多く活躍している。また、パートタイム社員の方々にも働きやすい環境を提供するための支援を行っている。
- ・女性の定着率は非常に高く、パートタイム社員の方々も自分が働きたいスタイルで働くことができる環境を提供している。会社もそのような働き方を了承しており、働きやすさを感じていただけていると思う。
- ・働きたいけど長時間働けない人の中には、会社にとって価値のある人材がいる。午前中だけでも働けるような求人を出すことで、優秀な人を採用することができる。
- ・子どもが大きくなって、時間を延ばすことができれば、フルタイムで働ける社員になってもらうことが理想である。求人の柔軟性も必要であり、会社も変わっていかないといけない。

### 問 貴社では社員への子育て支援についてどのような課題がありますか。

- ・育児休業を取ると、その期間中は人員を補充していかないといけない。その点は課題となっている。現在は派遣会社の活用や社員に兼務させているところもある。
- ・育児休業を取得するに当たり、周囲が自分の業務をどれだけ理解しているか、経験のある人がどれだけいるかが重要だと考える。業務について聞く人がいないと、後を引き継ぐ人にとっては困難な状況となり、育児休業中の社員は連絡が来てもタイミングよく出られない時もある。
- ・業務は、細分化されているわけではない。部署によっては、自分の仕事を他の誰かに代わってもらうことが難しい状況もある。その点が課題となっている。
- ・自治体や保育所によっては制度が異なるため、延長保育の申請を前月までに手続きしないといけないところもある。保育所は働く人を中心としてあるものであり、保育所のあり方は働く人たちに対する環境に合わせて整備されるべきである。区としては、保育園運営の統一や支援も検討してほしい。  
例えば、保育園の入園のタイミングにより、育児休暇を取得する期間が異なるなどがある。
- ・区のベビーシッター制度をより使いやすく整備してほしい。  
実際に利用するには、ベビーシッターが信頼を置ける人であるのか不安があるなど、抵抗がある。
- ・産後は精神的にも大変な時期であり、メンタルヘルスのサポートも会社としてどう対応していくかを考えていく必要がある。

## VI 少子化対策に関する事業所ヒアリング結果のまとめ

### 【ヒアリング結果】

- ① 育児休暇等の休暇制度や時差出勤等の柔軟な働き方の提供など、両社とも社員のワーク・ライフ・バランスの実現に積極的に取り組んでいることが分かりました。
- ② 社員の成長やキャリアについて、子育て支援と合わせて考えていることが分かりました。例えば、育児休業や短時間勤務の評価制度を社内開示することで取得を促進する取組や、育児休業取得時の女性社員のキャリア継続にも力を入れるなど、両社とも特色ある支援を実施していました。
- ③ 子育て支援に取り組むことへの課題解決に対して柔軟な対応を試みていることが分かりました。業務の再分担や新規人員の補充、応援手当の導入など、両社とも課題を認識しつつ様々な取組が検討・実施されていました。

### 【まとめ】

社員の働きやすさと子育てのしやすさとの両立を促進することで、人材の定着や生産性の向上につながると考えられます。

また、企業の子育て支援の取組は、子育てを原因とした離職を防ぐことや、働きやすい環境を求める優秀な人材が求人募集に集まるなど、組織の強化につながることも分かりました。

今回のヒアリングでは、両社の課題解決への試行錯誤や取組の状況について伺うことができ、時代のニーズを捉えた子育て支援や働き方の提供により、組織の成長や持続的な発展に寄与することが期待されていました。

今回、子育て支援に積極的な企業の事例として、ヒアリングを実施した。各社の取組や考え方が、他の企業へ波及することができれば、より良い子育て環境の実現が期待されます。

